

平成22年度私立短大卒業生の卒業後の状況調査

調査結果の概要

平成23年9月

日本私立短期大学協会
就職問題委員会



目 次

	頁
調査の概要	1
平成元年度～平成22年度における就職決定率の推移	3
卒業生の進路状況	5
就職決定者の状況	6
正規雇用率の推移	7
平成22年度私立短大卒業生の卒業後の状況調査 集計結果	
1 地域別の卒業生数・就職希望者数・就職決定者数	8
2 分野別の卒業生数・就職希望者数・就職決定者数	10
3 地域別・分野別の卒業生数・就職希望者数・就職決定者数	12
4 地域別の就職以外の進路者数	15
5 分野別の就職以外の進路者数	15
6 地域別・分野別の就職以外の進路者数	16
* 平成22年度の求人件数の増減傾向	
・企業・団体&専門職別／求人件数、正規雇用求人件数、非正規雇用求人件数	19
* 企業・団体における地域別雇用形態の状況	22
・企業・団体の正規雇用率の推移	23
・企業・団体／求人件数、正規雇用求人件数、非正規雇用求人件数	24
・前年度と比較して顕著な変化のあった項目およびその内容(意見の概要)	27
* 幼稚園教諭の地域別雇用形態の状況	29
・幼稚園教諭の正規雇用率の推移	31
・幼稚園教諭／求人件数、正規雇用求人件数、非正規雇用求人件数	32
・前年度と比較して顕著な変化のあった項目およびその内容(意見の概要)	35
* 保育士の地域別雇用形態の状況	37
・保育士の正規雇用率の推移	39
・保育士／求人件数、正規雇用求人件数、非正規雇用求人件数	40
・前年度と比較して顕著な変化のあった項目およびその内容(意見の概要)	43

* 栄養士の地域別雇用形態の状況	45
・栄養士の正規雇用率の推移	47
・栄養士／求人件数、正規雇用求人件数、非正規雇用求人件数	48
・前年度と比較して顕著な変化のあった項目およびその内容(意見の概要)	51
* 介護福祉士の地域別雇用形態の状況	52
・介護福祉士の正規雇用率の推移	54
・介護福祉士／求人件数、正規雇用求人件数、非正規雇用求人件数	55
・前年度と比較して顕著な変化のあった項目およびその内容(意見の概要)	58
* その他の国家資格を必要とする専門職の雇用形態の状況	59
* 公務員の地域別雇用形態の状況	60
* 就職支援の取組みで成果をあげているもの等(まとめ)	61
* 特別設問／内定取消、採用取消、採用延期、自宅待機、採用条件の変更等の状況	62
* 東日本大震災による採用状況等の変化について(まとめ)	63
付・調査紙(縮小版)	65

調査の概要

1) 調査の目的

毎年度、日本私立短期大学協会に加盟の全会員短大を対象に卒業後の状況調査を実施することより、地域別および分野別の卒業生数・就職希望者数・就職決定者数・就職以外の進路者数等について把握し、今後の私立短期大学におけるよりよい就職支援を模索するための基礎資料とする。

なお、一昨年度に引き続き、短期大学卒業生の雇用形態の状況を把握するため、就職決定者の正規雇用、非正規雇用の具体的人数を調査し、その結果から、近年特に問題視されている労働条件、処遇等に対する喫緊の課題に取り組む資料とする。

2) 調査対象

日本私立短期大学協会加盟の343短大のうち、第2部(夜間部)のみ設置の4短大および新設短大・調査対象外の3校を除く336短大の第1部(昼間部)。

3) 調査方法

郵送法。事務局より、調査用紙(表題「平成22年度私立短大卒業生の卒業後の状況調査」)を各短大学長あて調査依頼状とともに発送し、回答を求めた。

4) 調査時期

平成23年5月1日～5月27日

5) 集計回答校数

集計回答校数は、336短大中、327短大。(回答率 97.3%)

(参考)	平成元年度卒業生	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度
調査対象校	464	471	481	484	489
回答校数	405	410	431	454	467
回答率(%)	87.3	87.0	89.6	93.8	95.5
	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度
調査対象校	491	488	490	485	484
回答校数	454	458	458	460	449
回答率(%)	92.5	93.9	93.5	94.8	92.8
	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
調査対象校	470	457	442	428	405
回答校数	447	435	414	406	402
回答率(%)	95.1	95.2	93.7	95.0	99.3
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
調査対象校	391	376	366	357	350
回答校数	386	368	360	327	326
回答率(%)	98.7	97.9	98.4	91.6	93.1
	平成21年度	平成22年度			
調査対象校	342	336			
回答校数	333	327			
回答率(%)	97.4	97.3			

6) 集計件数

就職決定者の各集計件数は、下記の通り。

	企業・団体	公務員	幼稚園教諭	保育士	栄養士	介護福祉士	その他の 専門職
北海道	35	15	9	10	4	3	5
東北	30	14	15	15	7	4	3
関東	80	26	40	41	10	7	22
東京	61	20	13	10	11	3	9
中部	83	28	31	32	17	13	30
近畿	61	22	24	26	8	9	7
大阪	49	8	20	20	6	6	10
中国	45	15	17	17	9	2	12
四国	23	13	8	8	5	5	1
九州	82	25	31	31	16	12	21

7) 地域の分類

地域の表記については、本協会の支部の区分による下記 9 ブロックとする。

なお、各地域の当該県は次の通り。

北海道

東北 …青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島

関東 …茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川、新潟、山梨

東京

中部 …富山、石川、福井、長野、岐阜、静岡、愛知、三重

近畿 …滋賀、京都、兵庫、奈良、和歌山

大阪

中四国 (中国)…鳥取、岡山、広島、山口 (四国)…徳島、香川、愛媛、高知

九州 …福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

8) 報告書作成にあたって

回答のあった調査票1および調査票2の集計について、調査票1は、コンピュータ集計により得られた結果を基に作表した。また、調査票2については、就職問題委員会委員により、各項目ごとに分担して記述内容を一覧にしたうえで、まとめを行った。

平成元年度～平成22年度における就職決定率の推移

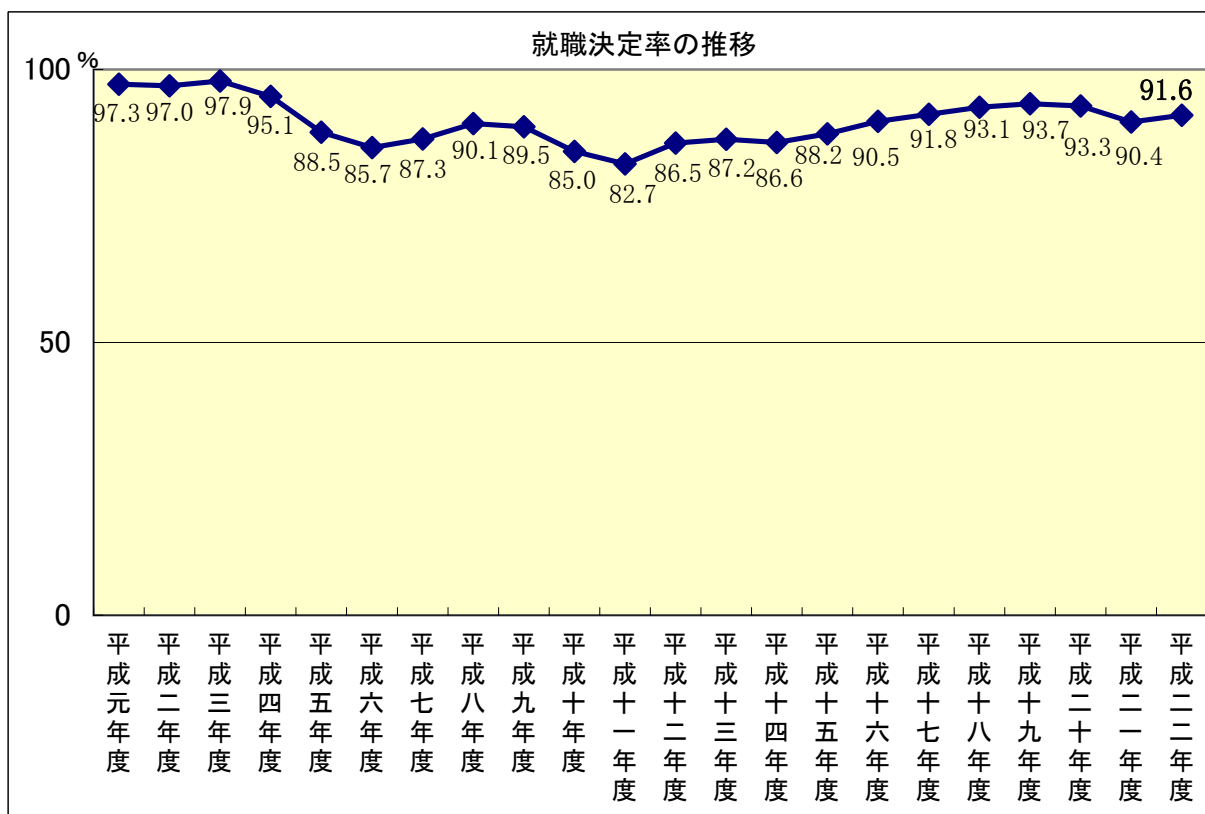
当該年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度
	平成2年3月卒	平成3年3月卒	平成4年3月卒	平成5年3月卒	平成6年3月卒
就職決定率	97.3	97.0	97.9	95.1	88.5

当該年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度
	平成7年3月卒	平成8年3月卒	平成9年3月卒	平成10年3月卒	平成11年3月卒
就職決定率	85.7	87.3	90.1	89.5	85.0

当該年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
	平成12年3月卒	平成13年3月卒	平成14年3月卒	平成15年3月卒	平成16年3月卒
就職決定率	82.7	86.5	87.2	86.6	88.2

当該年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	平成17年3月卒	平成18年3月卒	平成19年3月卒	平成20年3月卒	平成21年3月卒
就職決定率	90.5	91.8	93.1	93.7	93.3

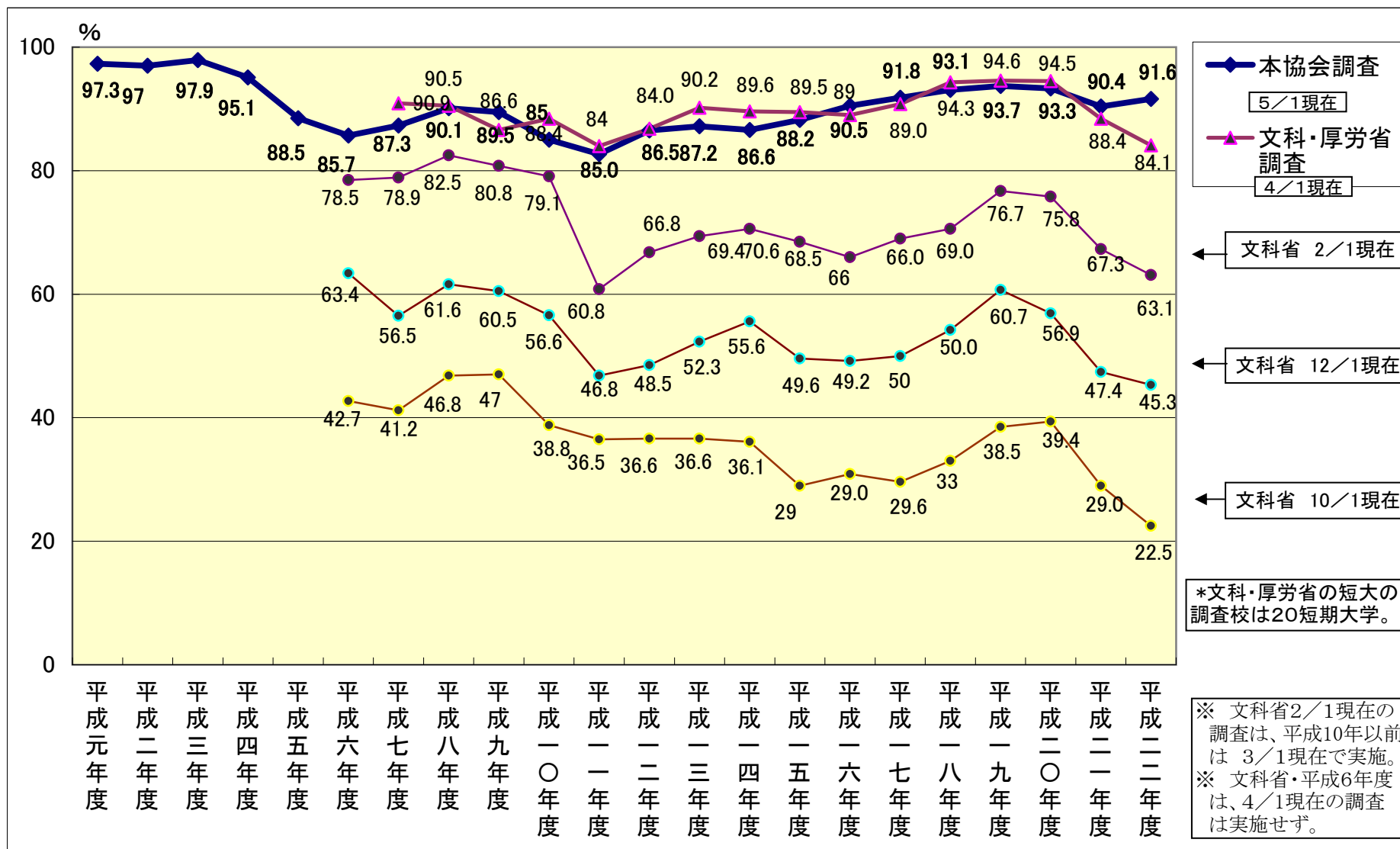
当該年度	平成21年度	平成22年度
	平成22年3月卒	平成23年3月卒
就職決定率	90.4	91.6



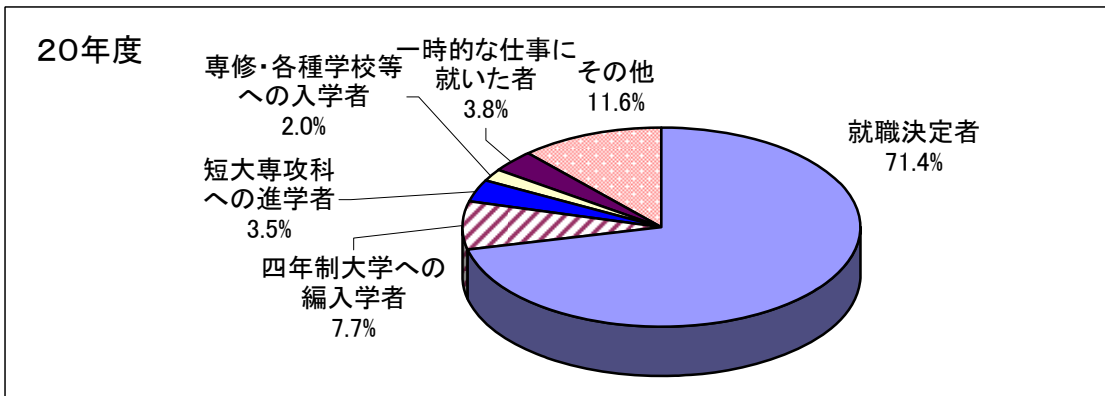
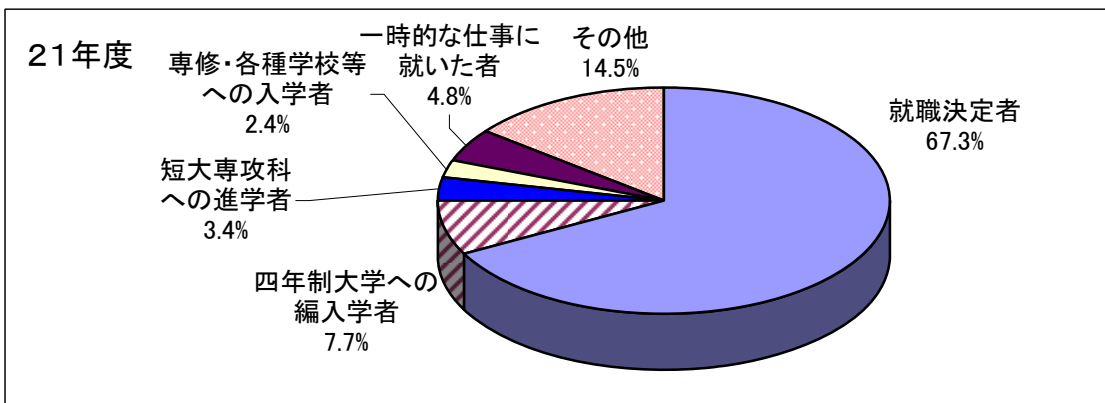
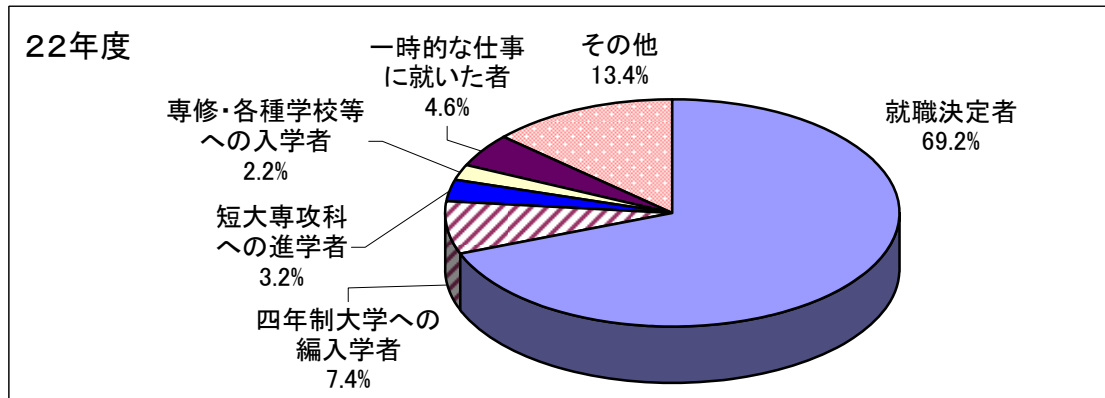
※ 就職決定率は、就職希望者数に対する就職決定者数の割合。

参考

就職決定率の推移



卒業生の進路状況

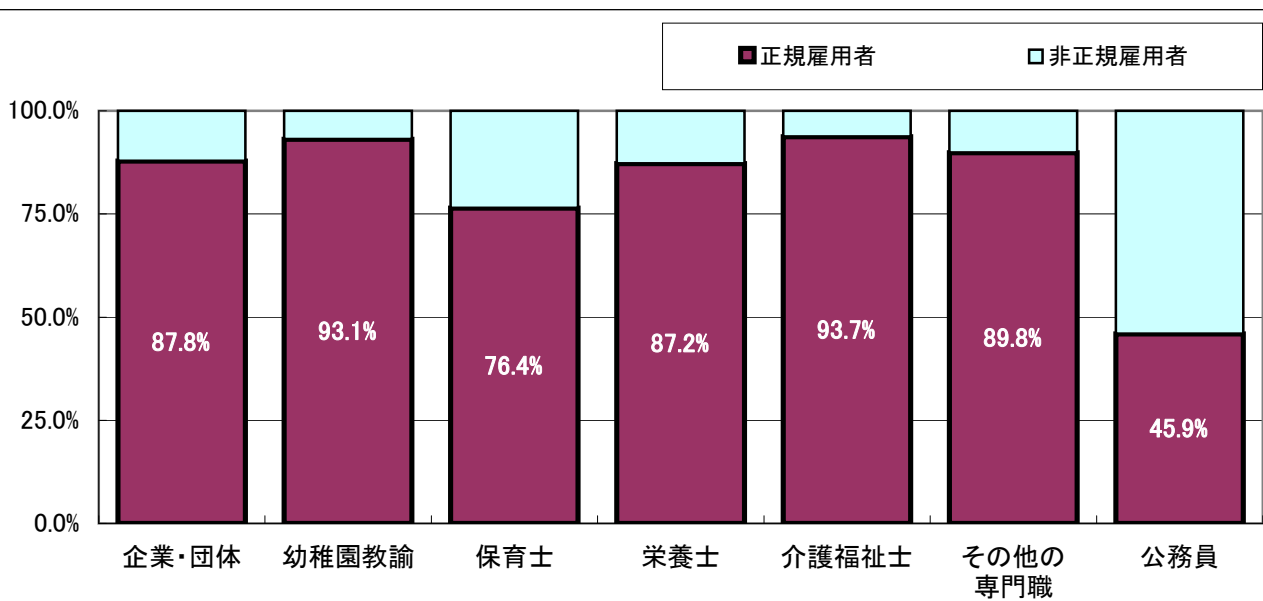
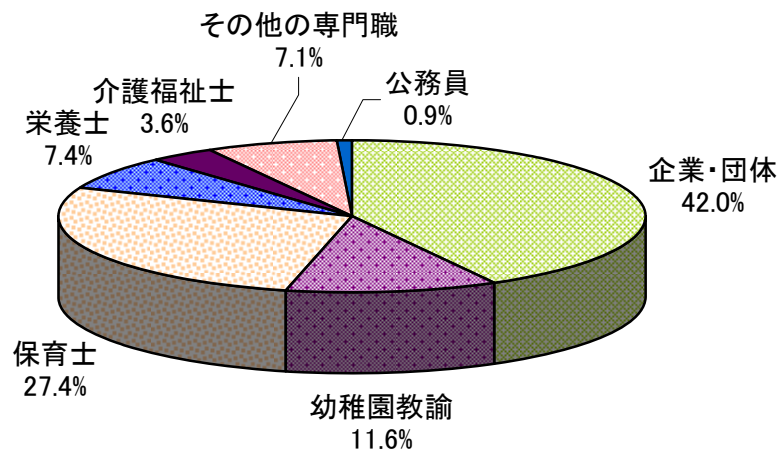


	卒業者数	就職決定者	四年制大学への編入学者	短大専攻科への進学者	大専修・各種学校等への入学者	一時的な仕事に就いた者	その他
22年度	58,896	40,765	4,332	1,889	1,317	2,693	7,900
21年度	62,988	42,384	4,853	2,111	1,483	3,028	9,129
20年度	66,887	47,789	5,178	2,355	1,322	2,517	7,726

就職決定者の状況

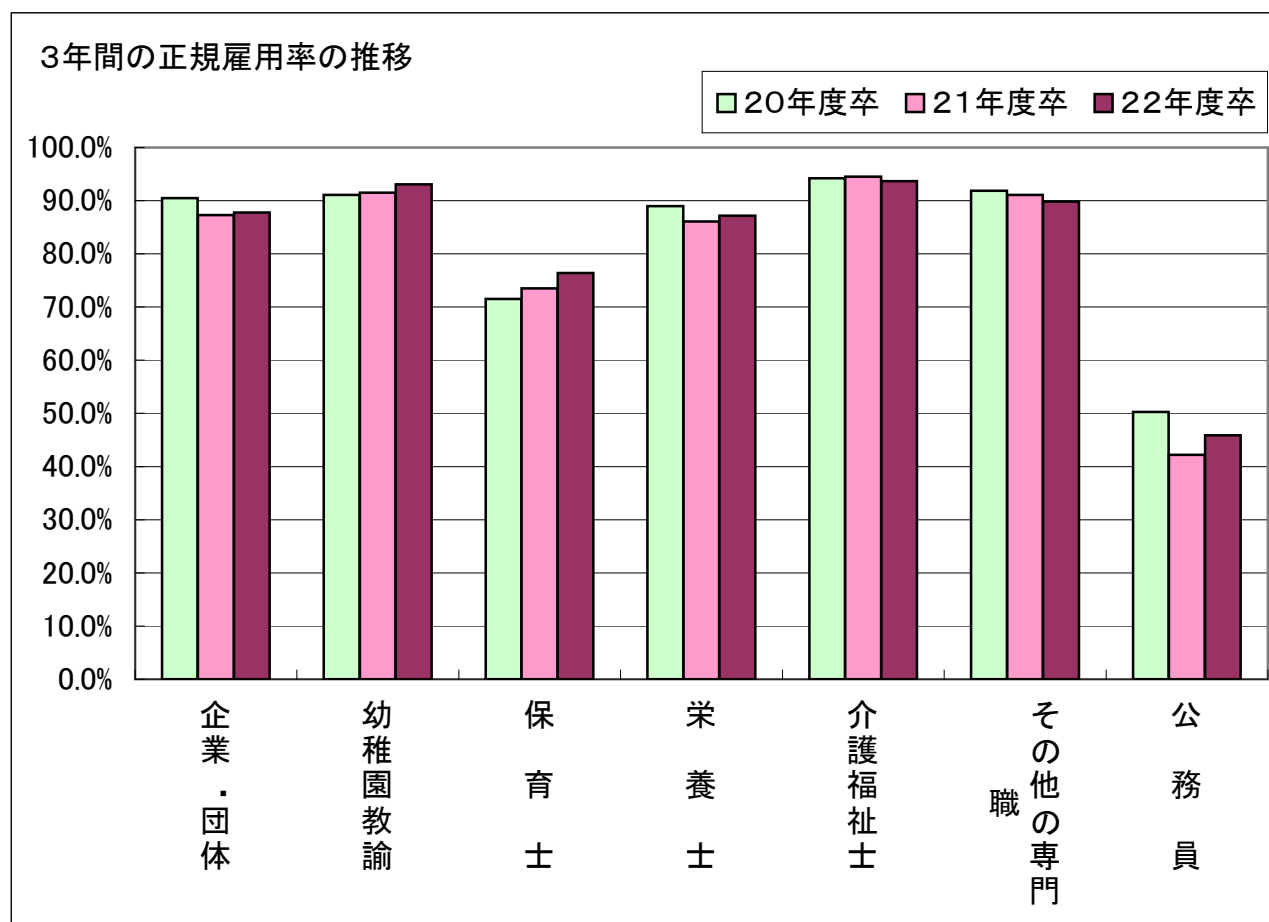
	就職 決定者数	正規 雇用者数	非正規 雇用者数	正規 雇用率
企業・団体	17,134	15,047	2,087	87.8%
幼稚園教諭	4,729	4,401	328	93.1%
保育士	11,183	8,540	2,643	76.4%
栄養士	3,002	2,618	384	87.2%
介護福祉士	1,460	1,368	92	93.7%
その他の専門職	2,878	2,584	294	89.8%
公務員	379	174	205	45.9%
計	40,765	34,732	6,033	85.2%

就職決定者の内訳



正規雇用率の推移

	就職決定者数			正規雇用率		
	20年度卒	21年度卒	22年度卒	20年度卒	21年度卒	22年度卒
企業・団体	21,598	16,751	17,134	90.5%	87.3%	87.8%
幼稚園教諭	5,195	4,891	4,729	91.1%	91.5%	93.1%
保育士	11,972	12,201	11,183	71.5%	73.5%	76.4%
栄養士	3,373	3,091	3,002	89.0%	86.1%	87.2%
介護福祉士	2,160	1,590	1,460	94.2%	94.5%	93.7%
その他の専門職	3,103	3,429	2,878	91.9%	91.1%	89.8%
公務員	388	431	379	50.3%	42.2%	45.9%
計	47,789	42,384	40,765	85.6%	83.9%	85.2%



平成22年度私立短大卒業生の卒業後の状況調査 集計結果

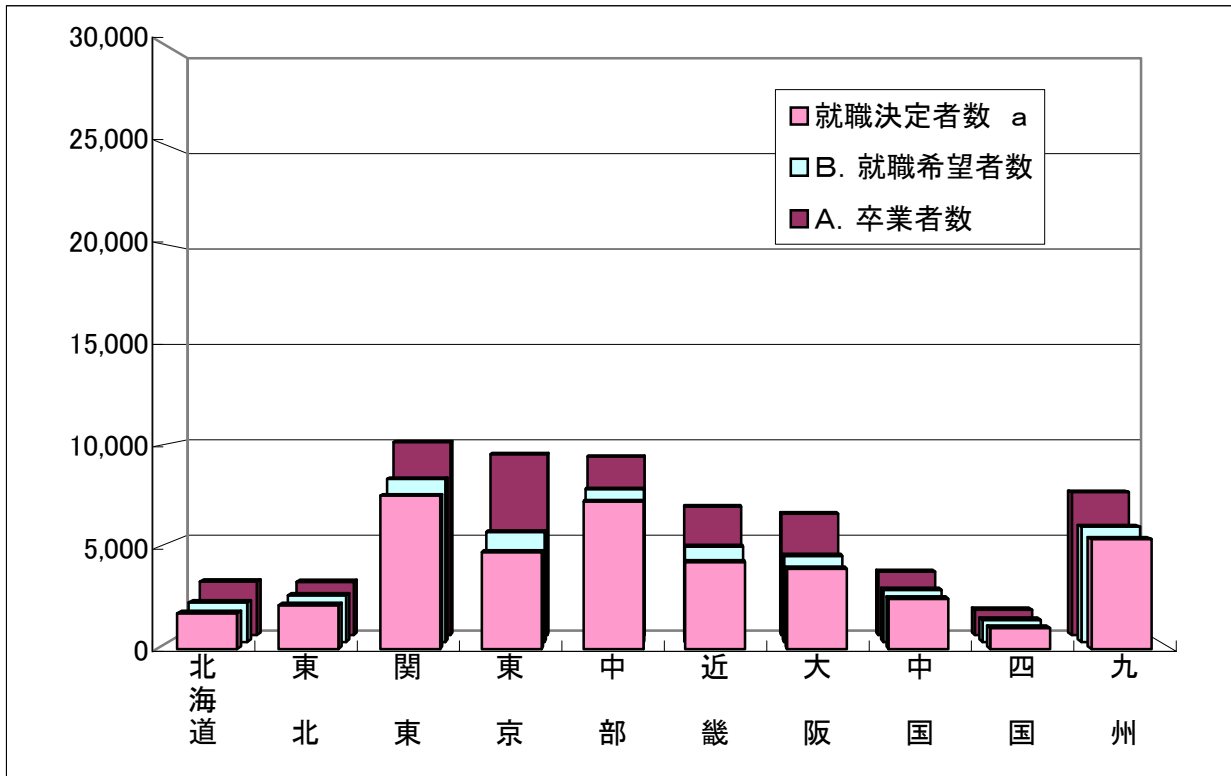
1 地域別の卒業生数・就職希望者数・就職決定者数

全体	A. 卒業生数	B. 就職希望者数	就職決定者数 a	就職希望率 B/A (%)	就職決定率 a/B (%)	就職率 a/A (%)
全 国	58,896	44,505	40,765	75.6	91.6	69.2
北海道	2,766	1,994	1,774	72.1	89.0	64.1
東 北	2,749	2,344	2,173	85.3	92.7	79.0
関 東	9,961	8,217	7,564	82.5	92.1	75.9
東 京	9,341	5,544	4,778	59.4	86.2	51.2
中 部	9,220	7,705	7,274	83.6	94.4	78.9
近 畿	6,630	4,806	4,289	72.5	89.2	64.7
大 阪	6,269	4,341	3,963	69.2	91.3	63.2
中四国	4,573	3,732	3,524	81.6	94.4	77.1
中 国	3,270	2,629	2,480	80.4	94.3	75.8
四 国	1,303	1,103	1,044	84.7	94.7	80.1
九 州	7,387	5,822	5,426	78.8	93.2	73.5

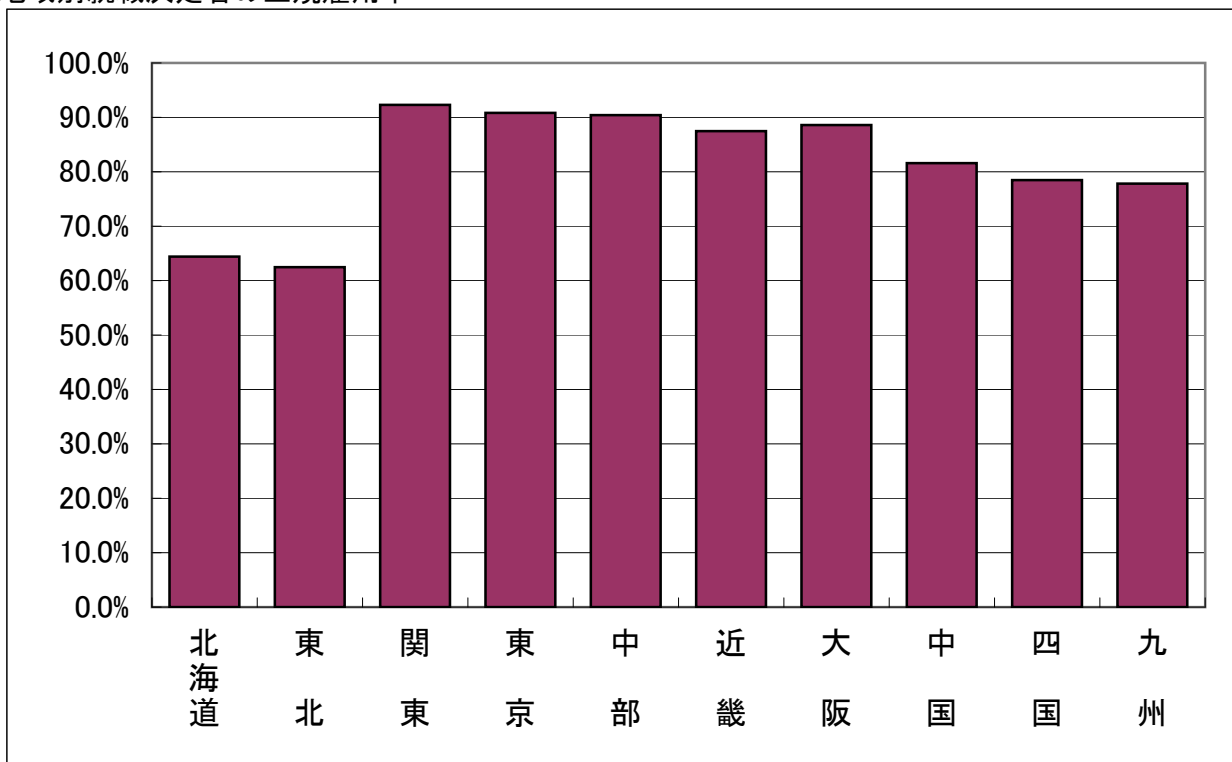
地域別就職決定者の雇用形態別内訳

	就職決定者数	正 規 雇用者数	非正規 雇用者数	正規雇用率
全 国	40,765	34,732	6,033	85.2%
北 海 道	1,774	1,143	631	64.4%
東 北	2,173	1,359	814	62.5%
関 東	7,564	6,985	579	92.3%
東 京	4,778	4,340	438	90.8%
中 部	7,274	6,579	695	90.4%
近 畿	4,289	3,753	536	87.5%
大 阪	3,963	3,511	452	88.6%
中 四 国	3,524	2,843	681	80.7%
中 国	2,480	2,023	457	81.6%
四 国	1,044	820	224	78.5%
九 州	5,426	4,219	1,207	77.8%

地域別の卒業生数・就職希望者数・就職決定者数



地域別就職決定者の正規雇用率



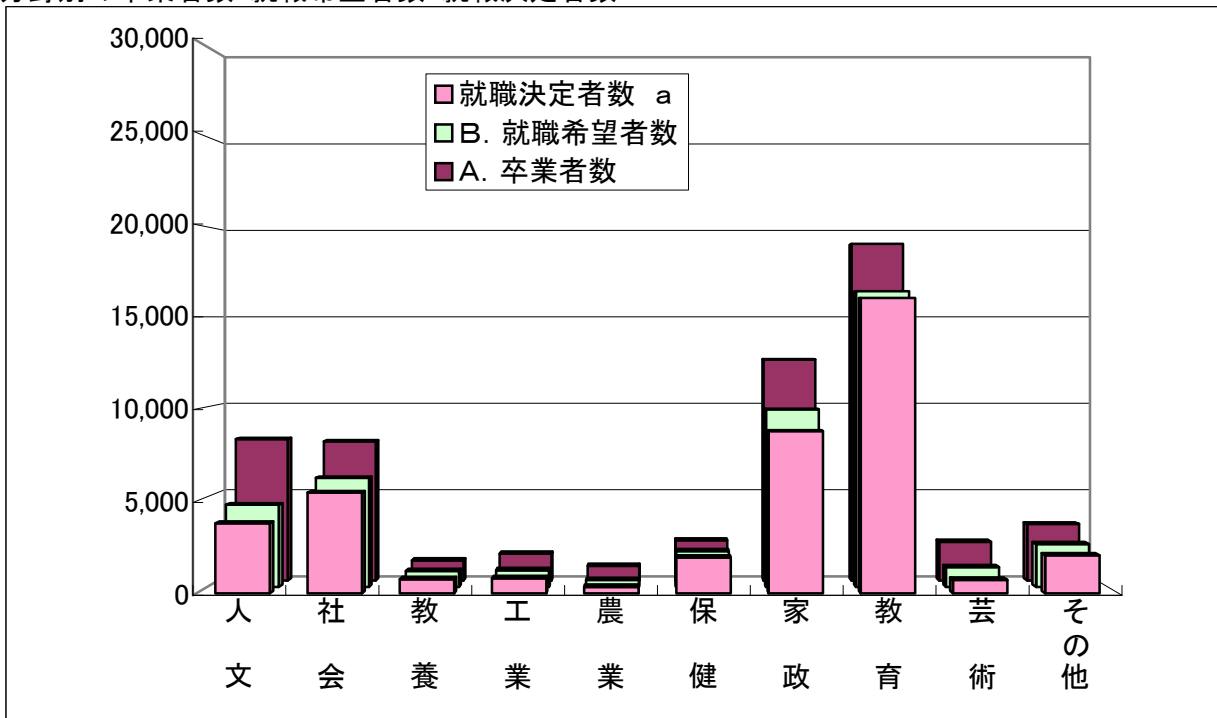
2 分野別の卒業者数・就職希望者数・就職決定者数

	A. 卒業者数	B. 就職希望者数	就職決定者数 a	就職希望率 B/A	就職決定率 a/B	就職率 a/A (%)
全国	58,896	44,505	40,765	75.6	91.6	69.2
人文	8,047	4,554	3,800	56.6	83.4	47.2
社会	7,918	6,049	5,469	76.4	90.4	69.1
教養	1,145	879	765	76.8	87.0	66.8
工業	1,527	924	815	60.5	88.2	53.4
農業	831	374	354	45.0	94.7	42.6
保健	2,291	1,983	1,943	86.6	98.0	84.8
家政	12,579	9,852	8,795	78.3	89.3	69.9
教育	19,143	16,419	16,026	85.8	97.6	83.7
芸術	2,203	1,091	736	49.5	67.5	33.4
その他	3,212	2,380	2,062	74.1	86.6	64.2

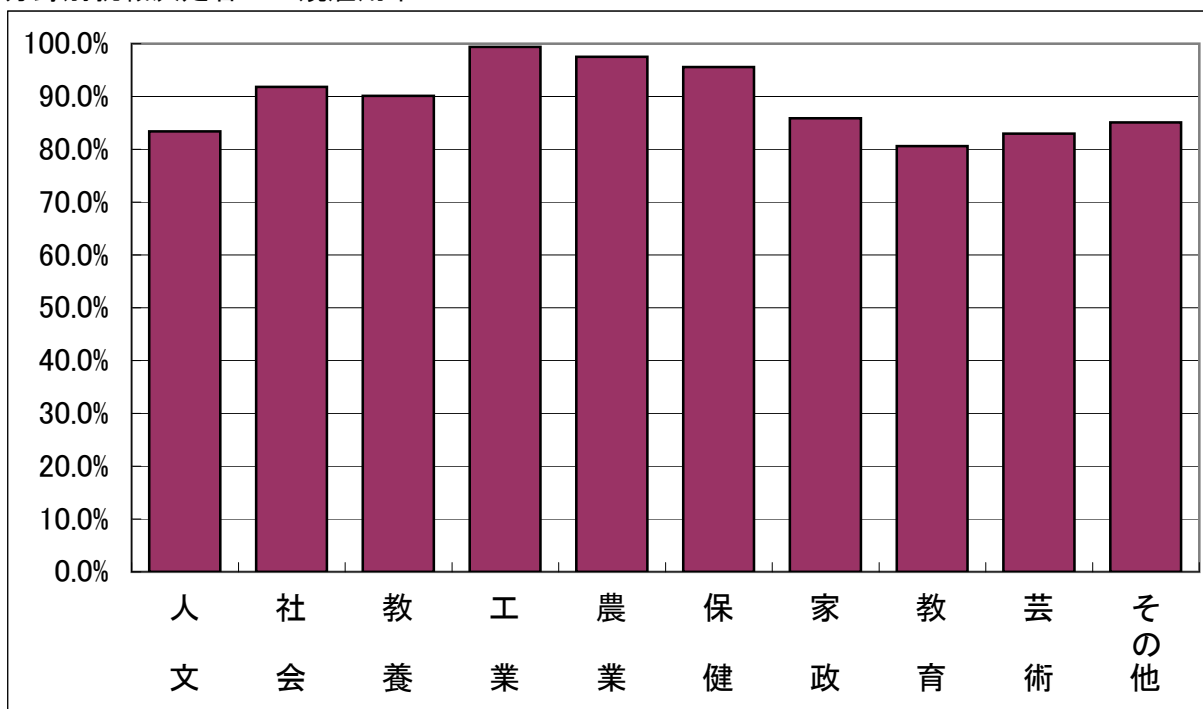
分野別就職決定者の雇用形態別内訳

	就職決定者数	正規 雇用者数	非正規 雇用者数	正規雇用率
全国	40,765	34,732	6,033	85.2%
人文	3,800	3,171	629	83.4%
社会	5,469	5,021	448	91.8%
教養	765	689	76	90.1%
工業	815	810	5	99.4%
農業	354	345	9	97.5%
保健	1,943	1,858	85	95.6%
家政	8,795	7,554	1,241	85.9%
教育	16,026	12,919	3,107	80.6%
芸術	736	611	125	83.0%
その他	2,062	1,754	308	85.1%

分野別の卒業生数・就職希望者数・就職決定者数



分野別就職決定者の正規雇用率



3 地域別・分野別の卒業者数・就職希望者数・就職決定者数

地域	分野	A. 卒業者数	B. 就職希望者数	就職決定者数 a	就職希望率 B/A	就職決定率 a/B	就職率 a/A (%)
北海道	人文	506	332	276	66	83.1	54.5
	社会	354	195	167	55	85.6	47.2
	教養	231	176	145	76	82.4	62.8
	工業	137	89	84	65	94.4	61.3
	農業	136	73	70	54	95.9	51.5
	家政	505	414	337	82	81.4	66.7
	教育	768	661	657	86	99.4	85.5
	芸術	93	27	16	29	59.3	17.2
	その他	36	27	22	75	81.5	61.1
	小計	2,766	1,994	1,774	72	89.0	64.1
	東北	人文	189	114	91	60	79.8
社会		302	286	252	95	88.1	83.4
保健		62	40	40	65	100.0	64.5
家政		725	628	591	87	94.1	81.5
教育		1239	1,067	1,022	86	95.8	82.5
芸術		21	19	18	91	94.7	85.7
その他		211	190	159	90	83.7	75.4
小計		2749	2,344	2,173	85	92.7	79.0
関東	人文	1,017	616	481	60.6	78.1	47.3
	社会	2,083	1,686	1,505	80.9	89.3	72.3
	教養	145	134	110	92.4	82.1	75.9
	工業	241	199	173	82.6	86.9	71.8
	保健	839	756	749	90.1	99.1	89.3
	家政	942	769	709	81.6	92.2	75.3
	教育	3,842	3,488	3,396	90.8	97.4	88.4
	芸術	310	175	94	56.5	53.7	30.3
	その他	542	394	347	72.7	88.1	64.0
	小計	9,961	8,217	7,564	82.5	92.1	75.9

地域	分野	A. 卒業者数	B. 就職希望者数	就職決定者数 a	就職希望率 B/A	就職決定率 a/B	就職率 a/A (%)
東京	人文	2,191	1,200	957	54.8	79.8	43.7
	社会	1,533	1,026	911	66.9	88.8	59.4
	教養	164	83	73	50.6	88.0	44.5
	工業	211	55	24	26.1	43.6	11.4
	農業	576	221	205	38.4	92.8	35.6
	保健	272	214	212	78.7	99.1	77.9
	家政	2,598	1,700	1,447	65.4	85.1	55.7
	教育	1,426	924	890	64.8	96.3	62.4
	芸術	370	121	59	32.7	48.8	15.9
	小計	9,341	5,544	4,778	59.4	86.2	51.2
	中部	人文	664	485	407	73.0	83.9
社会		1,562	1,315	1,265	84.2	96.2	81.0
教養		127	101	86	79.5	85.1	67.7
工業		409	295	288	72.1	97.6	70.4
保健		372	341	335	91.7	98.2	90.1
家政		1,928	1,642	1,495	85.2	91.0	77.5
教育		2,956	2,650	2,636	89.6	99.5	89.2
芸術		231	141	95	61.0	67.4	41.1
その他		971	735	667	75.7	90.7	68.7
小計		9,220	7,705	7,274	83.6	94.4	78.9
近畿		人文	945	563	512	59.6	90.9
	社会	626	313	286	50.0	91.4	45.7
	工業	126	84	59	66.7	70.2	46.8
	農業	36	32	31	88.9	96.9	86.1
	保健	52	51	51	98.1	100.0	98.1
	家政	1,702	1,310	1,099	77.0	83.9	64.6
	教育	2,328	1,901	1,841	81.7	96.8	79.1
	芸術	302	183	103	60.6	56.3	34.1
	その他	513	369	307	71.9	83.2	59.8
	小計	6,630	4,806	4,289	72.5	89.2	64.7

地域	分野	A. 卒業者数	B. 就職希望者数	就職決定者数 a	就職希望率 B/A	就職決定率 a/B	就職率 a/A (%)
大 阪	人文	1,596	667	577	41.8	86.5	36.2
	社会	519	444	386	85.5	86.9	74.4
	教養	87	72	69	82.8	95.8	79.3
	工業	133	58	56	43.6	96.6	42.1
	保健	294	262	246	89.1	93.9	83.7
	家政	1,183	897	781	75.8	87.1	66.0
	教育	1,885	1,630	1,592	86.5	97.7	84.5
	芸術	288	109	83	37.8	76.1	28.8
	その他	284	202	173	71.1	85.6	60.9
	小計	6,269	4,341	3,963	69.2	91.3	63.2
中 四 国	人文	189	128	112	67.7	87.5	59.3
	社会	620	544	498	87.7	91.5	80.3
	工業	153	103	94	67.3	91.3	61.4
	保健	308	244	243	79.2	99.6	78.9
	家政	1,321	1,086	1,018	82.2	93.7	77.1
	教育	1,627	1,436	1,410	88.3	98.2	86.7
	芸術	272	124	98	45.6	79.0	36.0
	その他	83	67	51	80.7	76.1	61.4
	小計	4,573	3,732	3,524	81.6	94.4	77.1
九 州	人文	750	449	387	59.9	86.2	51.6
	社会	319	240	199	75.2	82.9	62.4
	教養	391	313	282	80.1	90.1	72.1
	工業	117	41	37	35.0	90.2	31.6
	農業	83	48	48	57.8	100.0	57.8
	保健	92	75	67	81.5	89.3	72.8
	家政	1,675	1,406	1,318	83.9	93.7	78.7
	教育	3,072	2,662	2,582	86.7	97.0	84.0
	芸術	316	192	170	60.8	88.5	53.8
	その他	572	396	336	69.2	84.8	58.7
	小計	7,387	5,822	5,426	78.8	93.2	73.5
合 計	58,896	44,505	40,765	75.6	91.6	69.2	

4 地域別の就職以外の進路者数

	四年制大学への編入学者	短大専攻科への進学者	専修・各種学校等への入学者	一時的な仕事に就いた者	その他	合計
全国	4,332	1,889	1,317	2,693	7,900	18,131
北海道	352	115	50	62	413	992
東北	62	120	47	85	262	576
関東	448	136	156	409	1,248	2,397
東京	1,359	562	350	649	1,643	4,563
中部	297	323	129	229	968	1,946
近畿	587	193	205	533	823	2,341
大阪	612	36	192	375	1,091	2,306
中四国	208	170	64	99	508	1,049
九州	407	234	124	252	944	1,961

5 分野別の就職以外の進路者数

	四年制大学への編入学者	短大専攻科への進学者	専修・各種学校等への入学者	一時的な仕事に就いた者	その他	合計
全国	4,332	1,889	1,317	2,693	7,900	18,131
人文	1,413	173	382	566	1,713	4,247
社会	673	61	159	365	1,191	2,449
教養	81	18	25	57	199	380
工業	289	89	25	25	284	712
農業	267	5	30	37	138	477
保健	59	94	32	13	150	348
家政	567	213	332	746	1,926	3,784
教育	515	960	158	410	1,074	3,117
芸術	246	271	85	249	616	1,467
その他	222	5	89	225	609	1,150

6 地域別・分野別の就職以外の進路者数

地域	分野	四年制大学への編入学者	短大専攻科への進学者	専修・各種学校等への入学者	一時的な仕事に就いた者	その他	合計
北海道	人文	93	0	13	22	102	230
	社会	124	0	8	4	51	187
	教養	44	0	1	3	38	86
	工業	3	22	1	9	18	53
	農業	34	0	4	0	28	66
	家政	33	0	7	14	114	168
	教育	19	51	7	3	31	111
	芸術	2	42	7	7	19	77
	その他	0	0	2	0	12	14
	小計	352	115	50	62	413	992
東北	人文	6	6	4	30	52	98
	社会	2	0	1	10	37	50
	保健	0	0	21	0	1	22
	家政	17	14	9	12	82	134
	教育	31	100	6	27	53	217
	芸術	0	0	1	0	2	3
	その他	6	0	5	6	35	52
	小計	62	120	47	85	262	576
関東	人文	185	3	40	76	232	536
	社会	80	26	23	100	349	578
	教養	2	0	2	0	31	35
	工業	4	3	5	0	56	68
	保健	22	31	3	8	26	90
	家政	24	6	17	65	121	233
	教育	40	64	42	79	221	446
	芸術	39	1	16	47	113	216
	その他	52	2	8	34	99	195
	小計	448	136	156	409	1,248	2,397

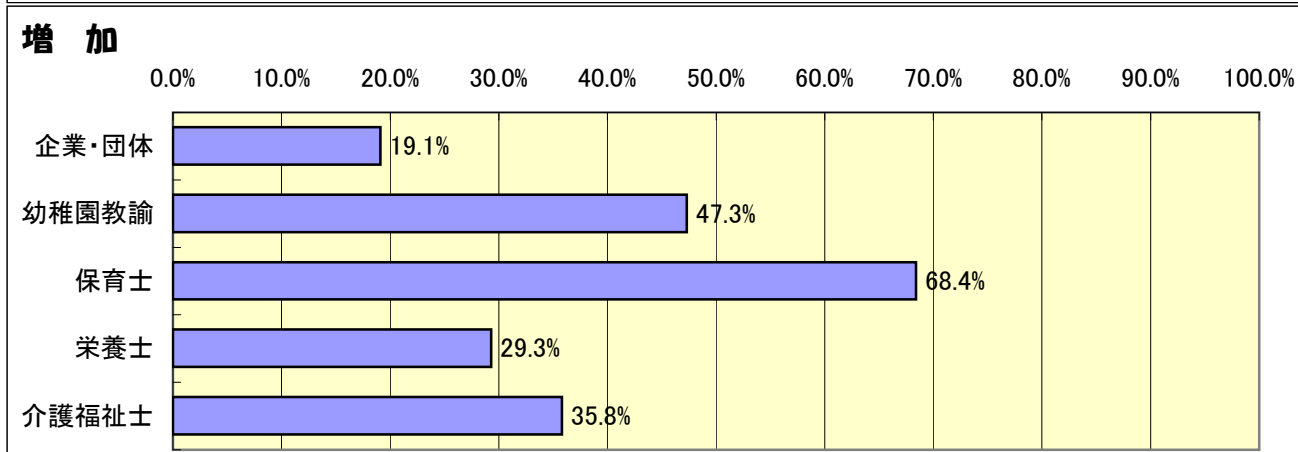
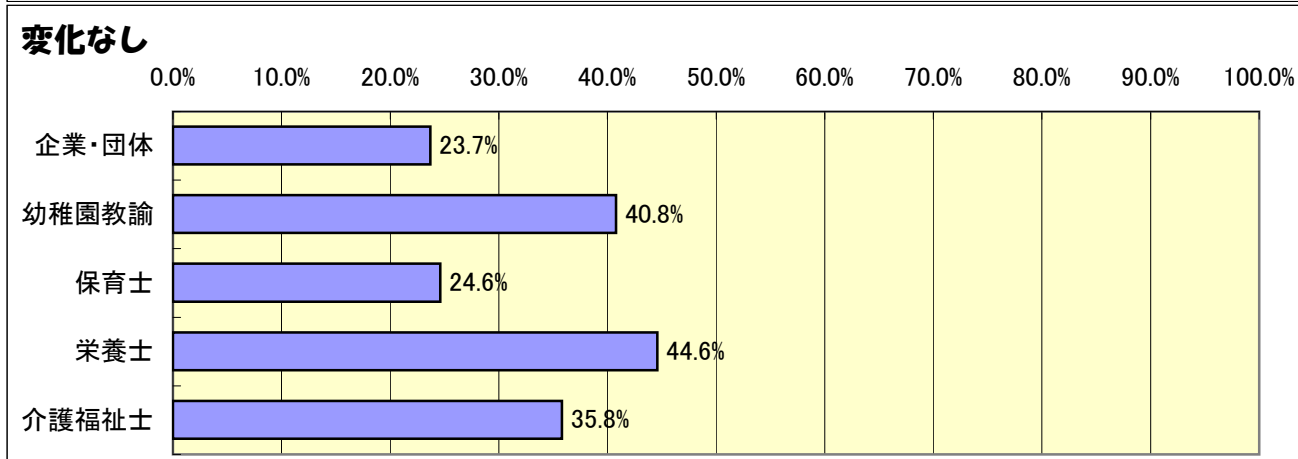
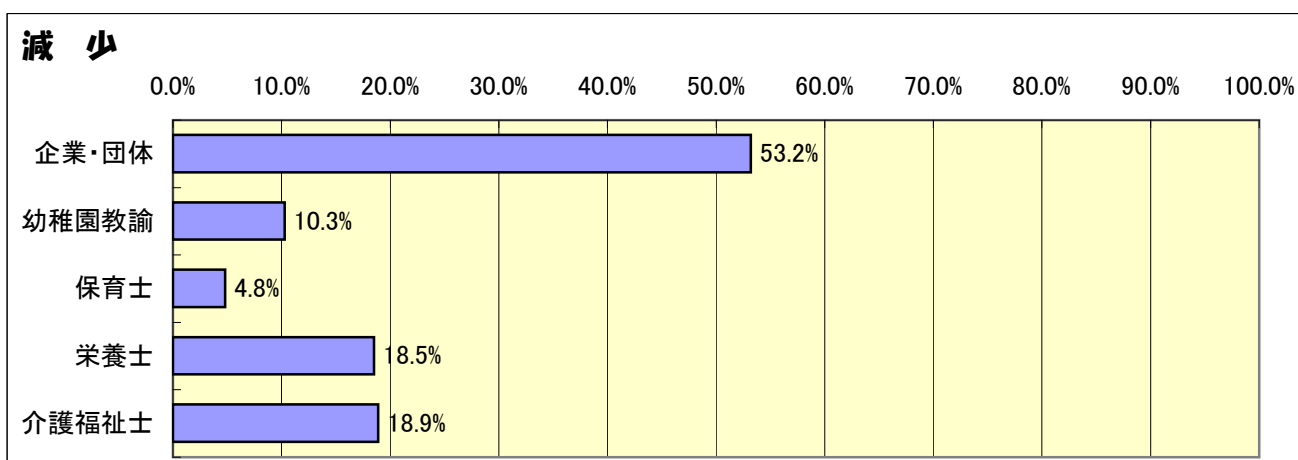
地域	分野	四年制大学への編入学者	短大専攻科への進学者	専修・各種学校等への入学者	一時的な仕事に就いた者	その他	合計
東京	人文	330	111	119	154	520	1,234
	社会	208	0	54	108	252	622
	教養	22	18	6	10	35	91
	工業	123	0	4	12	48	187
	農業	220	4	23	32	92	371
	保健	5	30	4	1	20	60
	家政	218	102	104	261	466	1,151
	教育	147	234	22	38	95	536
	芸術	86	63	14	33	115	311
	小計	1,359	562	350	649	1,643	4,563
中部	人文	62	13	16	35	131	257
	社会	51	32	13	21	180	297
	教養	1	0	3	11	26	41
	工業	43	46	2	0	30	121
	保健	7	19	1	3	7	37
	家政	42	40	46	64	241	433
	教育	39	144	8	26	103	320
	芸術	4	29	10	17	76	136
	その他	48	0	30	52	174	304
	小計	297	323	129	229	968	1,946
近畿	人文	166	32	37	71	127	433
	社会	148	2	31	77	82	340
	工業	25	1	3	0	38	67
	農業	1	1	1	0	2	5
	保健	0	0	0	0	1	1
	家政	92	7	72	162	270	603
	教育	113	107	32	101	134	487
	芸術	8	41	8	67	75	199
	その他	34	2	21	55	94	206
	小計	587	193	205	533	823	2,341

地域	分野	四年制大学への編入学者	短大専攻科への進学者	専修・各種学校等への入学者	一時的な仕事に就いた者	その他	合計
大阪	人文	445	1	112	122	339	1,019
	社会	20	0	13	20	80	133
	教養	0	0	5	5	8	18
	工業	32	0	1	0	44	77
	保健	2	1	2	1	42	48
	家政	18	0	34	76	274	402
	教育	42	11	8	58	174	293
	芸術	41	23	8	61	72	205
	その他	12	0	9	32	58	111
	小計	612	36	192	375	1,091	2,306
	中 四 国	人文	13	5	4	8	47
社会		20	1	11	11	79	122
工業		10	17	5	1	26	59
保健		19	1	1	0	44	65
家政		50	28	23	36	166	303
教育		33	71	8	26	79	217
芸術		47	47	12	16	52	174
その他		16	0	0	1	15	32
小計		208	170	64	99	508	1,049
九 州		人文	113	2	37	48	163
	社会	20	0	5	14	81	120
	教養	12	0	8	28	61	109
	工業	49	0	4	3	24	80
	農業	12	0	2	5	16	35
	保健	4	12	0	0	9	25
	家政	73	16	20	56	192	357
	教育	51	178	25	52	184	490
	芸術	19	25	9	1	92	146
	その他	54	1	14	45	122	236
	小計	407	234	124	252	944	1,961
合計	4,332	1,889	1,317	2,693	7,900	18,131	

《平成22年度の求人件数の増減傾向について前年度(21年度)と比較しての変化》

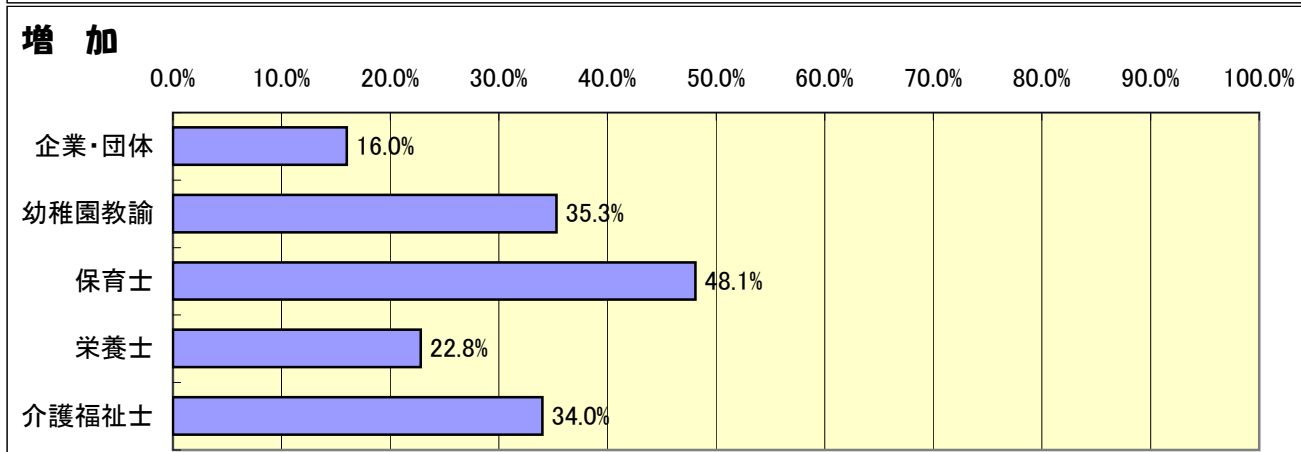
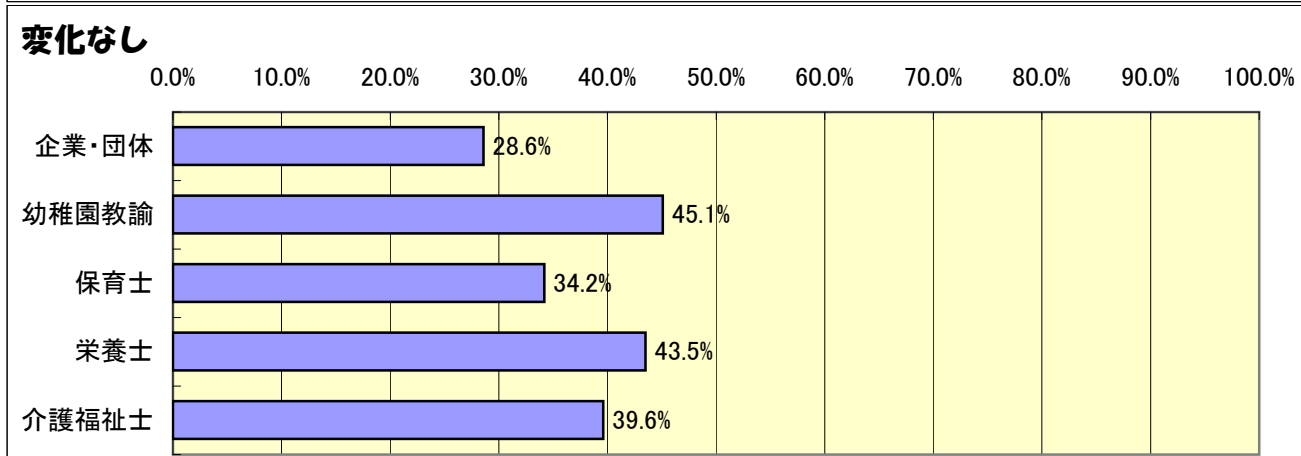
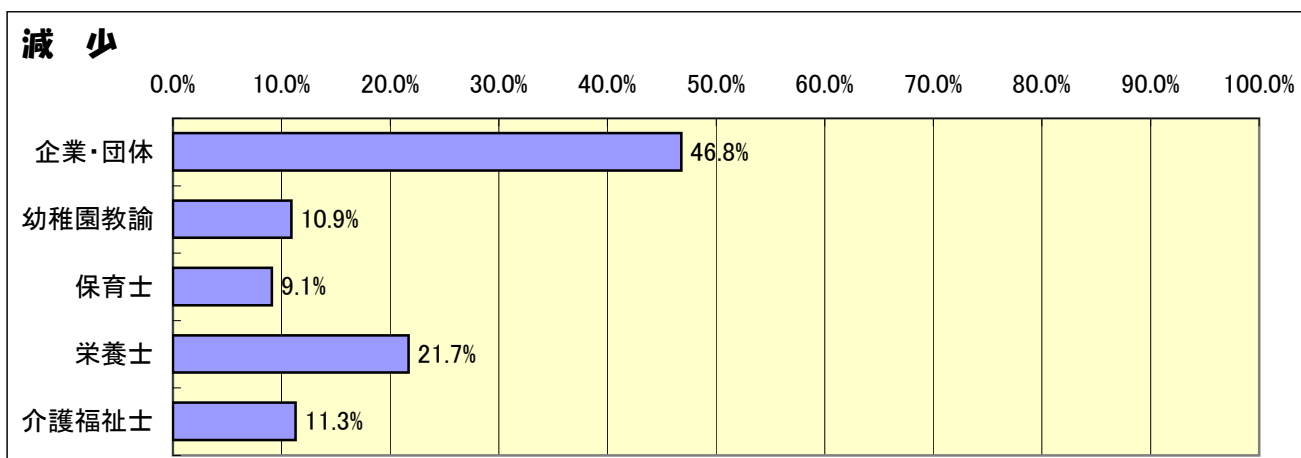
【企業・団体&専門職別】／ 求人件数

	減少	変化なし	増加	無回答	件数計
企業・団体	53.2%	23.7%	19.1%	4.0%	325
幼稚園教諭	10.3%	40.8%	47.3%	1.6%	184
保育士	4.8%	24.6%	68.4%	2.1%	187
栄養士	18.5%	44.6%	29.3%	7.6%	92
介護福祉士	18.9%	35.8%	35.8%	9.4%	53



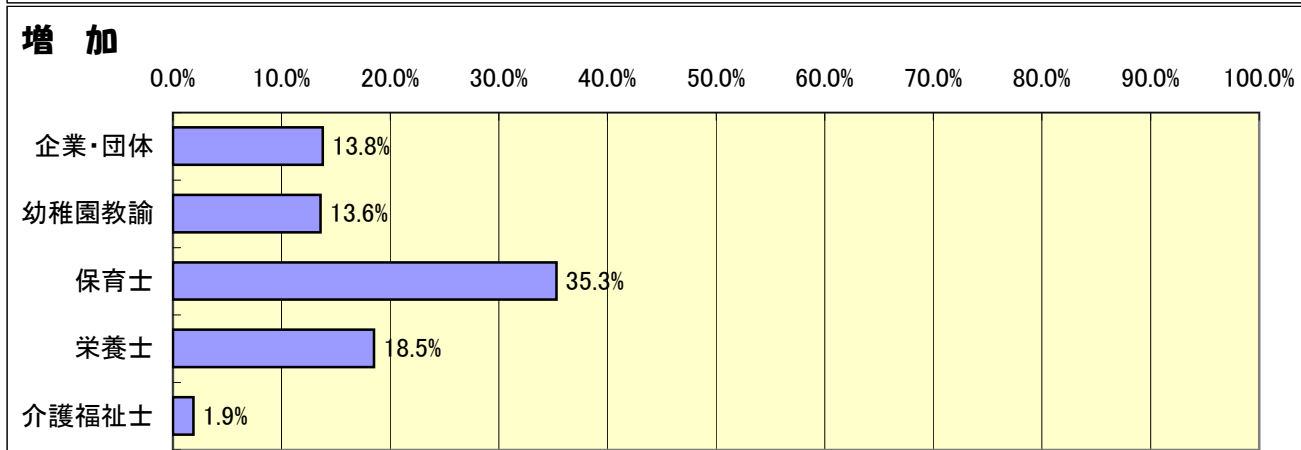
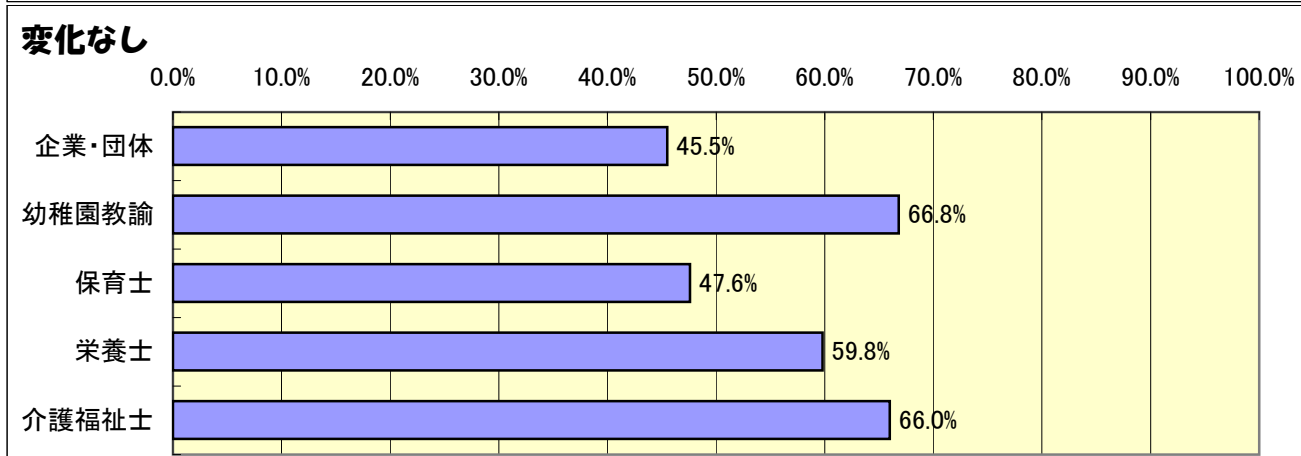
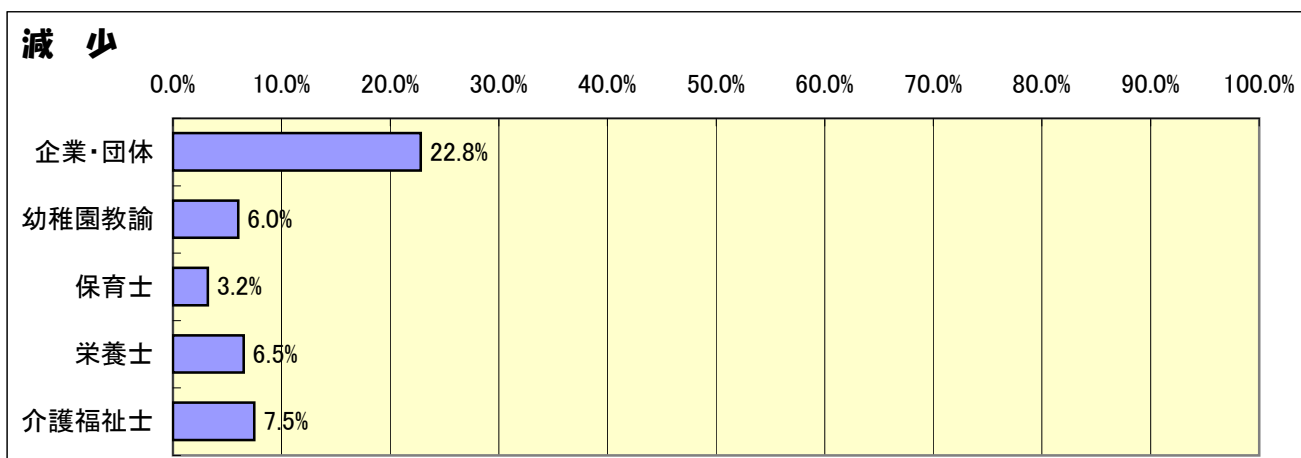
【企業・団体&専門職別】／ 正規雇用求人件数

	減少	変化なし	増加	無回答	件数計
企業・団体	46.8%	28.6%	16.0%	8.6%	325
幼稚園教諭	10.9%	45.1%	35.3%	8.7%	184
保育士	9.1%	34.2%	48.1%	8.6%	187
栄養士	21.7%	43.5%	22.8%	12.0%	92
介護福祉士	11.3%	39.6%	34.0%	15.1%	53



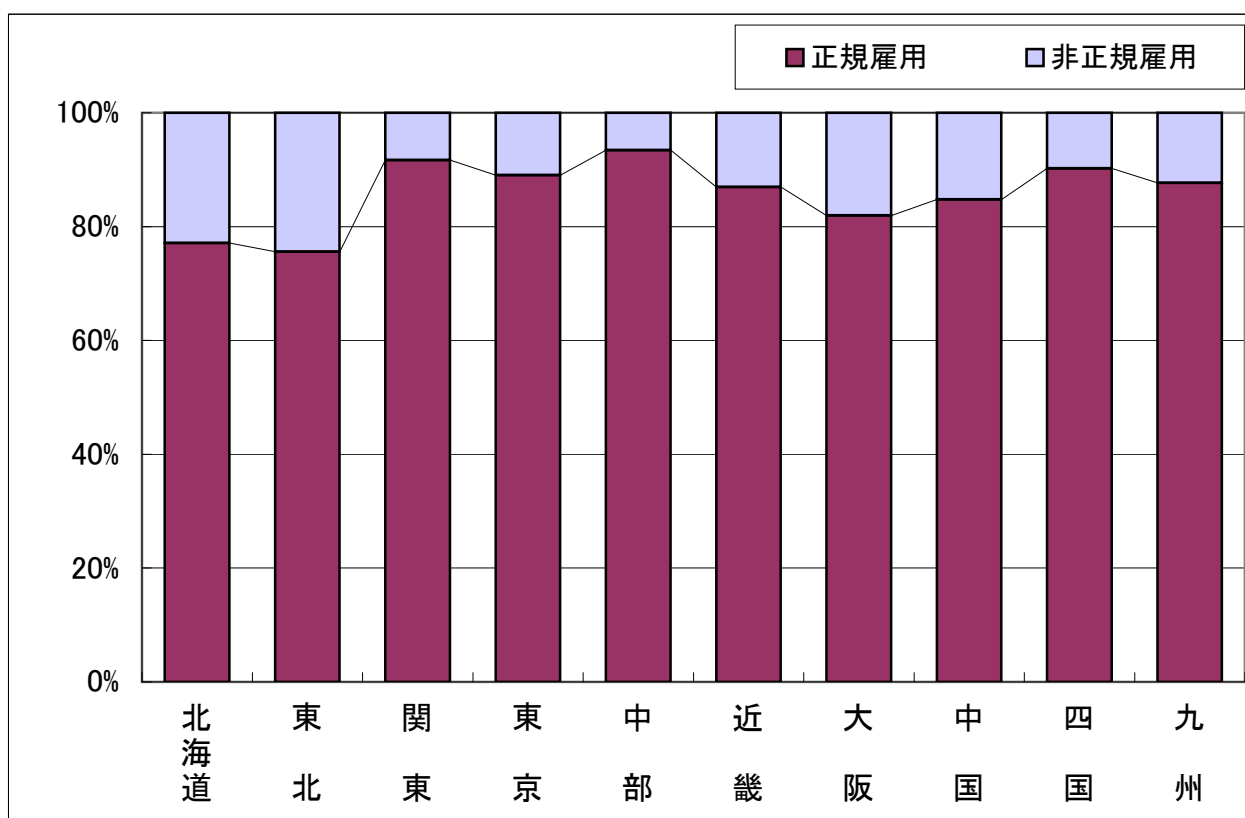
【企業・団体&専門職別】／ 非正規雇用求人件数

	減少	変化なし	増加	無回答	件数計
企業・団体	22.8%	45.5%	13.8%	17.8%	325
幼稚園教諭	6.0%	66.8%	13.6%	13.6%	184
保育士	3.2%	47.6%	35.3%	13.9%	187
栄養士	6.5%	59.8%	18.5%	15.2%	92
介護福祉士	7.5%	66.0%	1.9%	24.5%	53



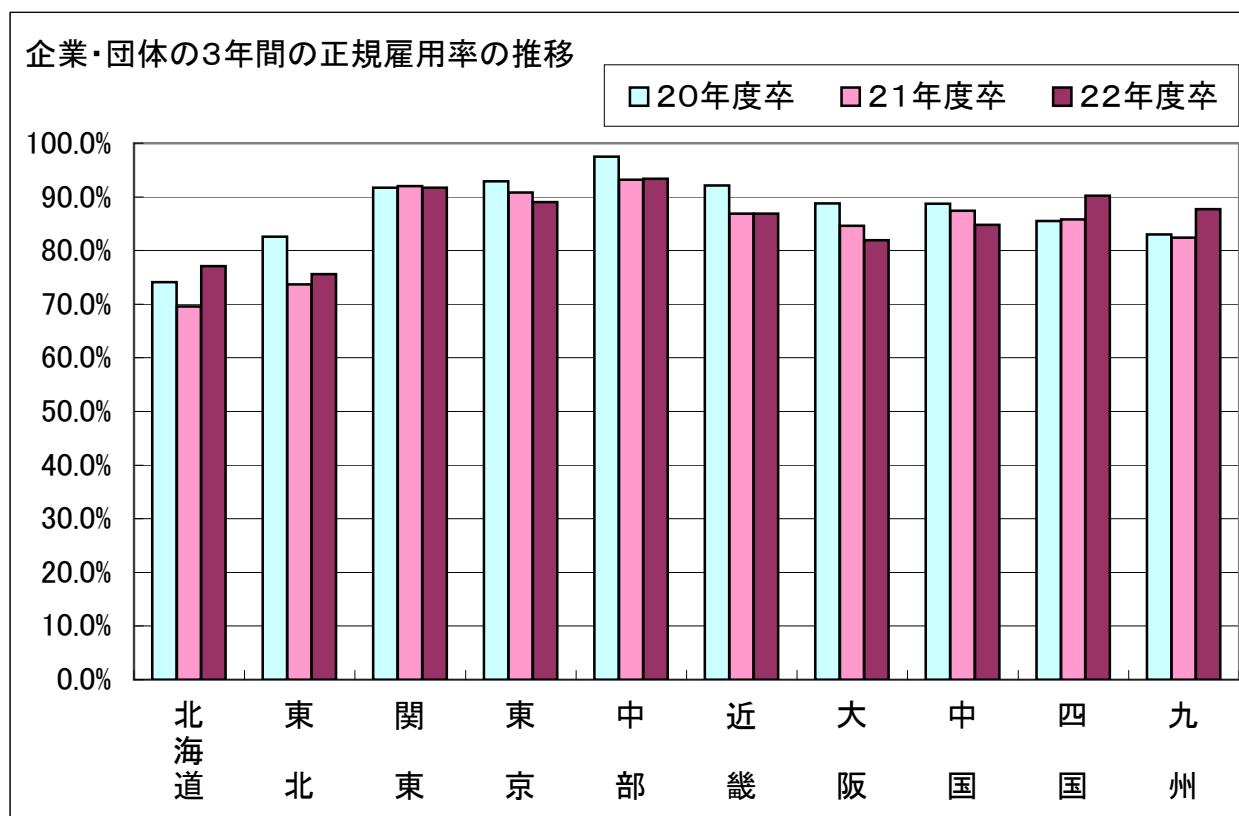
企業・団体における地域別雇用形態の状況

	就職 決定者数	正規 雇用者数	非正規 雇用者数	正規 雇用率
全 国	17,134	15,047	2,087	87.8%
北海道	852	657	195	77.1%
東 北	565	427	138	75.6%
関 東	2,343	2,148	195	91.7%
東 京	3,055	2,720	335	89.0%
中 部	3,178	2,968	210	93.4%
近 畿	1,884	1,638	246	86.9%
大 阪	1,848	1,514	334	81.9%
中 国	912	773	139	84.8%
四 国	481	434	47	90.2%
九 州	2,016	1,768	248	87.7%



企業・団体の正規雇用率の推移

	就職決定者数			正規雇用率		
	20年度卒	21年度卒	22年度卒	20年度卒	21年度卒	22年度卒
北海道	1,019	888	852	74.1%	69.6%	77.1%
東北	789	688	565	82.6%	73.7%	75.6%
関東	3,005	2,287	2,343	91.7%	92.0%	91.7%
東京	4,370	3,188	3,055	92.9%	90.8%	89.0%
中部	4,142	3,077	3,178	97.5%	93.2%	93.4%
近畿	2,346	1,893	1,884	92.1%	86.9%	86.9%
大阪	2,251	1,491	1,848	88.8%	84.6%	81.9%
中国	1,141	858	912	88.7%	87.4%	84.8%
四国	599	465	481	85.5%	85.8%	90.2%
九州	1,936	1,916	2,016	83.0%	82.4%	87.7%
全国	21,598	16,751	17,134	90.5%	87.3%	87.8%

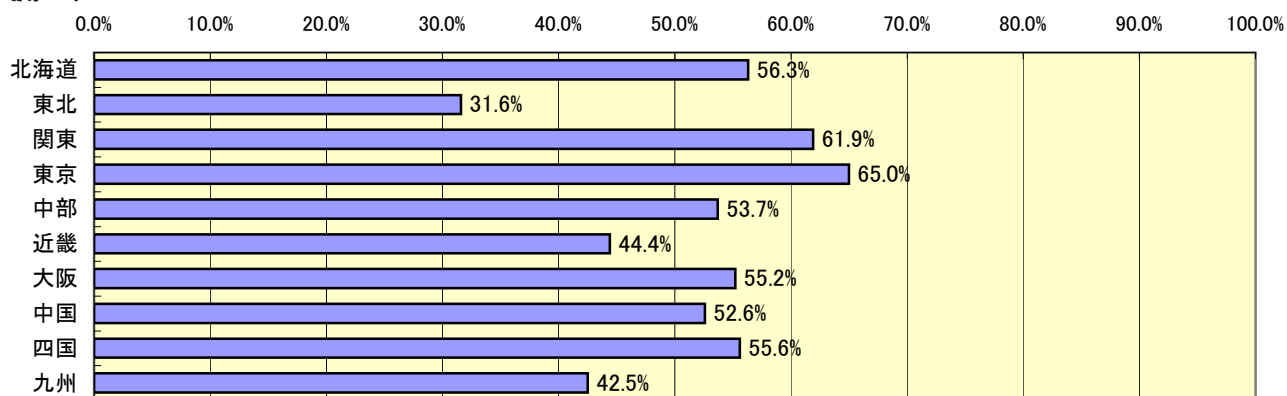


《平成22年度の求人件数の増減傾向について前年度(21年度)と比較しての変化》

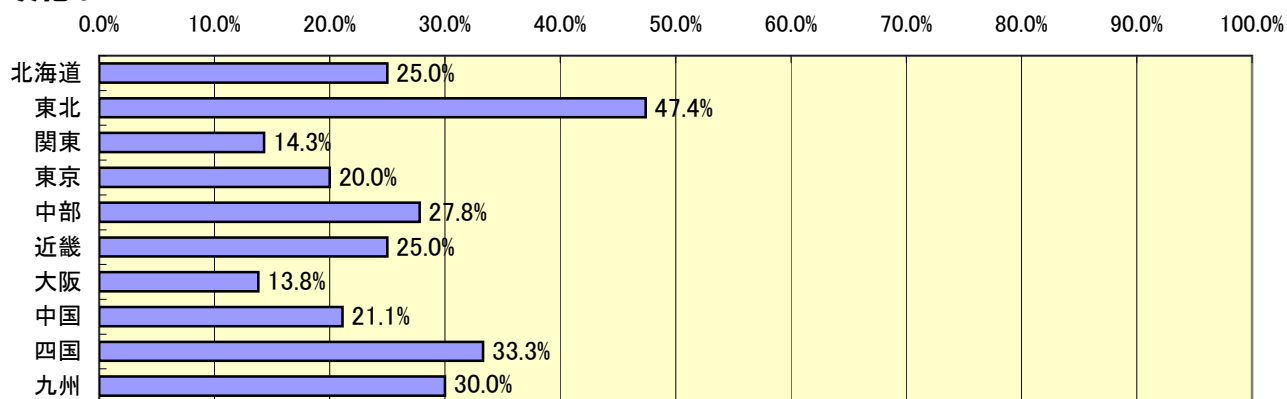
【企業・団体】 / 求人件数

	減少	変化なし	増加	無回答	件数計
北海道	56.3%	25.0%	18.8%	0.0%	16
東北	31.6%	47.4%	10.5%	10.5%	19
関東	61.9%	14.3%	11.1%	12.7%	63
東京	65.0%	20.0%	12.5%	2.5%	40
中部	53.7%	27.8%	16.7%	1.9%	54
近畿	44.4%	25.0%	30.6%	0.0%	36
大阪	55.2%	13.8%	27.6%	3.4%	29
中国	52.6%	21.1%	26.3%	0.0%	19
四国	55.6%	33.3%	11.1%	0.0%	9
九州	42.5%	30.0%	27.5%	0.0%	40
全国	53.2%	23.7%	19.1%	4.0%	325

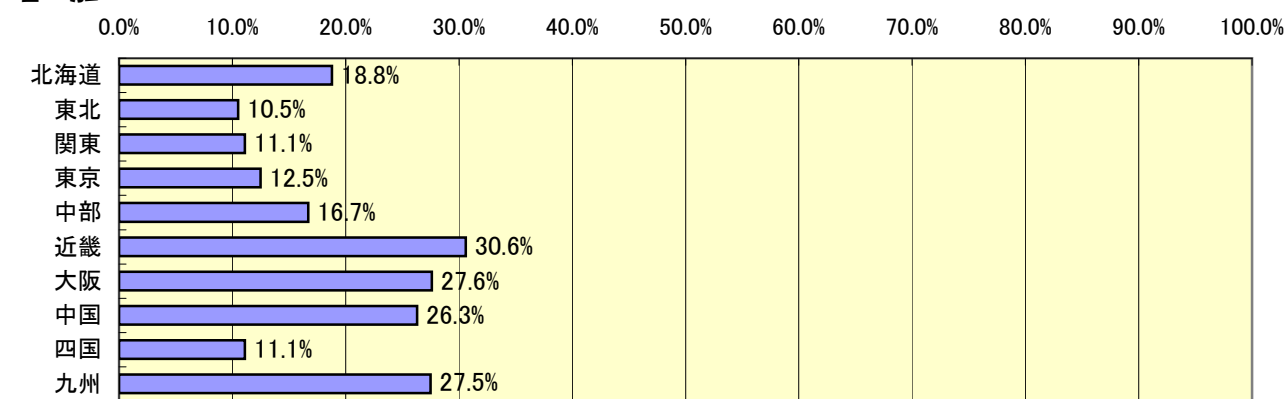
減少



変化なし



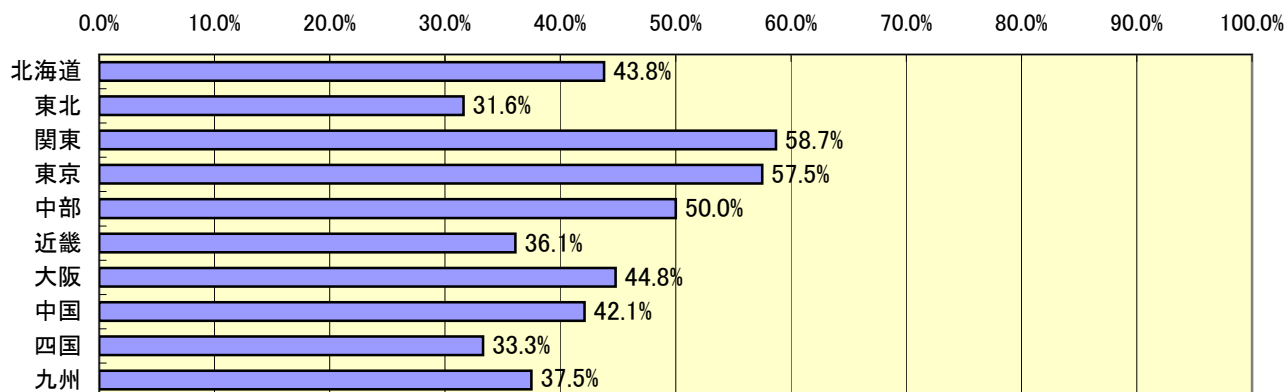
増加



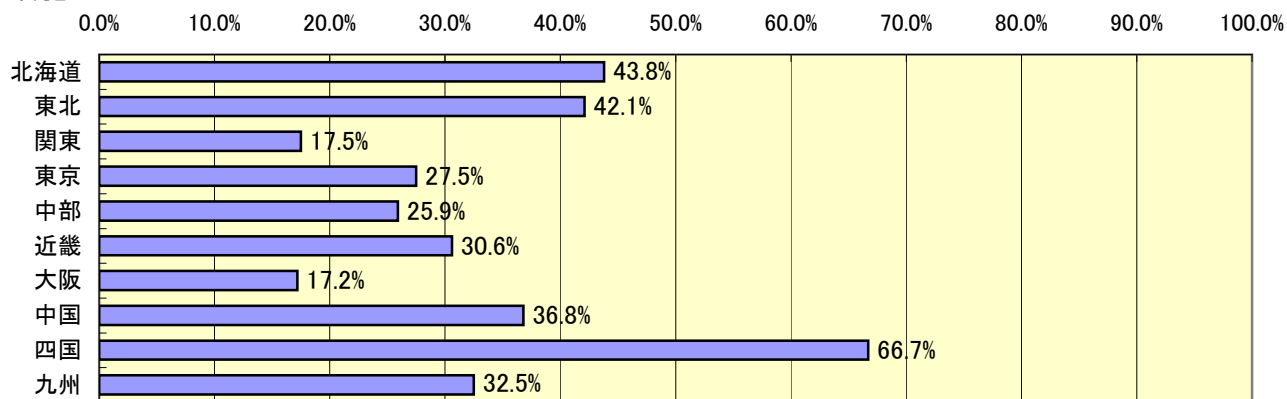
【企業・団体】／ 正規雇用求人件数

	減少	変化なし	増加	無回答	件数計
北海道	43.8%	43.8%	12.5%	0.0%	16
東北	31.6%	42.1%	10.5%	15.8%	19
関東	58.7%	17.5%	9.5%	14.3%	63
東京	57.5%	27.5%	5.0%	10.0%	40
中部	50.0%	25.9%	16.7%	7.4%	54
近畿	36.1%	30.6%	27.8%	5.6%	36
大阪	44.8%	17.2%	31.0%	6.9%	29
中国	42.1%	36.8%	15.8%	5.3%	19
四国	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	9
九州	37.5%	32.5%	22.5%	7.5%	40
全国	46.8%	28.6%	16.0%	8.6%	325

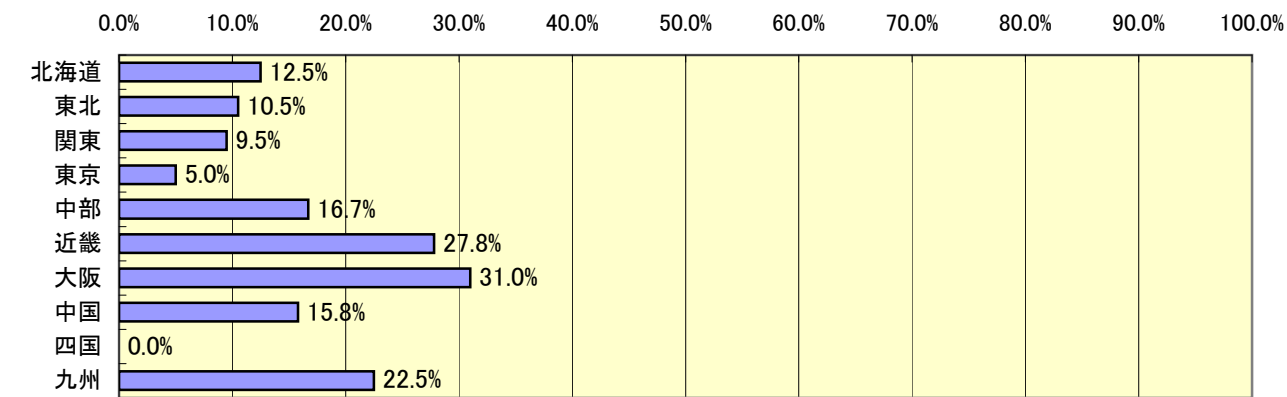
減少



変化なし



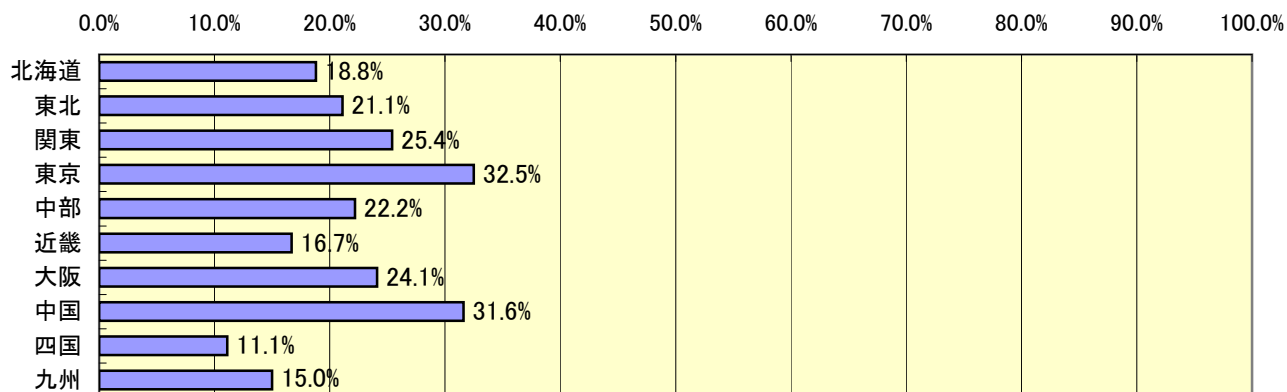
増加



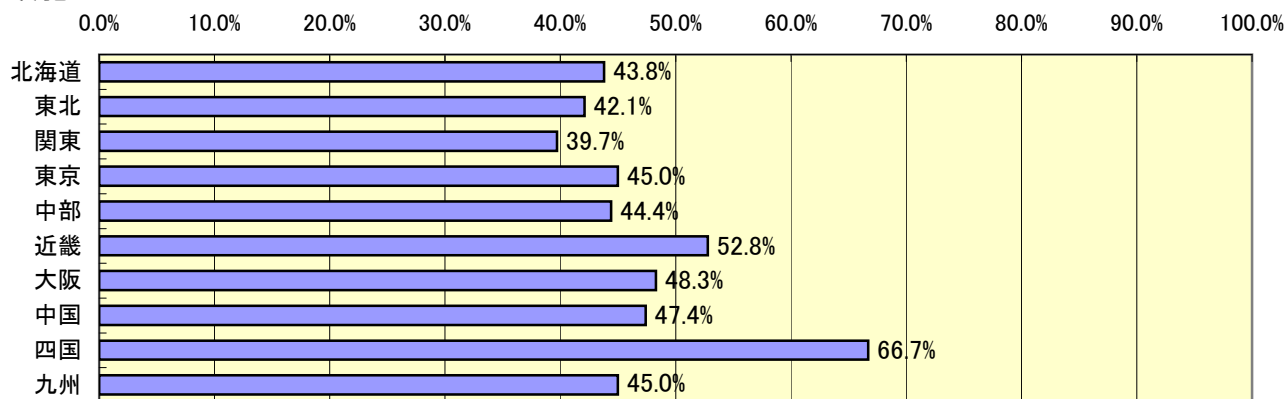
【企業・団体】 / 非正規雇用求人件数

	減少	変化なし	増加	無回答	件数計
北海道	18.8%	43.8%	25.0%	12.5%	16
東北	21.1%	42.1%	15.8%	21.1%	19
関東	25.4%	39.7%	6.3%	28.6%	63
東京	32.5%	45.0%	12.5%	10.0%	40
中部	22.2%	44.4%	14.8%	18.5%	54
近畿	16.7%	52.8%	16.7%	13.9%	36
大阪	24.1%	48.3%	6.9%	20.7%	29
中国	31.6%	47.4%	10.5%	10.5%	19
四国	11.1%	66.7%	11.1%	11.1%	9
九州	15.0%	45.0%	25.0%	15.0%	40
全国	22.8%	45.5%	13.8%	17.8%	325

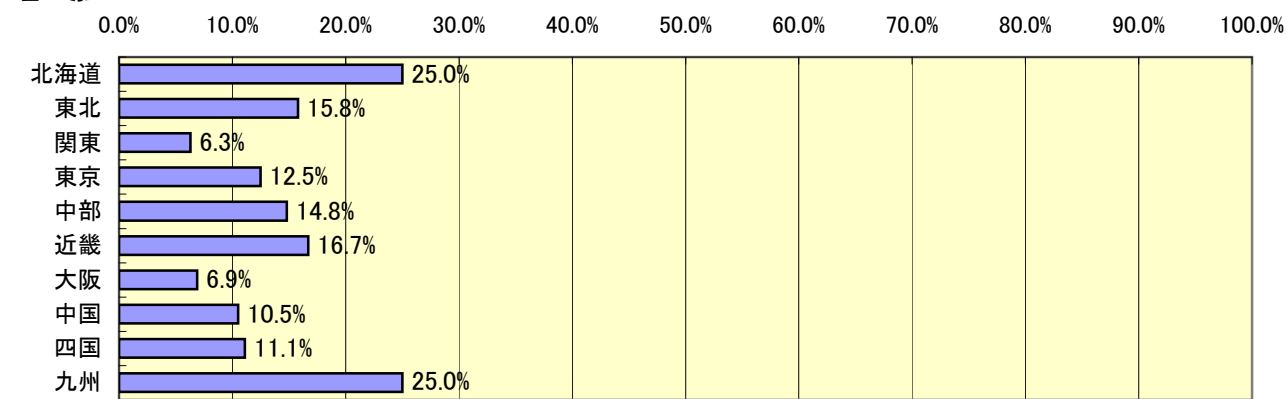
減少



変化なし



増加



企業・団体の平成22年度の就職・採用活動について、
前年度と比較して顕著な変化のあった項目およびその内容

意見の概要

① 具体的な変化の内容

—選択肢別回答数及び概要—

○雇用形態【33件】

一部に新規オープンに伴う採用増・国の雇用促進施策（厚労省トライアル求人）等による求人増・正規採用微増の回答があったが、全体的には低迷傾向が見られる。

主な回答：①正規社員の採用減。

②契約及び派遣等の非正規雇用の増加。

③事務職採用の減少。

④短大生積極採用企業の減少。

4年制大学への採用のシフトや給料が上がらず退職金がない雇用条件、雇用形態の細分化・複雑化等、短大生にとって厳しい条件での採用が続くことが予想される。

○処遇【5件】

短大の初任給低下・基本給を抑え諸手当で調整等、処遇については悪化していると考えてよい状況である。

○学生の就労意識【79件】

意識の高い学生が増えた・早期から活動している・最後まで諦めず粘り強く活動している等、学生の意識が高まった回答が前年よりは多かった。就職状況が厳しさを増す危機感が早期からの取組みにつながっているものと考えられる。

しかし一方で就労意識低下を懸念する割合は高い。

主な回答：①学生の就労意識の低下

②就職意欲がない

③早期から諦めている

④行動に移せない

⑤消極的

①～⑤で全体の半数に及ぶ。さらに学力の低下・学内講座出席率低下・打たれ弱い学生増の声も聞かれた。

また、意識の高い学生と低い学生の二極化については、ここ数年来問題となっているが、今年度も多く挙げられた。就職環境（特に今後は震災の影響等も考えながら）やそれに伴う企業の採用状況を考慮しつつ、学生の気質を見ながらいかにモチベーションを上げ、就職に対して意欲的に取り組む状況につなげていくことができるか、学生支援の難しさを考える結果となっているように思われる。

○その他【55件】

内訳：求人数について・・・23件	採用等について・・・18件
求人状況について・・・9件	政府支援関係・・・3件
学生の学力低下・・・1件	内定取消関係・・・1件

求人数・採用数については多くが減少または激減となっている。企業は厳選採用となり以下のケースも増加している。

- ①基準に達しないと予定数を下回っても採用を終了する
- ②採用自体が4年制にシフトされる
- ③求人を大学に出さない

また、採用活動期間の長期化・学校推薦枠の減少・震災の影響による求人減等、厳しい求人状況が続く結果となっている。

政府支援を活用する事例については昨年と比較し増加している。

② 雇用者側の対応に苦慮した事例

主には上記設問2-①に順ずる回答となった。厳選採用により企業が学生に求めるレベルが高く、4年制と同様の選考では明らかに不利との見方が大方である。

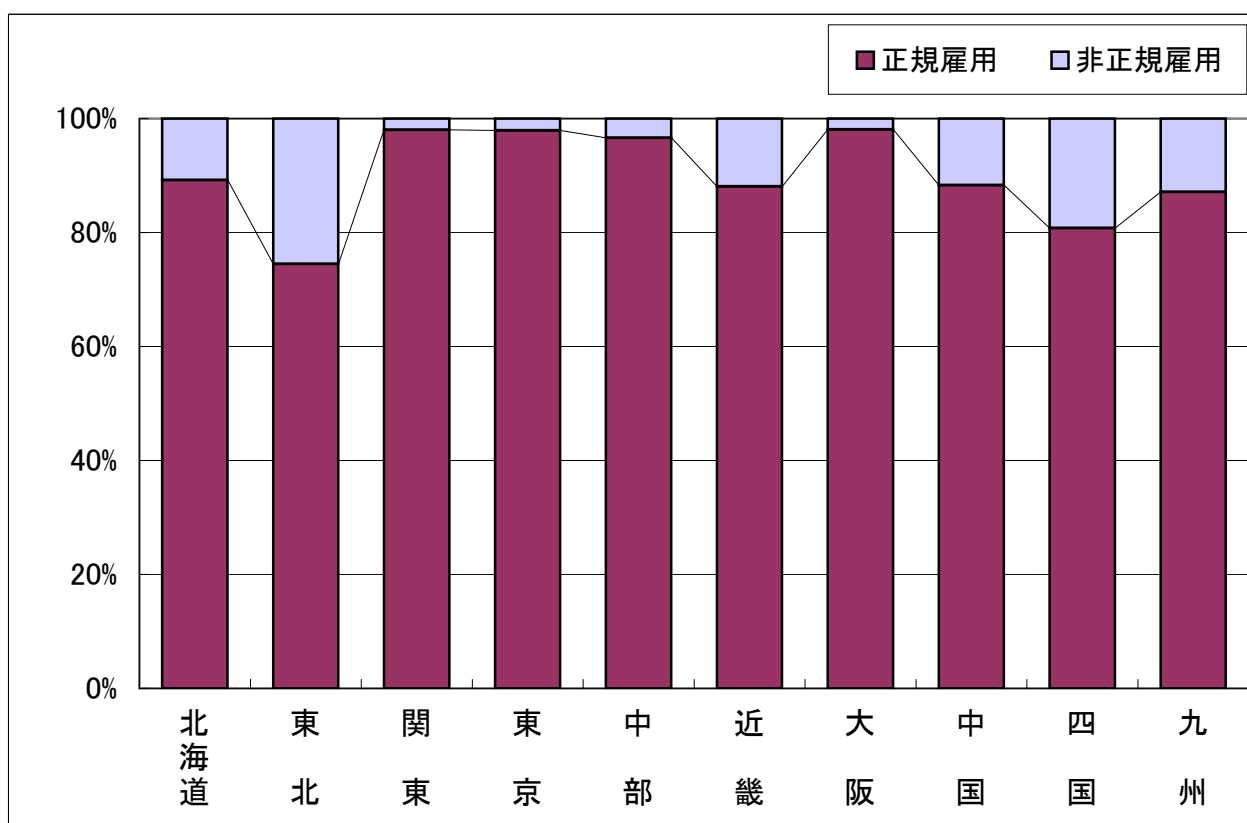
また、以下のような企業体質が問われる内容もあった。

- ①採用期間の長期化
(内定を出さず引っ張るため、別の企業の受験機会を失う)
- ②事務職の募集に営業で採用し卒業前から飛び込み営業をさせる
- ③「他社を辞退すれば内定を出す」と言われた
- ④採用後に企業事情により内定取消や辞退を促す

今年度は当初採用計画が変更になる企業もあり、少なからずそれらも影響していることが考えられる。

幼稚園教諭の地域別雇用形態の状況（１）

	就職 決定者数	正規 雇用者数	非正規 雇用者数	正規 雇用率
全 国	4,729	4,401	328	93.1%
北海道	241	215	26	89.2%
東 北	251	187	64	74.5%
関 東	1,339	1,313	26	98.1%
東 京	340	333	7	97.9%
中 部	744	719	25	96.6%
近 畿	462	407	55	88.1%
大 阪	472	463	9	98.1%
中 国	188	166	22	88.3%
四 国	78	63	15	80.8%
九 州	614	535	79	87.1%

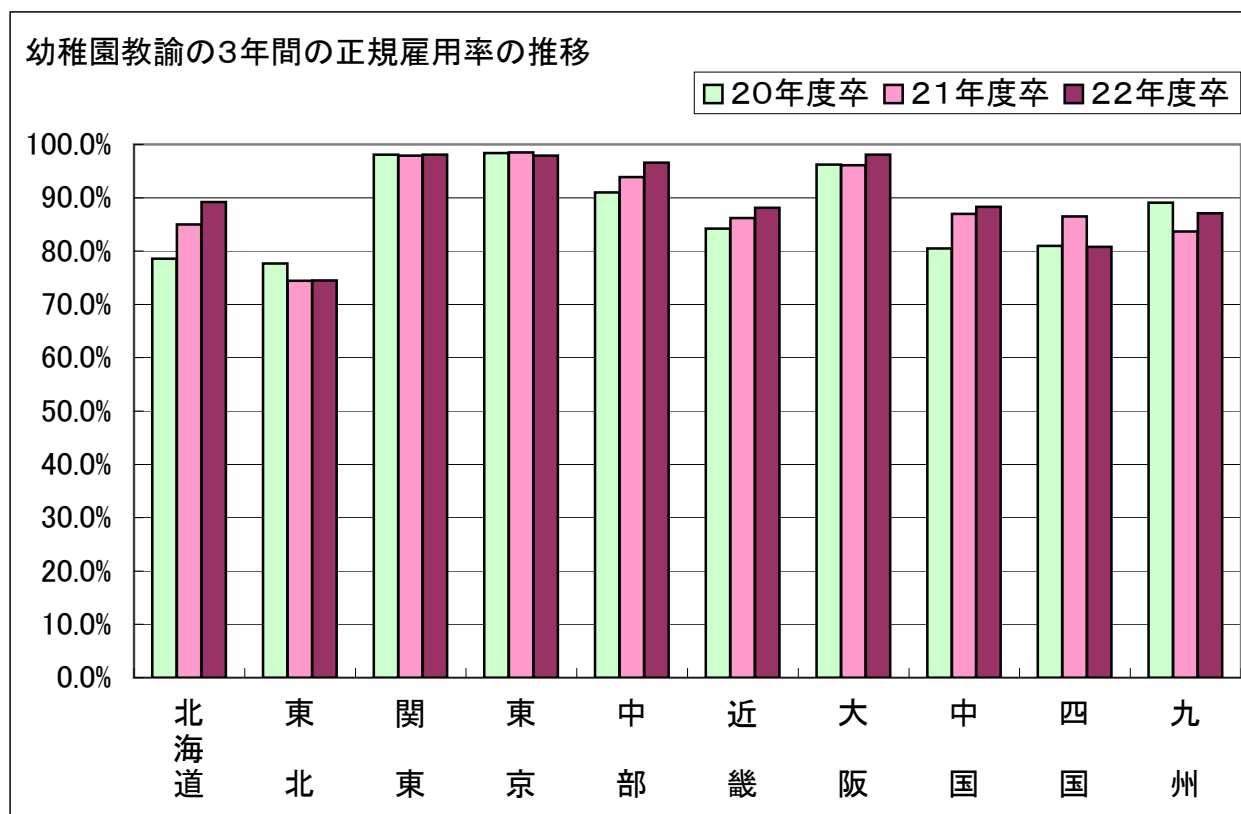


幼稚園教諭の地域別雇用形態の状況（２）

	就職 決定者	公立			私立		
		公立計	正規 雇用者	非正規 雇用者	私立計	正規 雇用者	非正規 雇用者
全 国	4,729	186	78	108	4,543	4,323	220
	100.0%	3.9%	1.6%	2.3%	96.1%	91.4%	4.7%
		100.0%	41.9%	58.1%	100.0%	95.2%	4.8%
北海道	241	7	4	3	234	211	23
	100.0%	2.9%	1.7%	1.2%	97.1%	87.6%	9.5%
		100.0%	57.1%	42.9%	100.0%	90.2%	9.8%
東 北	251	14	4	10	237	183	54
	100.0%	5.6%	1.6%	4.0%	94.4%	72.9%	21.5%
		100.0%	28.6%	71.4%	100.0%	77.2%	22.8%
関 東	1,339	34	28	6	1,305	1,285	20
	100.0%	2.5%	2.1%	0.4%	97.5%	96.0%	1.5%
		100.0%	82.4%	17.6%	100.0%	98.5%	1.5%
東 京	340	2	1	1	338	332	6
	100.0%	0.6%	0.3%	0.3%	99.4%	97.6%	1.8%
		100.0%	50.0%	50.0%	100.0%	98.2%	1.8%
中 部	744	33	16	17	711	703	8
	100.0%	4.4%	2.2%	2.3%	95.6%	94.5%	1.1%
		100.0%	48.5%	51.5%	100.0%	98.9%	1.1%
近 畿	462	42	14	28	420	393	27
	100.0%	9.1%	3.0%	6.1%	90.9%	85.1%	5.8%
		100.0%	33.3%	66.7%	100.0%	93.6%	6.4%
大 阪	472	6	5	1	466	458	8
	100.0%	1.3%	1.1%	0.2%	98.7%	97.0%	1.7%
		100.0%	83.3%	16.7%	100.0%	98.3%	1.7%
中 国	188	13	1	12	175	165	10
	100.0%	6.9%	0.5%	6.4%	93.1%	87.8%	5.3%
		100.0%	7.7%	92.3%	100.0%	94.3%	5.7%
四 国	78	11	2	9	67	61	6
	100.0%	14.1%	2.6%	11.5%	85.9%	78.2%	7.7%
		100.0%	18.2%	81.8%	100.0%	91.0%	9.0%
九 州	614	24	3	21	590	532	58
	100.0%	3.9%	0.5%	3.4%	96.1%	86.6%	9.4%
		100.0%	12.5%	87.5%	100.0%	90.2%	9.8%

幼稚園教諭の正規雇用率の推移

	就職決定者数			正規雇用率		
	20年度卒	21年度卒	22年度卒	20年度卒	21年度卒	22年度卒
北海道	238	266	241	78.6%	85.0%	89.2%
東北	349	270	251	77.7%	74.4%	74.5%
関東	1,456	1,305	1,339	98.1%	97.9%	98.1%
東京	383	339	340	98.4%	98.5%	97.9%
中部	780	798	744	91.0%	93.9%	96.6%
近畿	480	457	462	84.2%	86.2%	88.1%
大阪	573	541	472	96.2%	96.1%	98.1%
中国	236	208	188	80.5%	87.0%	88.3%
四国	121	104	78	81.0%	86.5%	80.8%
九州	579	603	614	89.1%	83.7%	87.1%
全国	5,195	4,891	4,729	91.1%	91.5%	93.1%

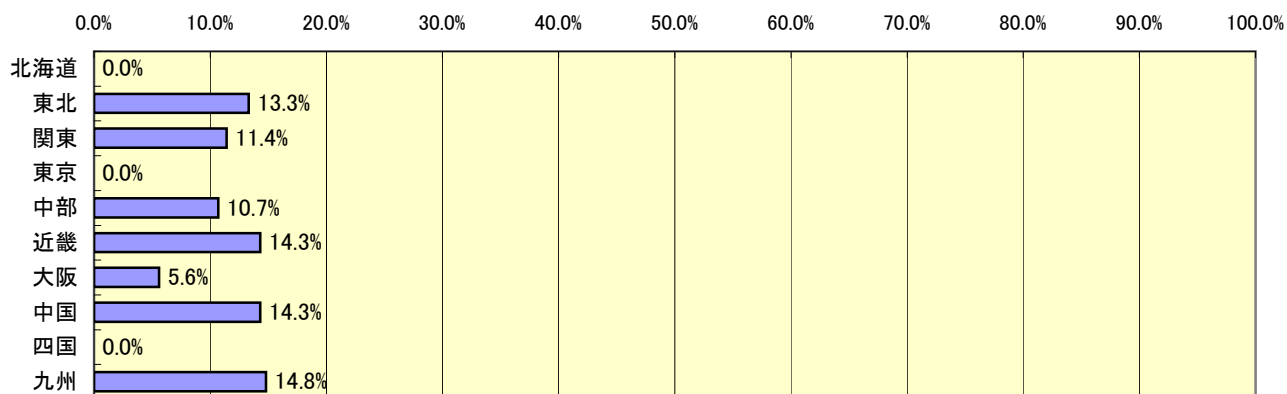


《平成22年度の求人件数の増減傾向について前年度(21年度)と比較しての変化》

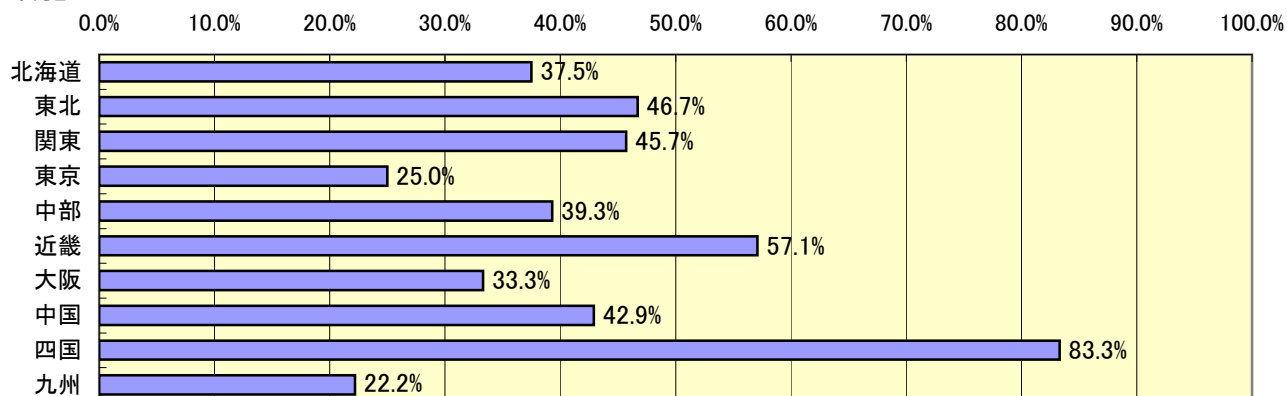
【幼稚園教諭】／ 求人件数

	減少	変化なし	増加	無回答	件数計
北海道	0.0%	37.5%	62.5%	0.0%	8
東北	13.3%	46.7%	40.0%	0.0%	15
関東	11.4%	45.7%	40.0%	2.9%	35
東京	0.0%	25.0%	66.7%	8.3%	12
中部	10.7%	39.3%	50.0%	0.0%	28
近畿	14.3%	57.1%	23.8%	4.8%	21
大阪	5.6%	33.3%	61.1%	0.0%	18
中国	14.3%	42.9%	42.9%	0.0%	14
四国	0.0%	83.3%	16.7%	0.0%	6
九州	14.8%	22.2%	63.0%	0.0%	27
全国	10.3%	40.8%	47.3%	1.6%	184

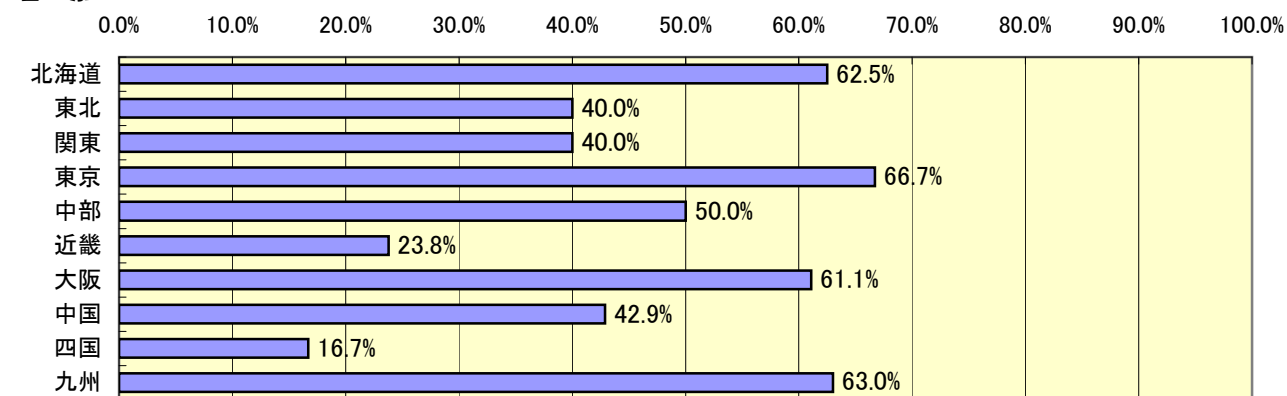
減少



変化なし



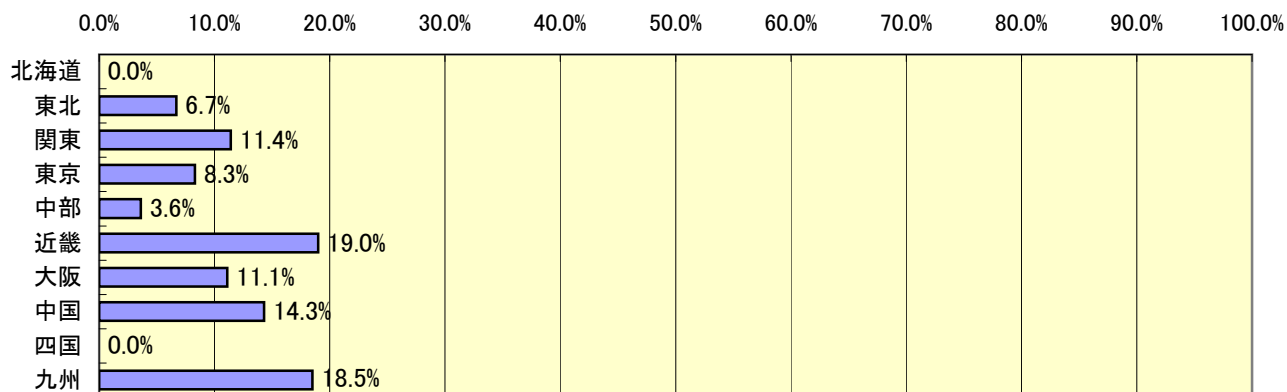
増加



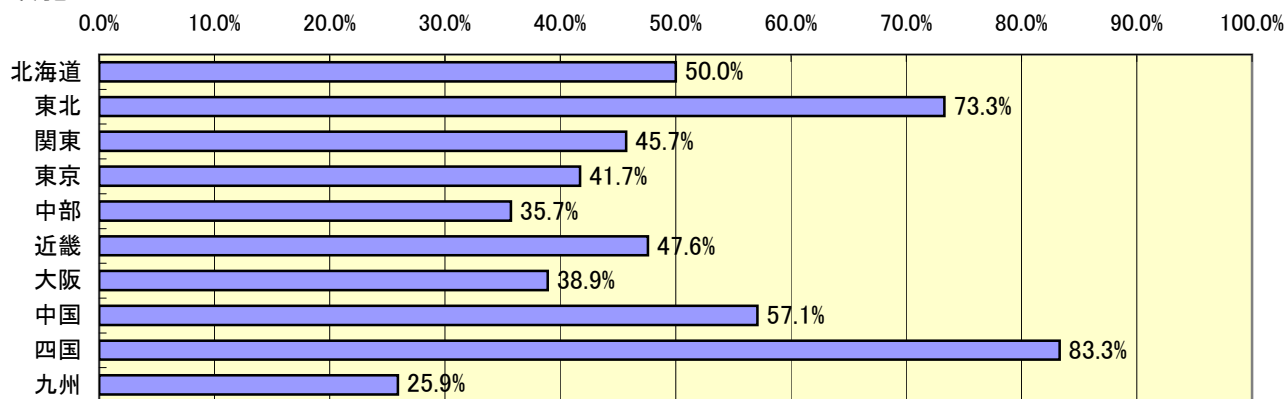
【幼稚園教諭】／ 正規雇用求人件数

	減少	変化なし	増加	無回答	件数計
北海道	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	8
東北	6.7%	73.3%	20.0%	0.0%	15
関東	11.4%	45.7%	31.4%	11.4%	35
東京	8.3%	41.7%	50.0%	0.0%	12
中部	3.6%	35.7%	46.4%	14.3%	28
近畿	19.0%	47.6%	14.3%	19.0%	21
大阪	11.1%	38.9%	44.4%	5.6%	18
中国	14.3%	57.1%	21.4%	7.1%	14
四国	0.0%	83.3%	16.7%	0.0%	6
九州	18.5%	25.9%	48.1%	7.4%	27
全国	10.9%	45.1%	35.3%	8.7%	184

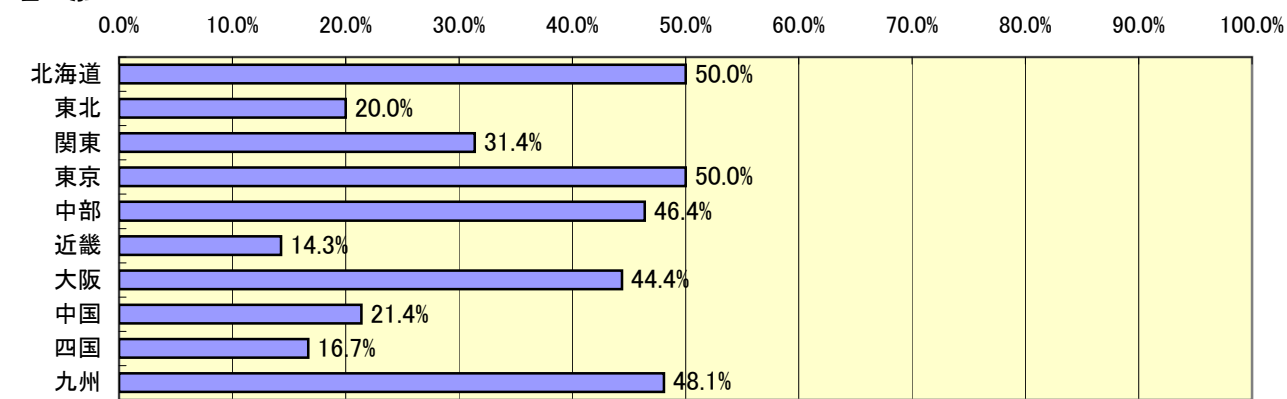
減少



変化なし



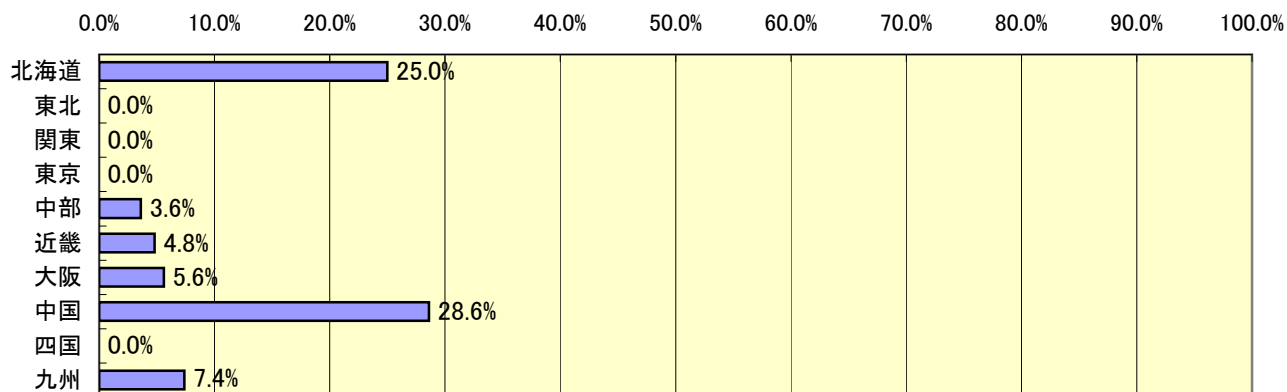
増加



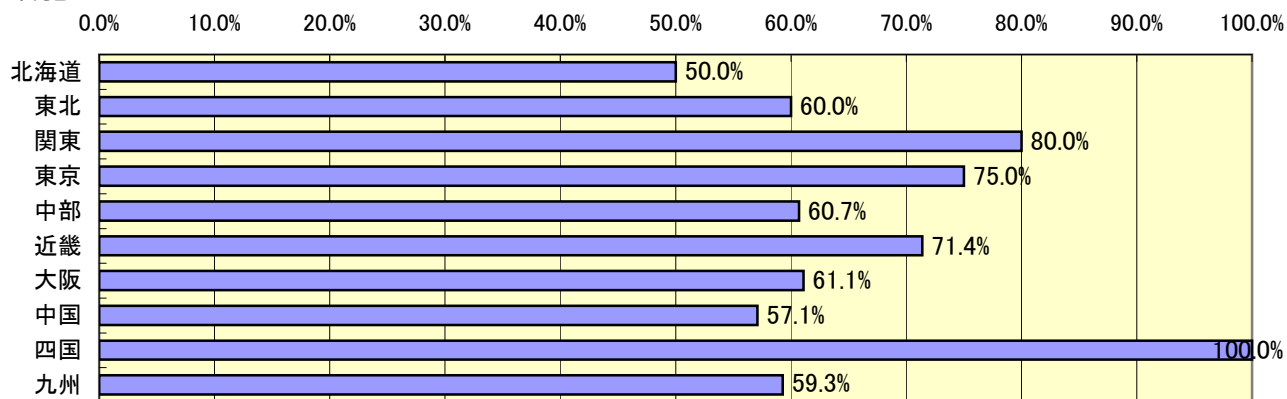
【幼稚園教諭】／ 非正規雇用求人件数

	減少	変化なし	増加	無回答	件数計
北海道	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	8
東北	0.0%	60.0%	33.3%	6.7%	15
関東	0.0%	80.0%	2.9%	17.1%	35
東京	0.0%	75.0%	16.7%	8.3%	12
中部	3.6%	60.7%	10.7%	25.0%	28
近畿	4.8%	71.4%	4.8%	19.0%	21
大阪	5.6%	61.1%	16.7%	16.7%	18
中国	28.6%	57.1%	0.0%	14.3%	14
四国	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	6
九州	7.4%	59.3%	29.6%	3.7%	27
全国	6.0%	66.8%	13.6%	13.6%	184

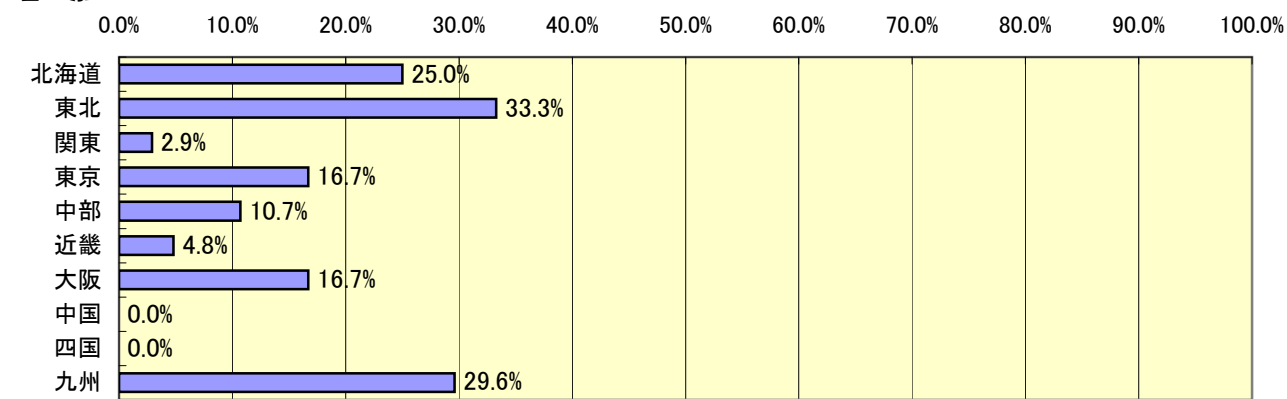
減少



変化なし



増加



幼稚園教諭の平成22年度の就職・採用活動について、
前年度と比較して顕著な変化のあった項目およびその内容

意見の概要

① 具体的な変化の内容（回答数：88）

幼稚園教諭の求人件数は、「増加」、または「変化なし」との回答がほぼ同数で約9割弱を占め、「減少」との回答は約1割強となった。「増加」「変化なし」「減少」ともに、大きな地域差は見られない。

（**2** 設問1の回答結果より）

求人時期に関しては、「求人時期が早くなっている」「1月以降の求人が増えた」、「年度末の求人が増えた」など、求人期間の長期化傾向が見られる。

しかし、処遇面では「延長保育による超過勤務」、「業務量が多い」、「賃金が低い」、「正式採用前の研修の早期化・長期化」、「非正規雇用が多い」、「正規雇用か非正規雇用か明記しない求人票が多い」などの問題が今年も全国から寄せられた。

また、ここ数年続いている、学生の幼稚園離れに関する回答も多数報告された。「一定水準のピアノの技術を求められる」、「教材の作成が苦手」、「勤務時間が長い」、「担任になることへ不安を感じる」、「集団への指導が苦手」などといった回答から、学生の就労意識の変化、または学生が持つ幼稚園に対する負のイメージなどが垣間見える。ただ、一部の地域では幼稚園教諭希望者が増加したとの回答もある。

② 雇用者の対応に苦慮したこと（回答数：47）

上記1で挙げた学生の幼稚園離れに加え、早期退職、就業力不足といった要因が、幼稚園への就職問題の悪循環に拍車をかけているようである。幼稚園は慢性的なスタッフ不足という問題を抱え、人材確保が喫緊の課題となっている。そのような状況の下、需要側（幼稚園）の高まる要望に対して、供給側（短大）が応えられず苦慮したとの回答が多数見られた。

園から学校にダイレクトに届くクレームの増加・多様化という問題に苦慮したとの回答も見られる。具体的には、「学生の学力不足」、「学生のマナーの悪さ」、「受験者がいないことで学校側にプレッシャーをかける」、「早期退職は学校の指導不足」などである。

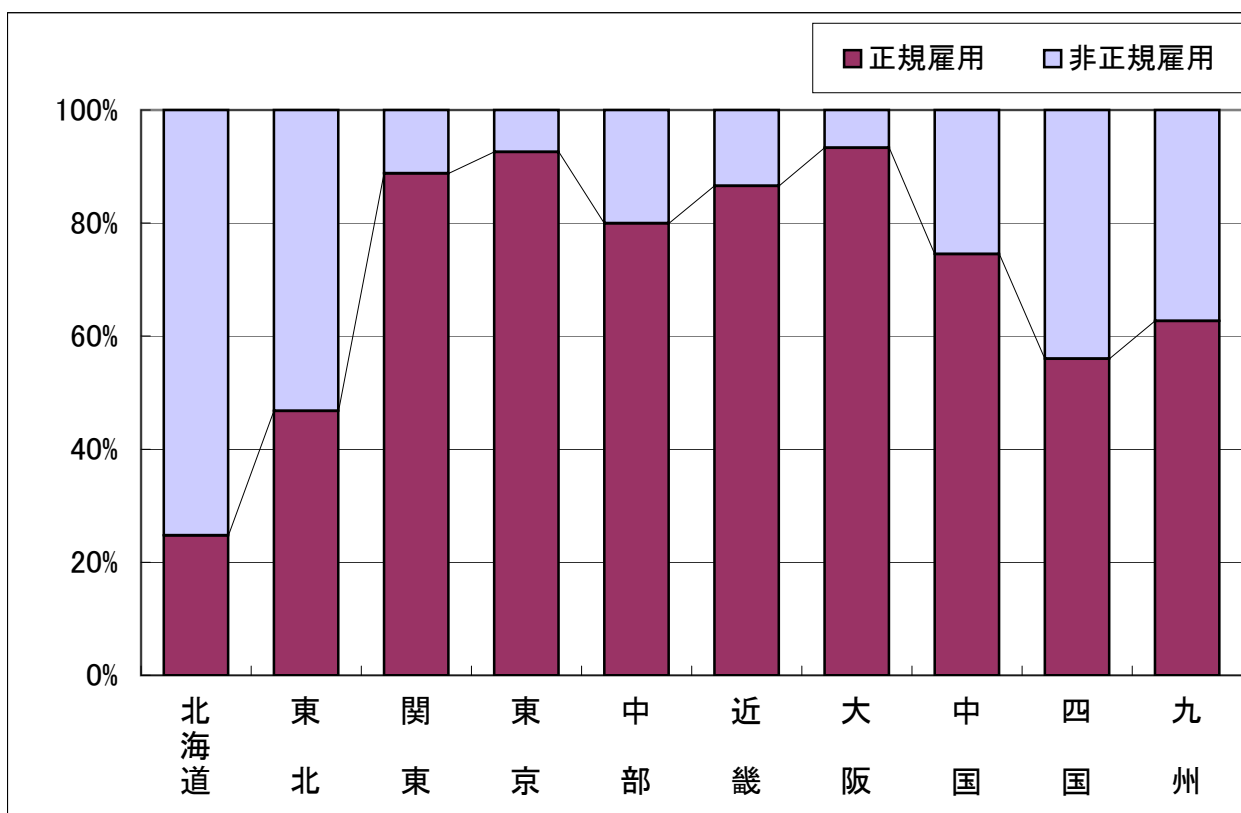
また、「内定取り消し」、「数ヶ月にも亘る選考期間」、「採用試験で一週間以上の実習を課す」、「求人票を出さずに電話などで、学生を確保しようとする」、「突然の求人票の内容変更」、「採用決定後の雇用条件の変更」、「面接時の不当な質問」、「採用後の早期解雇」など、雇用者側の一方的な論理によると言わざるを得ないような採用状況の実態も報告された。学生にとっては、精神的な負担を強いられことになり、就労意欲にも影響がでるのではないかという懸念も報告されている。

地域別のおもな内容

地 域	おもな内容
北海道	<ul style="list-style-type: none"> ・1月以降も求人が続く。求人が遅い。 ・職場の人間関係でストレスを抱え退職に至るケースあり。 ・採用試験で一週間以上の実習がある。
東 北	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園への就職希望者が減っている。 ・職務遂行に必要な、基礎学力、マナー、地頭力が欠如している。 ・園側からの学生に対する要望がダイレクトに学校に届く。
関 東	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園に対する負のイメージにより、敬遠する傾向が見られる。 ・就労意識の高い学生と低い学生の温度差が大きい。 ・年度末まで続く園側の需要に応えられない。 ・求人票のみによる就職活動から、相談会を利用した活動へ。 ・就職希望者がいないことで園の対応に苦慮。
東 京	<ul style="list-style-type: none"> ・就労者の残業時間の増加に不安を感じる。 ・求人が増加しているが、応募者数は減少している。 ・受験の機会均等性が守られない事例が見られた。
中 部	<ul style="list-style-type: none"> ・「超過勤務」、「ピアノの技量」、「担任の責任を敬遠」などの理由で幼稚園希望者が減少している。 ・就労前研修が早期化・長期化している。 ・「早期退職は学校の指導に問題あり」と指摘された。 ・成績の内容まで説明を求められる。
近 畿	<ul style="list-style-type: none"> ・就労に対して自信を持ってない学生が増加している。 ・非正規雇用の求人が増加している。 ・雇用形態を明記しない求人票が多い。 ・不当と思われる理由による試用期間終了直後の契約切り、採用条件の変更。
大 阪	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士資格をあわせ持つことを条件とした求人が増加。 ・面接での不適切な質問を行う事例が減少している。 ・一次試験から内定まで3カ月かかった事例あり。
中四国	<ul style="list-style-type: none"> ・志願者が年々減少の傾向にある。 ・給与の伸び悩みが見られる。 ・求人数が減少の地域がある。 ・平日に採用試験のための実習（1日～5日）があった。 ・採用試験での不適切な質問あり。
九 州	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時職員の増加。公立幼稚園への志望者が増加。 ・県内からの求人数が前年比40%増。求人時期の早期化。 ・学生の就労意識の希薄化、学生の自信喪失が見られる。 ・就職希望園決定が早期化。 ・採用・受験の際の条件が多様化。 （居住地・資格・大卒のみ・採用試験時の服装指定など。） ・正式な求人票を出さず、電話で求人依頼する。

保育士の地域別雇用形態の状況（1）

	就職 決定者数	正規 雇用者数	非正規 雇用者数	正規 雇用率
全 国	11,183	8,540	2,643	76.4%
北海道	376	93	283	24.7%
東 北	860	402	458	46.7%
関 東	2,326	2,065	261	88.8%
東 京	565	523	42	92.6%
中 部	1,734	1,386	348	79.9%
近 畿	1,346	1,165	181	86.6%
大 阪	1,096	1,023	73	93.3%
中 国	805	600	205	74.5%
四 国	266	149	117	56.0%
九 州	1,809	1,134	675	62.7%



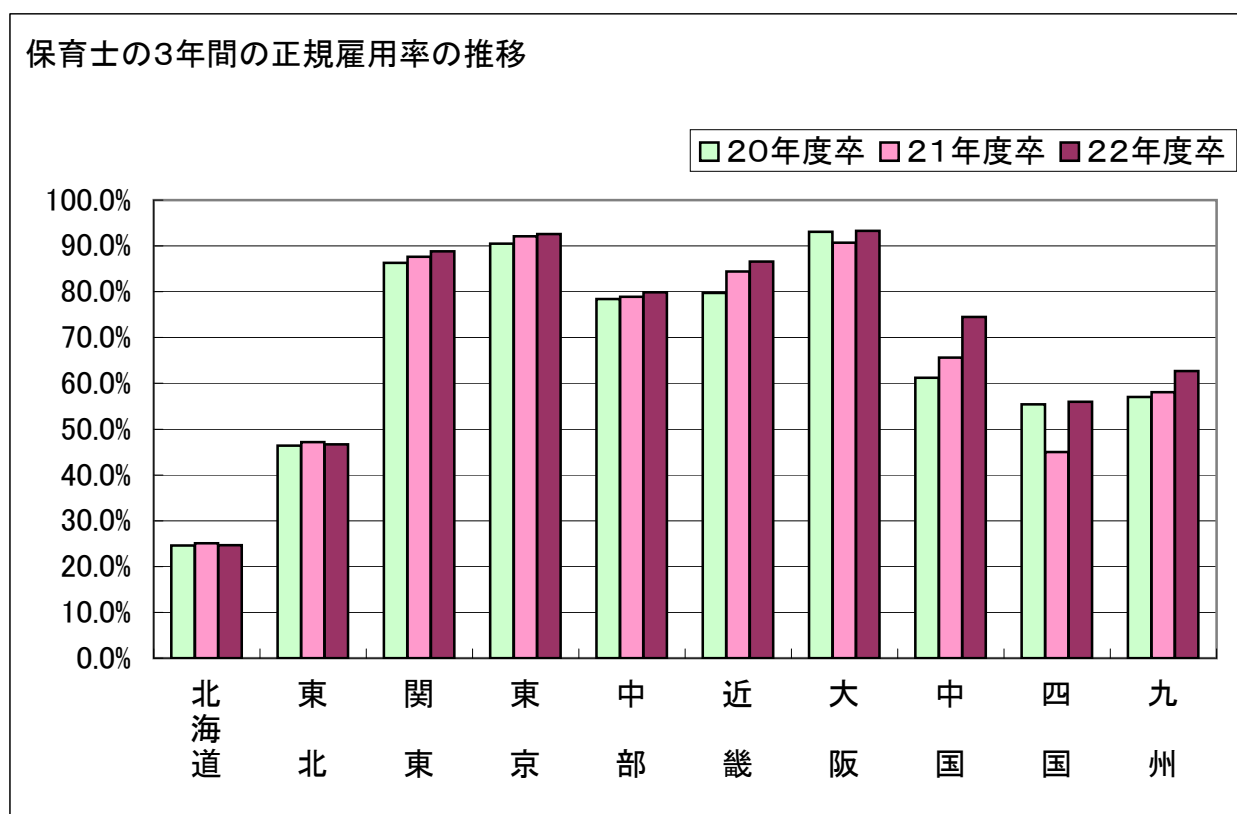
保育士の地域別雇用形態の状況（２）

	就職 決定者	公立			私立		
		公立計	正規 雇用者	非正規 雇用者	私立計	正規 雇用者	非正規 雇用者
全 国	11,183	1,169	504	665	10,014	8,036	1,978
	100.0%	10.5%	4.5%	5.9%	89.5%	71.9%	17.7%
		100.0%	43.1%	56.9%	100.0%	80.2%	19.8%
北海道	376	41	20	21	335	73	262
	100.0%	10.9%	5.3%	5.6%	89.1%	19.4%	69.7%
		100.0%	48.8%	51.2%	100.0%	21.8%	78.2%
東 北	860	98	22	76	762	380	382
	100.0%	11.4%	2.6%	8.8%	88.6%	44.2%	44.4%
		100.0%	22.4%	77.6%	100.0%	49.9%	50.1%
関 東	2,326	181	84	97	2,145	1,981	164
	100.0%	7.8%	3.6%	4.2%	92.2%	85.2%	7.1%
		100.0%	46.4%	53.6%	100.0%	92.4%	7.6%
東 京	565	57	37	20	508	486	22
	100.0%	10.1%	6.5%	3.5%	89.9%	86.0%	3.9%
		100.0%	64.9%	35.1%	100.0%	95.7%	4.3%
中 部	1,734	430	222	208	1,304	1,164	140
	100.0%	24.8%	12.8%	12.0%	75.2%	67.1%	8.1%
		100.0%	51.6%	48.4%	100.0%	89.3%	10.7%
近 畿	1,346	100	30	70	1,246	1,135	111
	100.0%	7.4%	2.2%	5.2%	92.6%	84.3%	8.2%
		100.0%	30.0%	70.0%	100.0%	91.1%	8.9%
大 阪	1,096	34	23	11	1,062	1,000	62
	100.0%	3.1%	2.1%	1.0%	96.9%	91.2%	5.7%
		100.0%	67.6%	32.4%	100.0%	94.2%	5.8%
中 国	805	109	32	77	696	568	128
	100.0%	13.5%	4.0%	9.6%	86.5%	70.6%	15.9%
		100.0%	29.4%	70.6%	100.0%	81.6%	18.4%
四 国	266	42	7	35	224	142	82
	100.0%	15.8%	2.6%	13.2%	84.2%	53.4%	30.8%
		100.0%	16.7%	83.3%	100.0%	63.4%	36.6%
九 州	1,809	77	27	50	1,732	1,107	625
	100.0%	4.3%	1.5%	2.8%	95.7%	61.2%	34.5%
		100.0%	35.1%	64.9%	100.0%	63.9%	36.1%

保育士の正規雇用率の推移

	就職決定者数			正規雇用率		
	20年度卒	21年度卒	22年度卒	20年度卒	21年度卒	22年度卒
北海道	410	403	376	24.6%	25.1%	24.7%
東北	1,122	983	860	46.4%	47.2%	46.7%
関東	2,105	2,561	2,326	86.3%	87.6%	88.8%
東京	569	530	565	90.5%	92.1%	92.6%
中部	1,873	2,054	1,734	78.4%	78.9%	79.9%
近畿	1,415	1,458	1,346	79.7%	84.4%	86.6%
大阪	1,152	1,072	1,096	93.1%	90.7%	93.3%
中国	979	881	805	61.2%	65.6%	74.5%
四国	368	322	266	55.4%	45.0%	56.0%
九州	1,979	1,937	1,809	57.0%	58.1%	62.7%
全国	11,972	12,201	11,183	71.5%	73.5%	76.4%

保育士の3年間の正規雇用率の推移

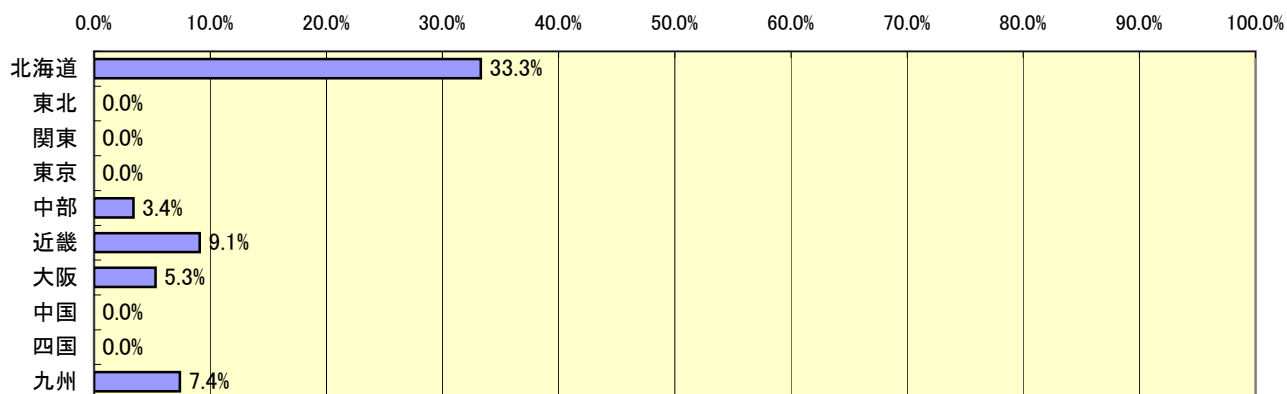


《平成22年度の求人件数の増減傾向について前年度(21年度)と比較しての変化》

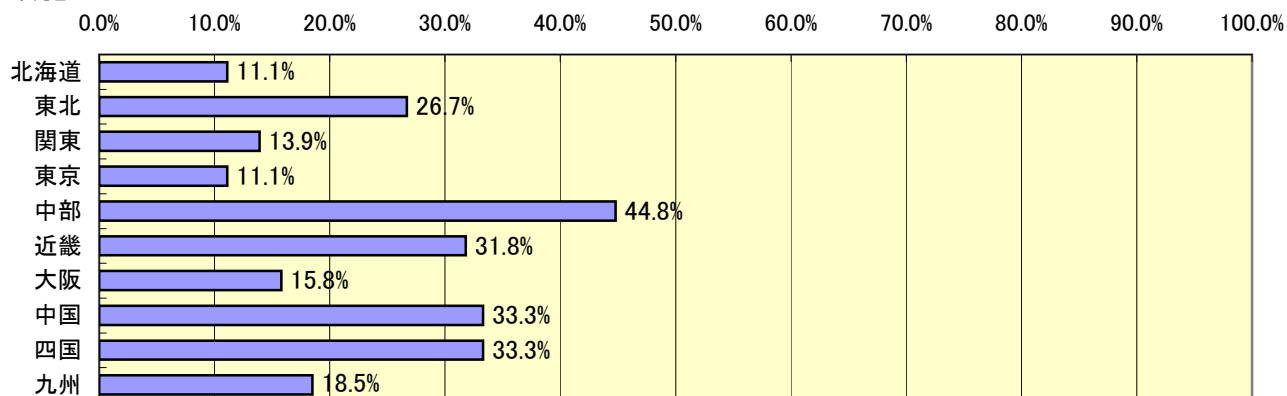
【保育士】 / 求人件数

	減少	変化なし	増加	無回答	件数計
北海道	33.3%	11.1%	55.6%	0.0%	9
東北	0.0%	26.7%	73.3%	0.0%	15
関東	0.0%	13.9%	80.6%	5.6%	36
東京	0.0%	11.1%	88.9%	0.0%	9
中部	3.4%	44.8%	48.3%	3.4%	29
近畿	9.1%	31.8%	54.5%	4.5%	22
大阪	5.3%	15.8%	78.9%	0.0%	19
中国	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	15
四国	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	6
九州	7.4%	18.5%	74.1%	0.0%	27
全国	4.8%	24.6%	68.4%	2.1%	187

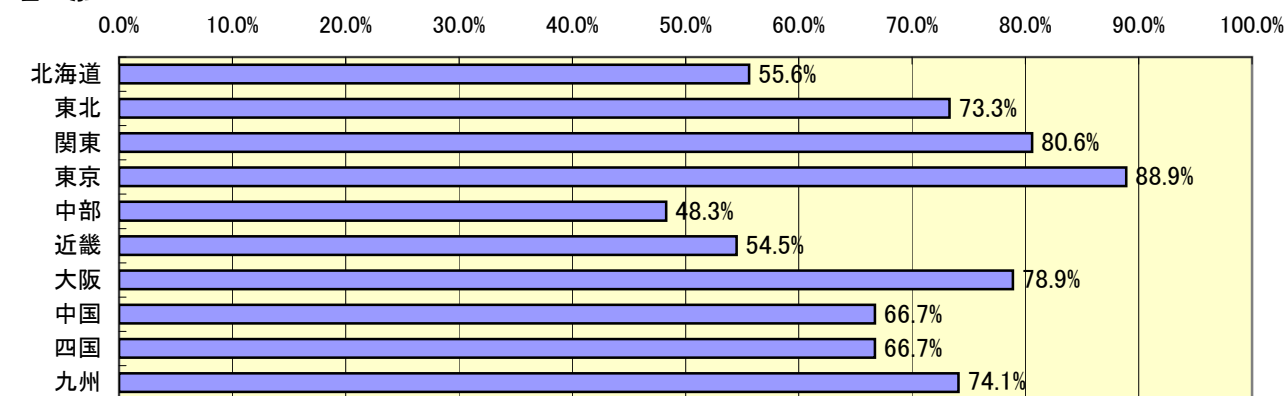
減少



変化なし



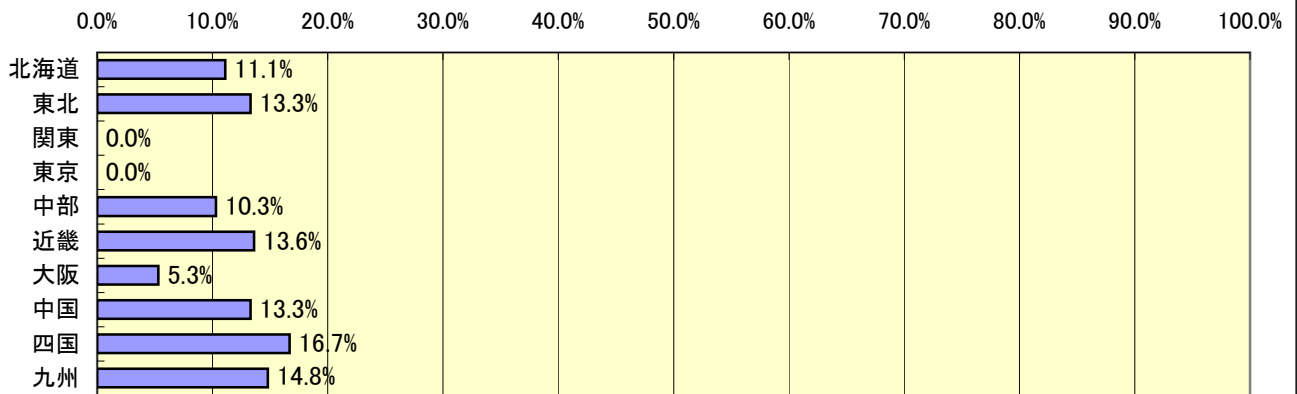
増加



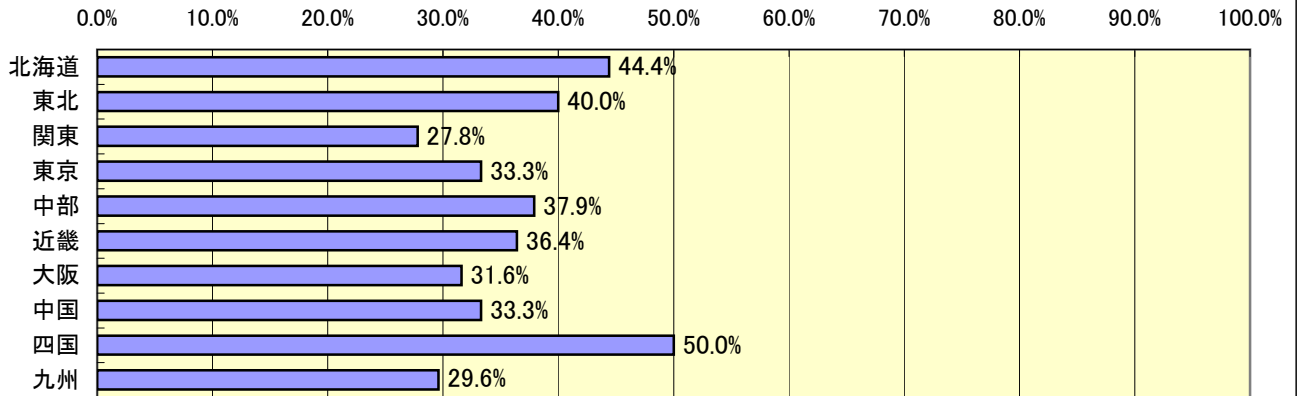
【保育士】 / 正規雇用求人件数

	減少	変化なし	増加	無回答	件数計
北海道	11.1%	44.4%	44.4%	0.0%	9
東北	13.3%	40.0%	46.7%	0.0%	15
関東	0.0%	27.8%	58.3%	13.9%	36
東京	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	9
中部	10.3%	37.9%	34.5%	17.2%	29
近畿	13.6%	36.4%	36.4%	13.6%	22
大阪	5.3%	31.6%	57.9%	5.3%	19
中国	13.3%	33.3%	40.0%	13.3%	15
四国	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%	6
九州	14.8%	29.6%	55.6%	0.0%	27
全国	9.1%	34.2%	48.1%	8.6%	187

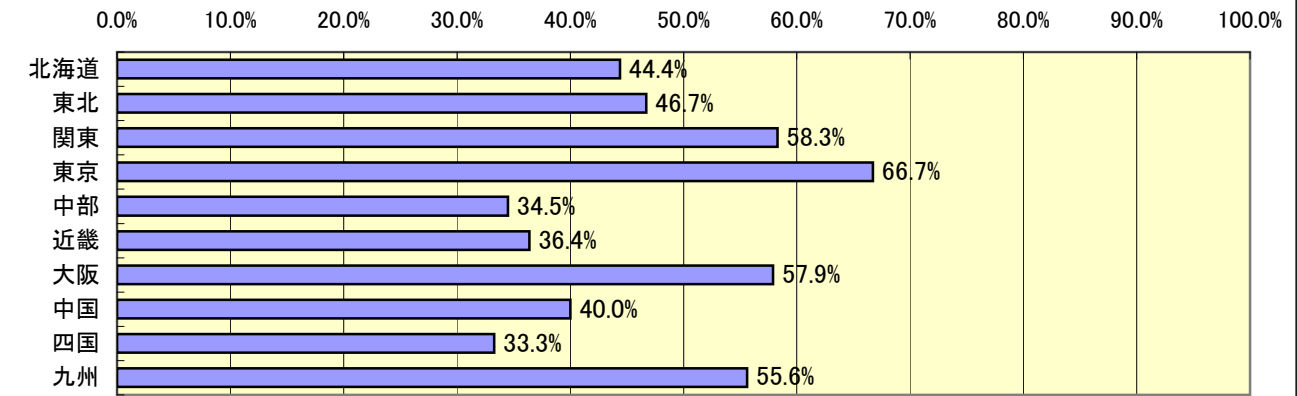
減少



変化なし



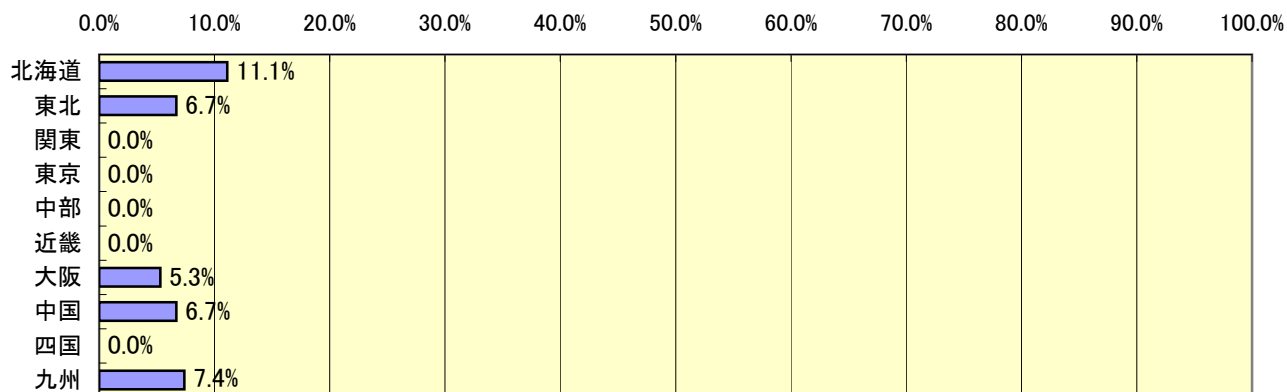
増加



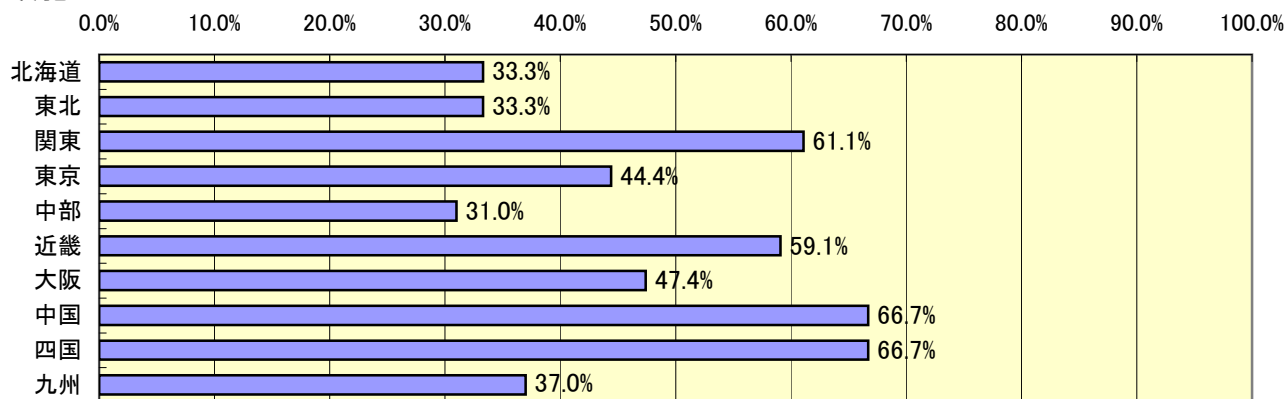
【保育士】 ／ 非正規雇用求人件数

	減少	変化なし	増加	無回答	件数計
北海道	11.1%	33.3%	55.6%	0.0%	9
東北	6.7%	33.3%	60.0%	0.0%	15
関東	0.0%	61.1%	16.7%	22.2%	36
東京	0.0%	44.4%	44.4%	11.1%	9
中部	0.0%	31.0%	44.8%	24.1%	29
近畿	0.0%	59.1%	27.3%	13.6%	22
大阪	5.3%	47.4%	26.3%	21.1%	19
中国	6.7%	66.7%	13.3%	13.3%	15
四国	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	6
九州	7.4%	37.0%	51.9%	3.7%	27
全国	3.2%	47.6%	35.3%	13.9%	187

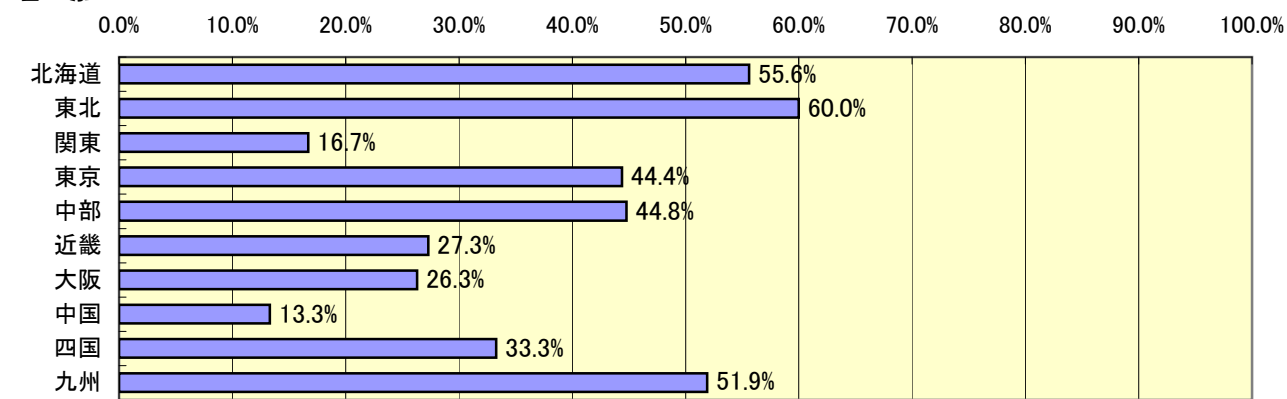
減少



変化なし



増加



保育士の平成22年度の就職・採用活動について、
前年度と比較して顕著な変化のあった項目およびその内容

意見の概要

① 具体的な変化の内容

○雇用形態

公立、私立、会社立のすべてにおいて、非正規雇用の増加が更に進んでいることが全国多くの学校から報告されている。福岡県の学校からは保育士の就職者全体に占める非正規雇用の割合が40%、または60%を超えたとの報告もあり、地域によっては深刻な問題となっている。

○処遇

処遇の面でも臨時職員、期限付職員、パート職員など非正規雇用が多いことから、給与が日給制、時給制となり、社会人としての経済的自立が難しくなっている現状がある。

また、男子学生の採用が依然として厳しいことが男女共学の学校から報告されている。

処遇が改善されたという報告は沖縄県のみで、前年度より給与などの労働条件を改善した保育所が増えている。

○学生の就労意識

全国的に見て、幼稚園教諭よりも保育士を希望する学生が増加している状況である。その理由として以下のことがあげられている。

1. 保育士ではピアノの高い技量を求められない。
2. 親、教員から公立保育所を勧められる。(関東地区)
3. 複数担任制を希望する学生が多く、3歳未満児クラスを希望する傾向がある。
4. 集団指導の幼稚園、保育所への苦手意識から、託児所希望者が増加している。

また、相変らず就職意識の低く、働くことに自信が持てない学生が多く存在している。そのため、就職が決まらない学生や就職前の研修中に挫折する学生、早期退職する者など、多くの問題を抱えている現状である。

○その他

求人に関する報告が数多く寄せられ、その中で最も多かったのが、求人時期の早期化と求人数の増加である。特に関東地区では会社立保育所の求人時期が早すぎるとの声があり、加えて新設園の求人の増加も早期化に拍車をかけることとなった。

② 雇用者側の対応に苦慮した事例

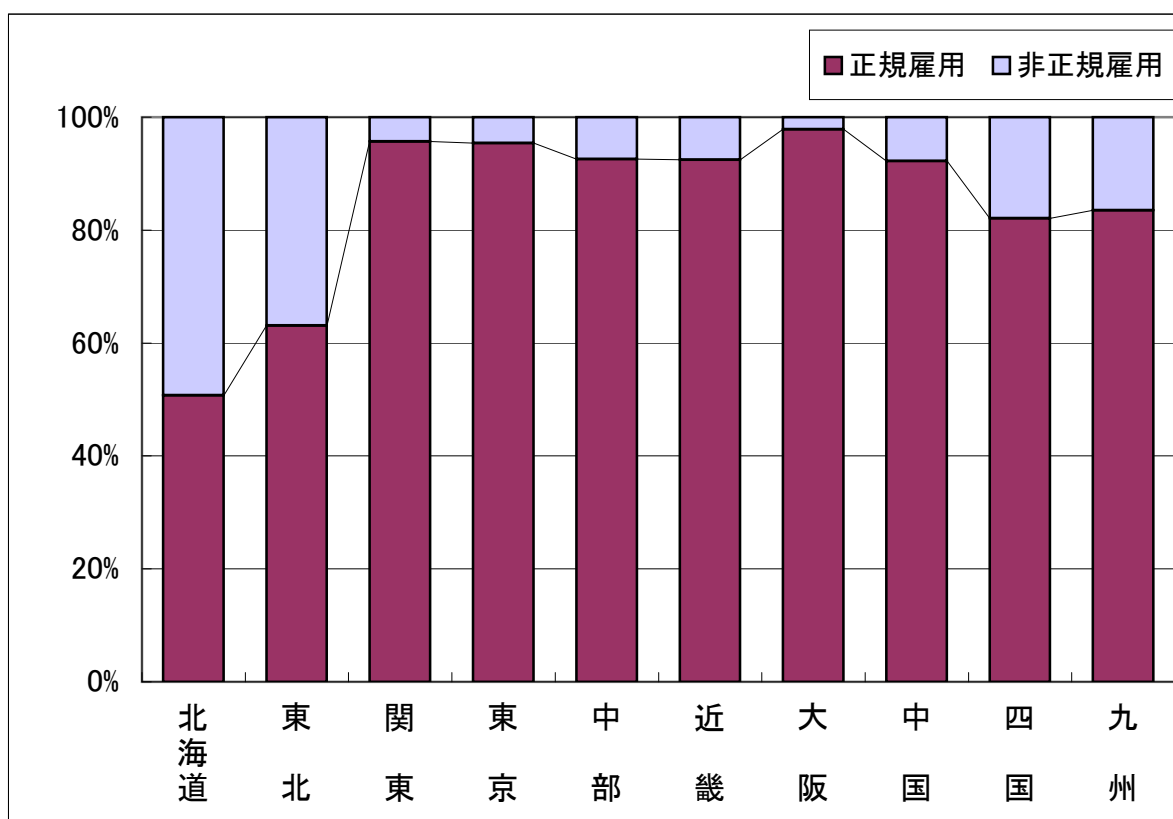
各地で保育士求人が急増しており、そのことが原因で以下のような問題が起こっている。

1. 求人が多すぎるため、学生を思ったように紹介できず苦慮している。
2. 園からの電話で「誰でもいいから紹介してくれ」「学生が見学に来ない」「どうして今年も誰も受けに来ないのか」などの苦情電話の対応に苦労している。

また、不適切な採用を行う園がまだまだ多くある。その内容として、求人票を出してくれない、求人票の記載内容に相違がある、雇用条件が不明瞭である、内定後に雇用形態が変更された、面接時に親の職業を聞かれたなどが報告されている。

栄養士の地域別雇用形態の状況（1）

	就職 決定者数	正規 雇用者数	非正規 雇用者数	正規 雇用率
全 国	3,002	2,618	384	87.2%
北海道	136	69	67	50.7%
東 北	244	154	90	63.1%
関 東	373	357	16	95.7%
東 京	477	455	22	95.4%
中 部	512	474	38	92.6%
近 畿	213	197	16	92.5%
大 阪	141	138	3	97.9%
中 国	219	202	17	92.2%
四 国	106	87	19	82.1%
九 州	581	485	96	83.5%



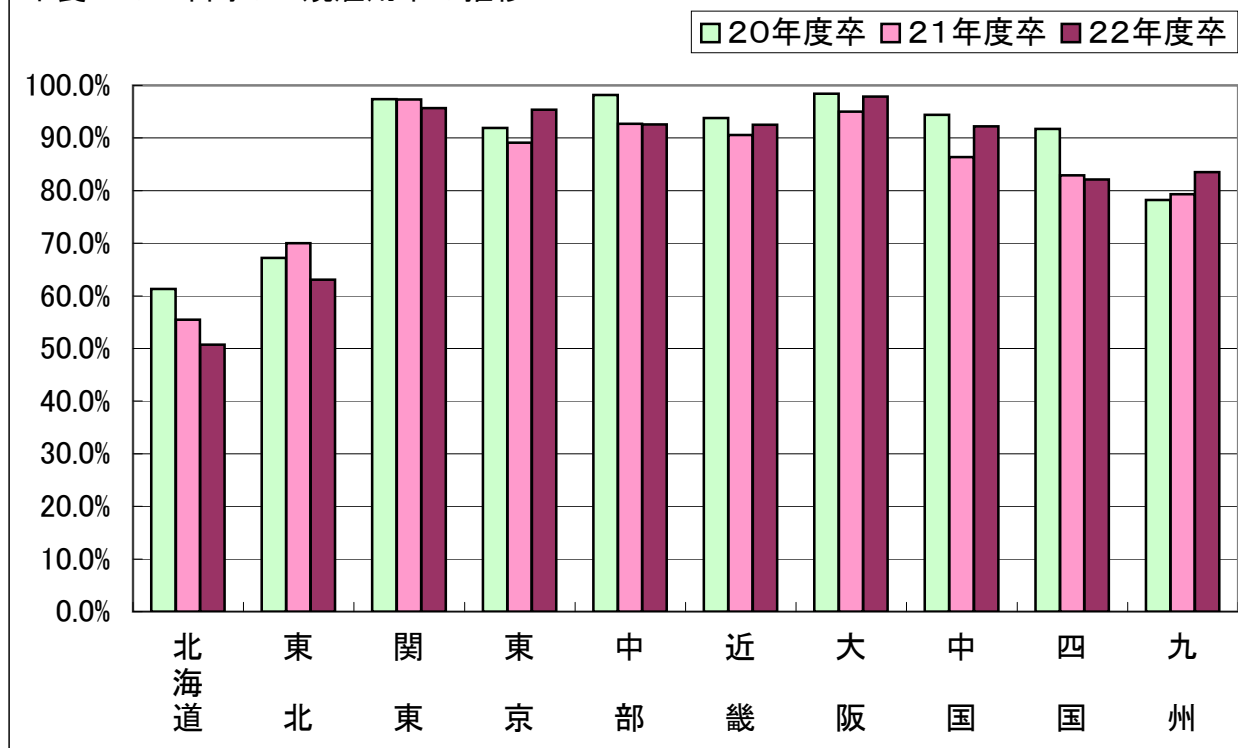
栄養士の地域別雇用形態の状況（２）

	就職 決定者	公立			私立		
		公立計	正規 雇用者	非正規 雇用者	私立計	正規 雇用者	非正規 雇用者
全 国	3,002	46	19	27	2,956	2,599	357
	100.0%	1.5%	0.6%	0.9%	98.5%	86.6%	11.9%
		100.0%	41.3%	58.7%	100.0%	87.9%	12.1%
北海道	136	0	0	0	136	69	67
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.7%	49.3%
					100.0%	50.7%	49.3%
東 北	244	4	1	3	240	153	87
	100.0%	1.6%	0.4%	1.2%	98.4%	62.7%	35.7%
		100.0%	25.0%	75.0%	100.0%	63.8%	36.3%
関 東	373	8	1	7	365	356	9
	100.0%	2.1%	0.3%	1.9%	97.9%	95.4%	2.4%
		100.0%	12.5%	87.5%	100.0%	97.5%	2.5%
東 京	477	11	8	3	466	447	19
	100.0%	2.3%	1.7%	0.6%	97.7%	93.7%	4.0%
		100.0%	72.7%	27.3%	100.0%	95.9%	4.1%
中 部	512	11	5	6	501	469	32
	100.0%	2.1%	1.0%	1.2%	97.9%	91.6%	6.3%
		100.0%	45.5%	54.5%	100.0%	93.6%	6.4%
近 畿	213	1	0	1	212	197	15
	100.0%	0.5%	0.0%	0.5%	99.5%	92.5%	7.0%
		100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	92.9%	7.1%
大 阪	141	0	0	0	141	138	3
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	97.9%	2.1%
					100.0%	97.9%	2.1%
中 国	219	3	1	2	216	201	15
	100.0%	1.4%	0.5%	0.9%	98.6%	91.8%	6.8%
		100.0%	33.3%	66.7%	100.0%	93.1%	6.9%
四 国	106	5	1	4	101	86	15
	100.0%	4.7%	0.9%	3.8%	95.3%	81.1%	14.2%
		100.0%	20.0%	80.0%	100.0%	85.1%	14.9%
九 州	581	3	2	1	578	483	95
	100.0%	0.5%	0.3%	0.2%	99.5%	83.1%	16.4%
		100.0%	66.7%	33.3%	100.0%	83.6%	16.4%

栄養士の正規雇用率の推移

	就職決定者数			正規雇用率		
	20年度卒	21年度卒	22年度卒	20年度卒	21年度卒	22年度卒
北海道	111	119	136	61.3%	55.5%	50.7%
東北	253	263	244	67.2%	70.0%	63.1%
関東	719	477	373	97.4%	97.3%	95.7%
東京	470	459	477	91.9%	89.1%	95.4%
中部	548	537	512	98.2%	92.7%	92.6%
近畿	144	191	213	93.8%	90.6%	92.5%
大阪	129	139	141	98.4%	95.0%	97.9%
中国	178	162	219	94.4%	86.4%	92.2%
四国	169	140	106	91.7%	82.9%	82.1%
九州	652	604	581	78.2%	79.3%	83.5%
全国	3,373	3,091	3,002	89.0%	86.1%	87.2%

栄養士の3年間の正規雇用率の推移

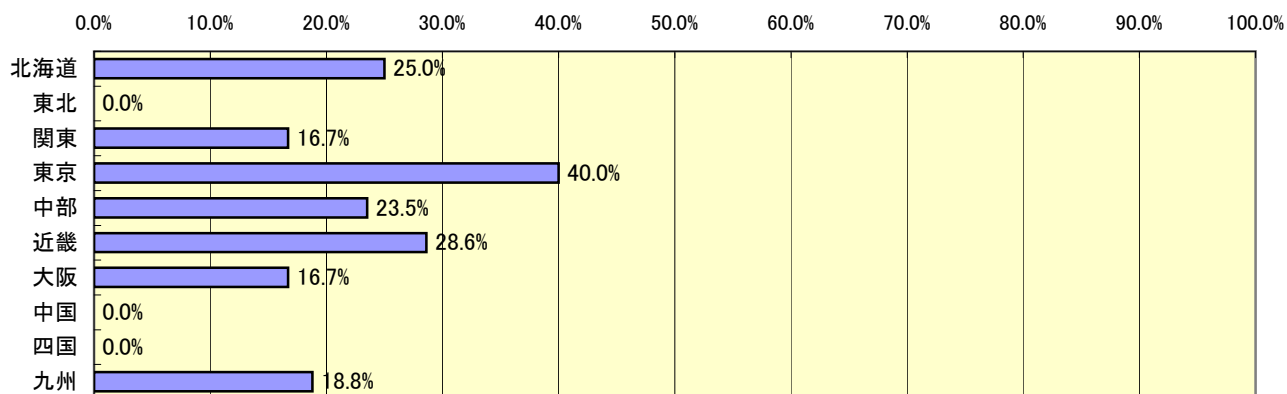


《平成22年度の求人件数の増減傾向について前年度(21年度)と比較しての変化》

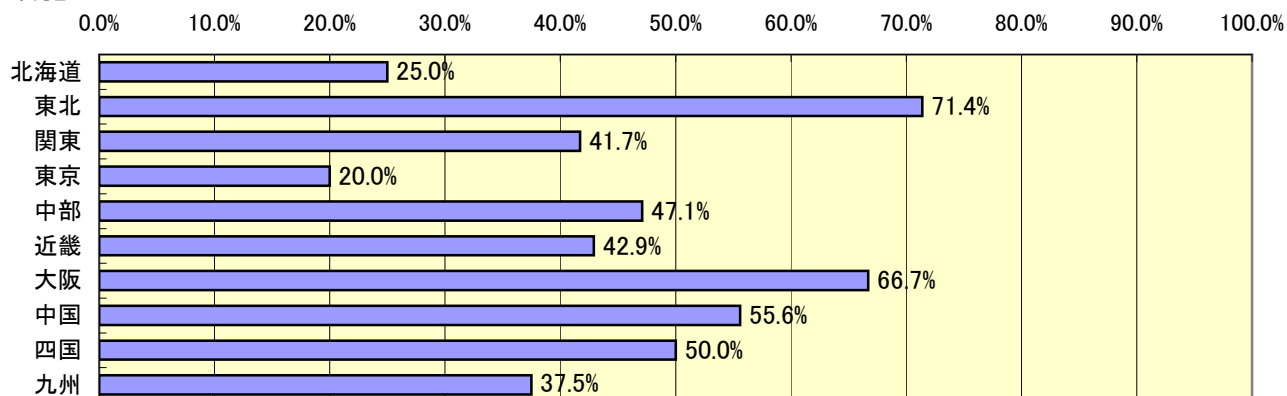
【栄養士】／ 求人件数

	減少	変化なし	増加	無回答	件数計
北海道	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	4
東北	0.0%	71.4%	28.6%	0.0%	7
関東	16.7%	41.7%	16.7%	25.0%	12
東京	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	10
中部	23.5%	47.1%	23.5%	5.9%	17
近畿	28.6%	42.9%	0.0%	28.6%	7
大阪	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%	6
中国	0.0%	55.6%	44.4%	0.0%	9
四国	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	4
九州	18.8%	37.5%	43.8%	0.0%	16
全国	18.5%	44.6%	29.3%	7.6%	92

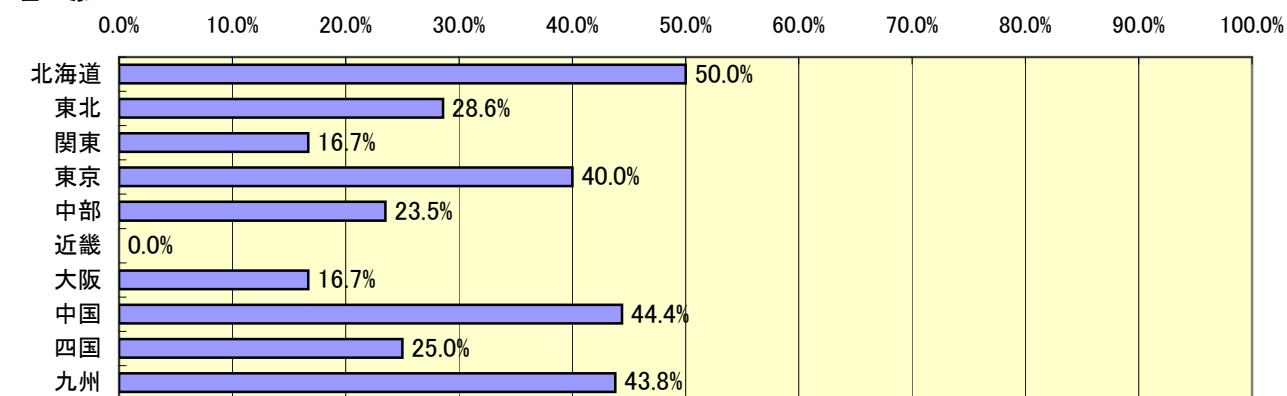
減少



変化なし



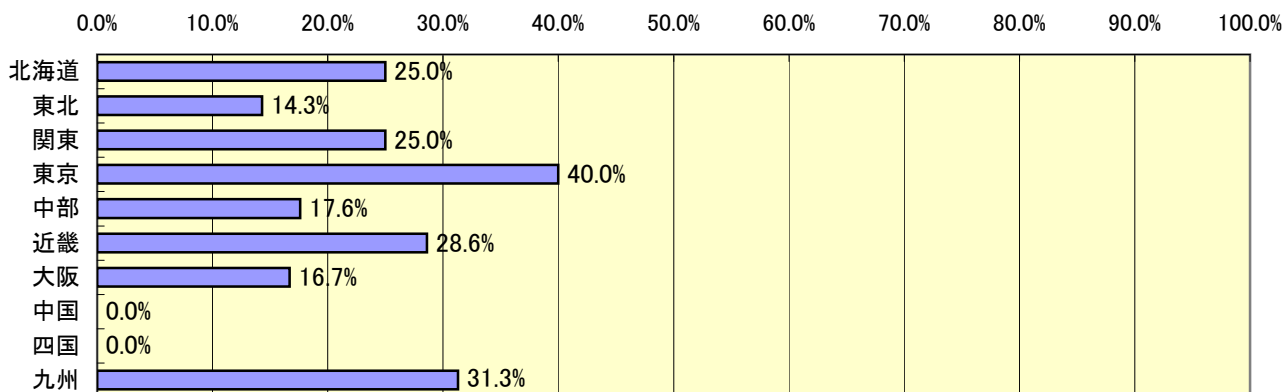
増加



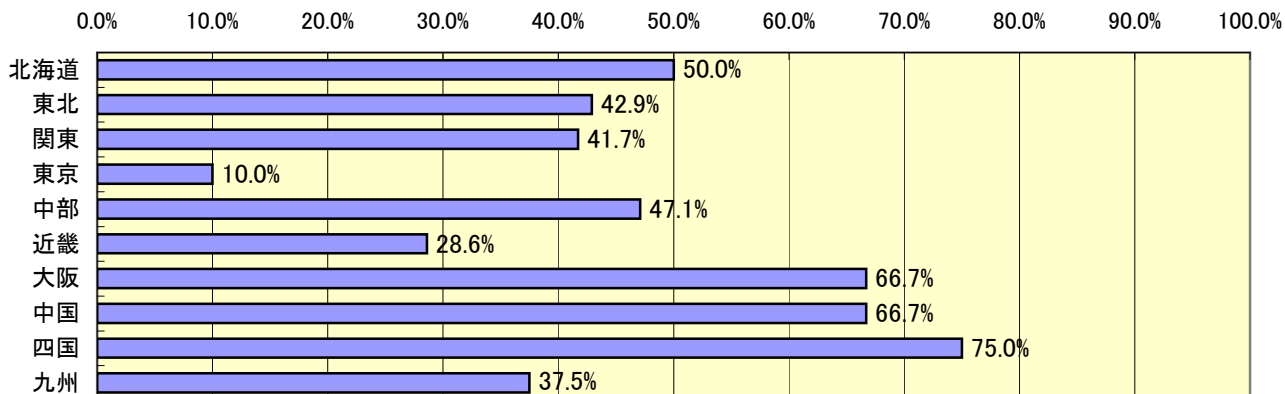
【栄養士】／ 正規雇用求人件数

	減少	変化なし	増加	無回答	件数計
北海道	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	4
東北	14.3%	42.9%	28.6%	14.3%	7
関東	25.0%	41.7%	8.3%	25.0%	12
東京	40.0%	10.0%	40.0%	10.0%	10
中部	17.6%	47.1%	23.5%	11.8%	17
近畿	28.6%	28.6%	0.0%	42.9%	7
大阪	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%	6
中国	0.0%	66.7%	22.2%	11.1%	9
四国	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	4
九州	31.3%	37.5%	31.3%	0.0%	16
全国	21.7%	43.5%	22.8%	12.0%	92

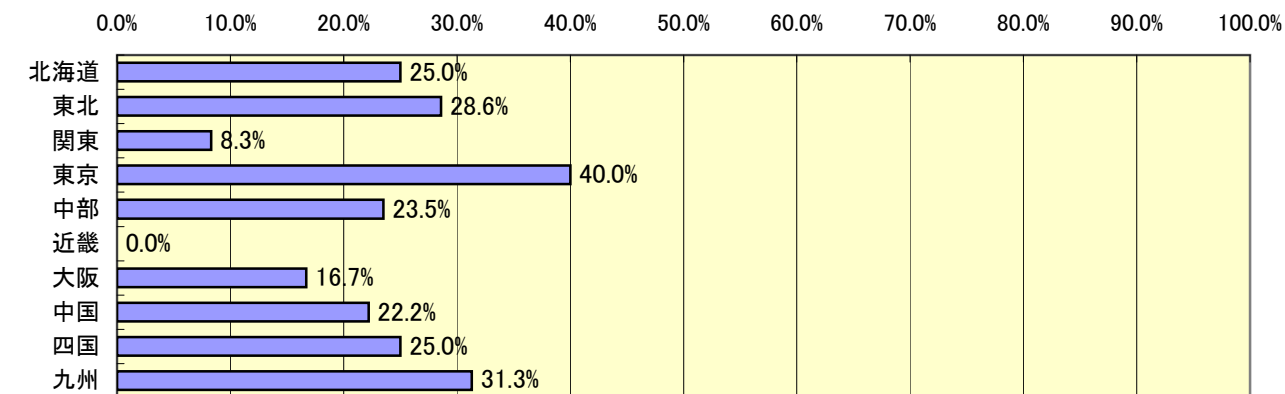
減少



変化なし



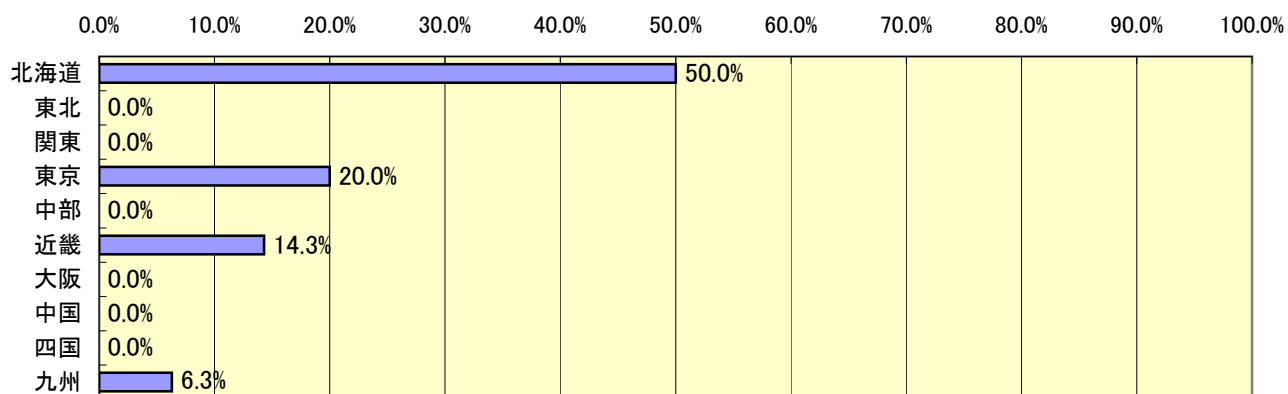
増加



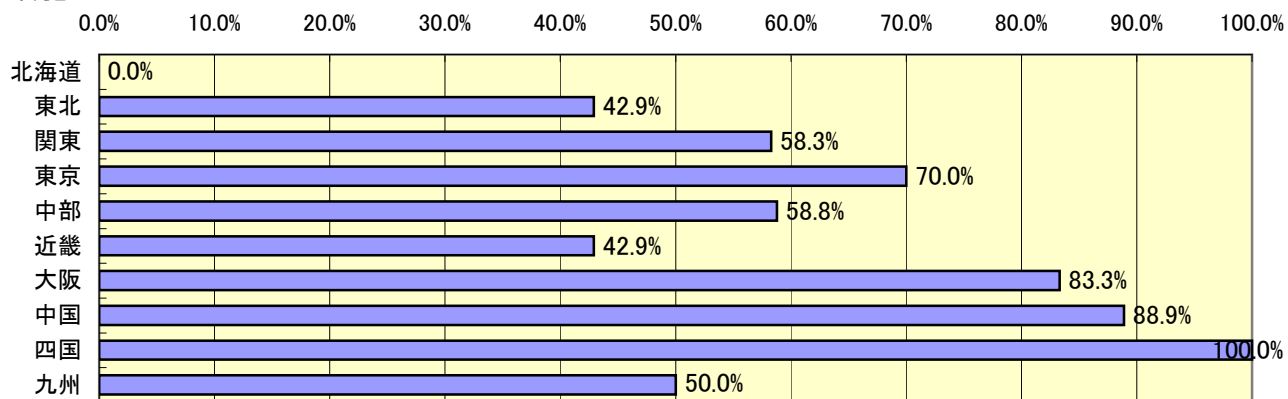
【栄養士】／非正規雇用求人件数

	減少	変化なし	増加	無回答	件数計
北海道	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	4
東北	0.0%	42.9%	42.9%	14.3%	7
関東	0.0%	58.3%	8.3%	33.3%	12
東京	20.0%	70.0%	0.0%	10.0%	10
中部	0.0%	58.8%	17.6%	23.5%	17
近畿	14.3%	42.9%	0.0%	42.9%	7
大阪	0.0%	83.3%	16.7%	0.0%	6
中国	0.0%	88.9%	0.0%	11.1%	9
四国	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	4
九州	6.3%	50.0%	43.8%	0.0%	16
全国	6.5%	59.8%	18.5%	15.2%	92

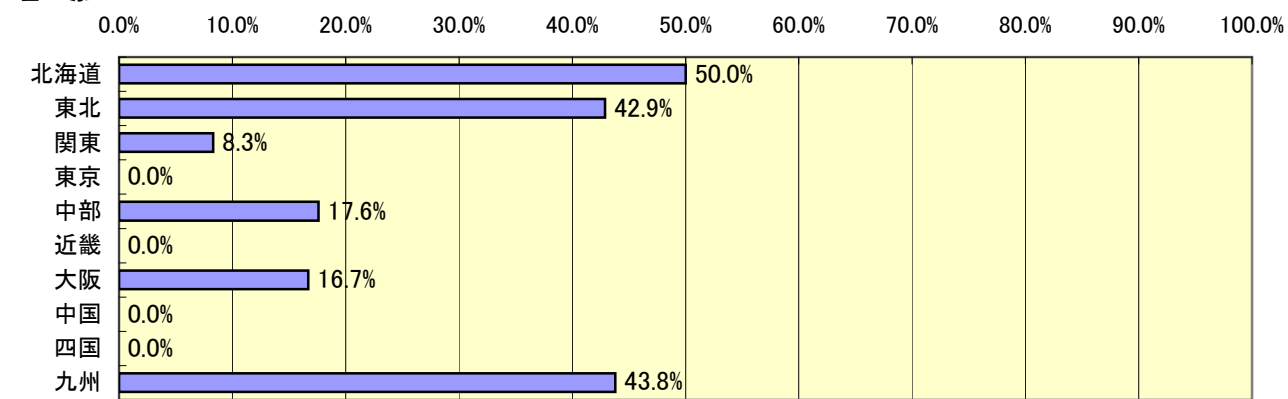
減少



変化なし



増加



栄養士の平成22年度の就職・採用活動について、
前年度と比較して顕著な変化のあった項目およびその内容

意見の概要

① 具体的な変化の内容（集計回答校数：58短期大学）

・雇用形態について

全般的に病院、施設、保育所からの直接雇用の求人は減少し、給食受託会社等の請負型企業（以下、請負型企業）からの求人が増加している。その需要が多い請負型企業においても臨時及び期限付きの雇用がその大半を占め、なかには雇用形態そのものが不明確なケースも事例として紹介されている。つまり栄養士としての直接雇用の受け皿がますます小さくなりつつある雇用環境のなかで、非正規雇用を含む雇用形態の多様化も確実に進んでおり、また病院等における管理栄養士への採用シフトによる栄養士採用枠の減少という、まさしく短期大学生にとって『3重苦』といった状況であると言えよう。

・処遇について

全般的に低賃金であり、特に請負型企業の低賃金は全国的な傾向のようであり、ほぼ毎年、全国の短期大学養成校より問題提起されている。就業環境については、朝が早く夜が遅い、土・日の出勤や盆・正月の勤務は常態化しているといった事例も報告されており、ここ数年の間においても改善されているとはいいがたい状態である。また、これまでも再三報告されているが、栄養士という専門職で採用されながら、他の業務（調理・介護等）を担当させられるといった実態は相変わらずで、多くの事例が報告されている。

・学生の就労意識について

地元志向の強い学生が多く、転勤の可能性がある請負型企業への応募をためらう傾向にあるといった報告や、一般企業ではなく保育所等への希望者が増加したといった報告、また就職環境が厳しくなったためか、専門職を希望していた学生が一般職へ、一般職を希望していた学生が専門職へと、進路変更を希望する学生が目立つようになってきたという報告もあがっている。

・その他

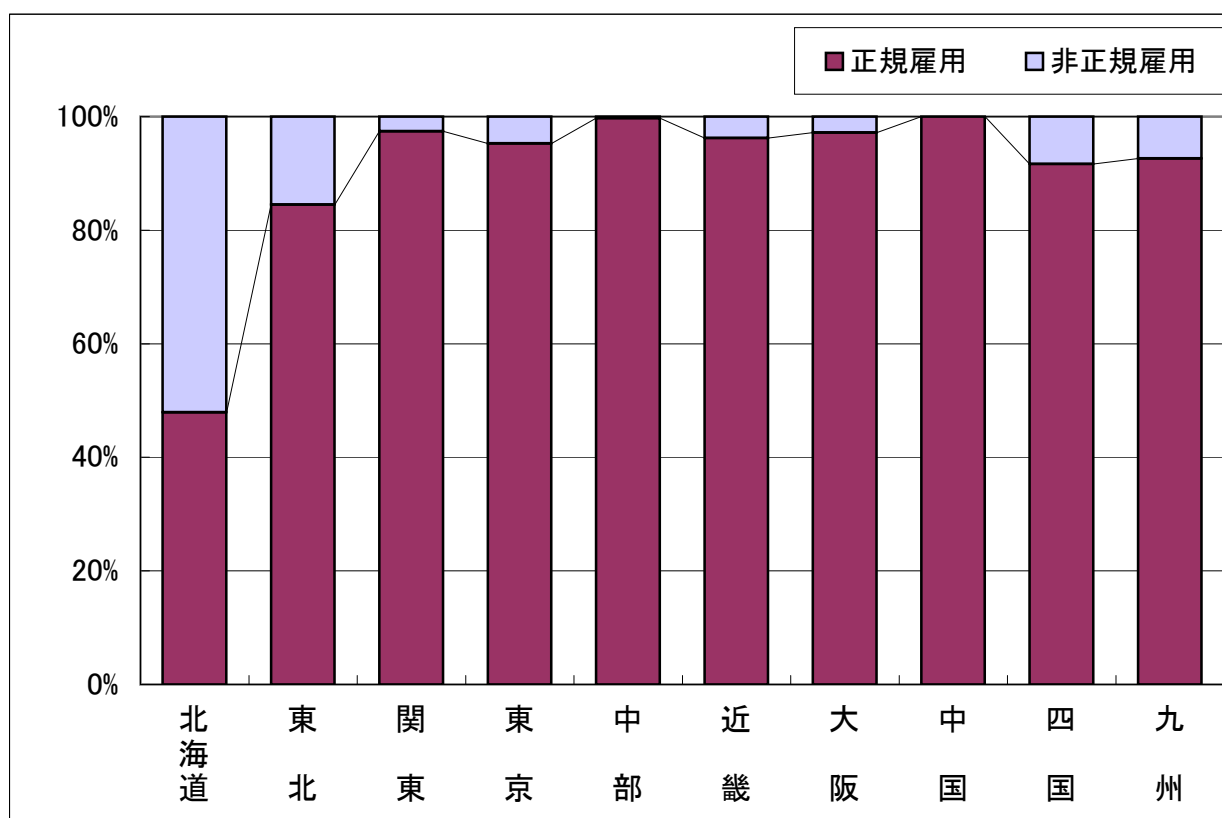
地域によってばらつきはあるようだが、福祉施設からの求人において、これまでは介護中心の求人であったが、最近では栄養士での採用求人が増加しているといった報告や、保育所よりの求人件数が増加したといった報告がよせられている。但し保育所の場合、専願受験を求められるケースがあることも併せて報告されている。

② 雇用者側の対応に苦慮した事例について（集計回答校数：21短期大学）

請負型企業の場合、勤務地の決定が遅くて引越に支障がでるケースや、内定時に通知されている勤務地と実際の勤務地が違うケース等が事例として報告されている。また、求人票には正規・非正規の記載が無く、実際に受験・内定し入社する際、非正規採用でと言われたケースや、一旦は正社員として採用され、わずかな期間経過後、契約社員へと再契約を求められたケース等、法律上においても問題があるであろう事例も多く報告されている。その他、採用試験から結果がでるまでの期間が長いことや採用基準が高くなり、短大生にとってはより厳しくなった等の意見が寄せられている。

介護福祉士の地域別雇用形態の状況（１）

	就職 決定者数	正規 雇用者数	非正規 雇用者数	正規 雇用率
全 国	1,460	1,368	92	93.7%
北海道	48	23	25	47.9%
東 北	161	136	25	84.5%
関 東	229	223	6	97.4%
東 京	63	60	3	95.2%
中 部	324	323	1	99.7%
近 畿	213	205	8	96.2%
大 阪	107	104	3	97.2%
中 国	42	42	0	100.0%
四 国	84	77	7	91.7%
九 州	189	175	14	92.6%

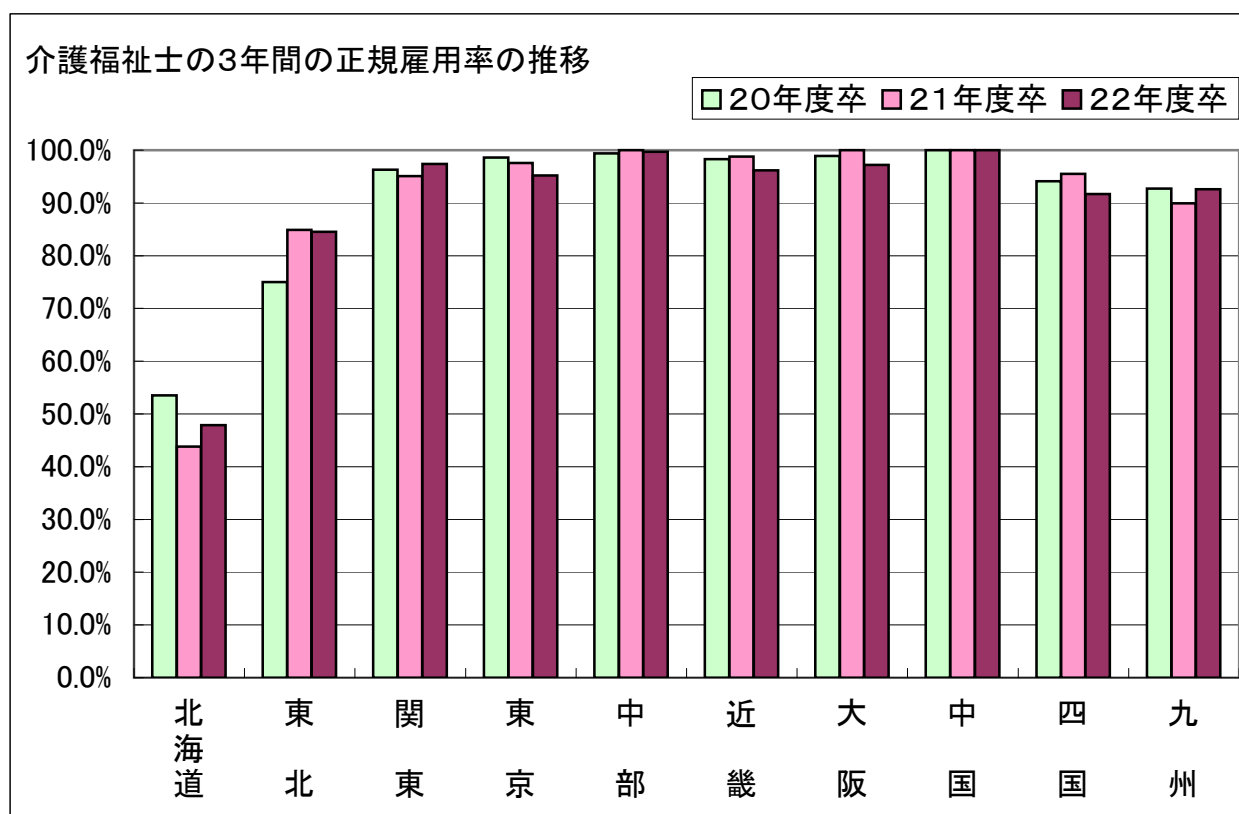


介護福祉士の地域別雇用形態の状況（２）

	就職 決定者	公立			私立		
		公立計	正規 雇用者	非正規 雇用者	私立計	正規 雇用者	非正規 雇用者
全 国	1,460	76	64	12	1,384	1,304	80
	100.0%	5.2%	4.4%	0.8%	94.8%	89.3%	5.5%
		100.0%	84.2%	15.8%	100.0%	94.2%	5.8%
北海道	48	3	0	3	45	23	22
	100.0%	6.3%	0.0%	6.3%	93.8%	47.9%	45.8%
		100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	51.1%	48.9%
東 北	161	0	0	0	161	136	25
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	84.5%	15.5%
					100.0%	84.5%	15.5%
関 東	229	0	0	0	229	223	6
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	97.4%	2.6%
					100.0%	97.4%	2.6%
東 京	63	0	0	0	63	60	3
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	95.2%	4.8%
					100.0%	95.2%	4.8%
中 部	324	16	16	0	308	307	1
	100.0%	4.9%	4.9%	0.0%	95.1%	94.8%	0.3%
		100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	99.7%	0.3%
近 畿	213	53	45	8	160	160	0
	100.0%	24.9%	21.1%	3.8%	75.1%	75.1%	0.0%
		100.0%	84.9%	15.1%	100.0%	100.0%	0.0%
大 阪	107	0	0	0	107	104	3
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	97.2%	2.8%
					100.0%	97.2%	2.8%
中 国	42	0	0	0	42	42	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%
					100.0%	100.0%	0.0%
四 国	84	0	0	0	84	77	7
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	91.7%	8.3%
					100.0%	91.7%	8.3%
九 州	189	4	3	1	185	172	13
	100.0%	2.1%	1.6%	0.5%	97.9%	91.0%	6.9%
		100.0%	75.0%	25.0%	100.0%	93.0%	7.0%

介護福祉士の正規雇用率の推移

	就職決定者数			正規雇用率		
	20年度卒	21年度卒	22年度卒	20年度卒	21年度卒	22年度卒
北海道	43	32	48	53.5%	43.8%	47.9%
東北	224	192	161	75.0%	84.9%	84.5%
関東	455	304	229	96.3%	95.1%	97.4%
東京	140	82	63	98.6%	97.6%	95.2%
中部	537	367	324	99.4%	100.0%	99.7%
近畿	174	169	213	98.3%	98.8%	96.2%
大阪	190	141	107	98.9%	100.0%	97.2%
中国	77	49	42	100.0%	100.0%	100.0%
四国	102	66	84	94.1%	95.5%	91.7%
九州	218	188	189	92.7%	89.9%	92.6%
全国	2,160	1,590	1,460	94.2%	94.5%	93.7%

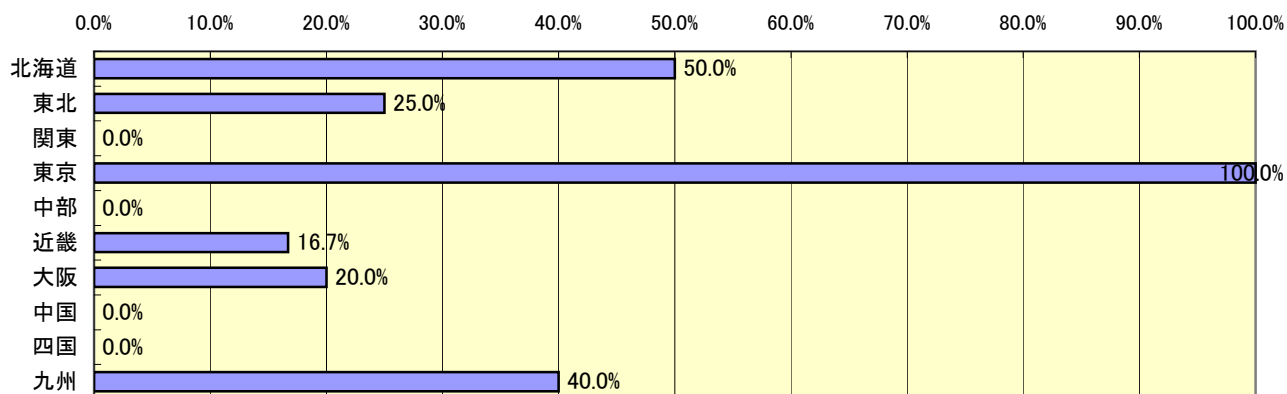


《平成22年度の求人件数の増減傾向について前年度(21年度)と比較しての変化》

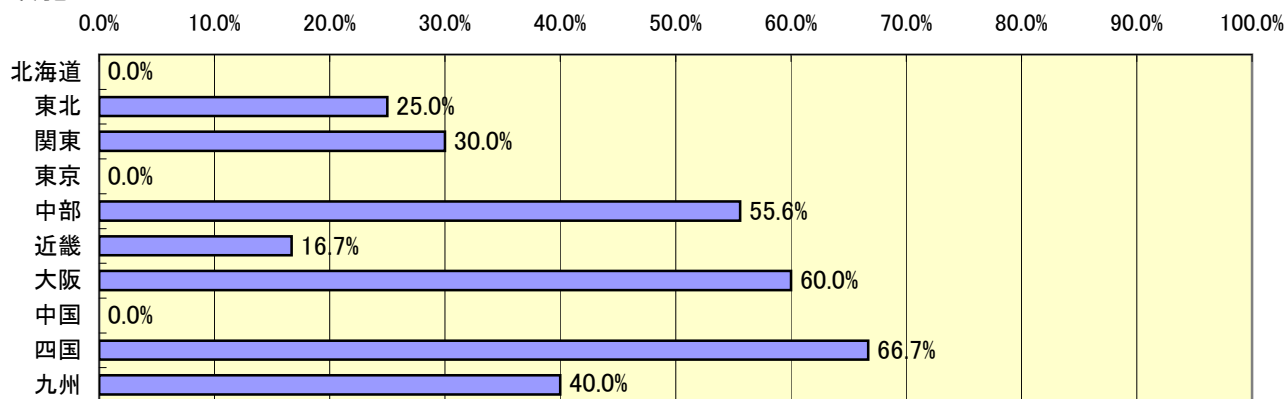
【介護福祉士】／ 求人件数

	減少	変化なし	増加	無回答	件数計
北海道	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	2
東北	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	4
関東	0.0%	30.0%	30.0%	40.0%	10
東京	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2
中部	0.0%	55.6%	44.4%	0.0%	9
近畿	16.7%	16.7%	66.7%	0.0%	6
大阪	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	5
中国	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	2
四国	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	3
九州	40.0%	40.0%	10.0%	10.0%	10
全国	18.9%	35.8%	35.8%	9.4%	53

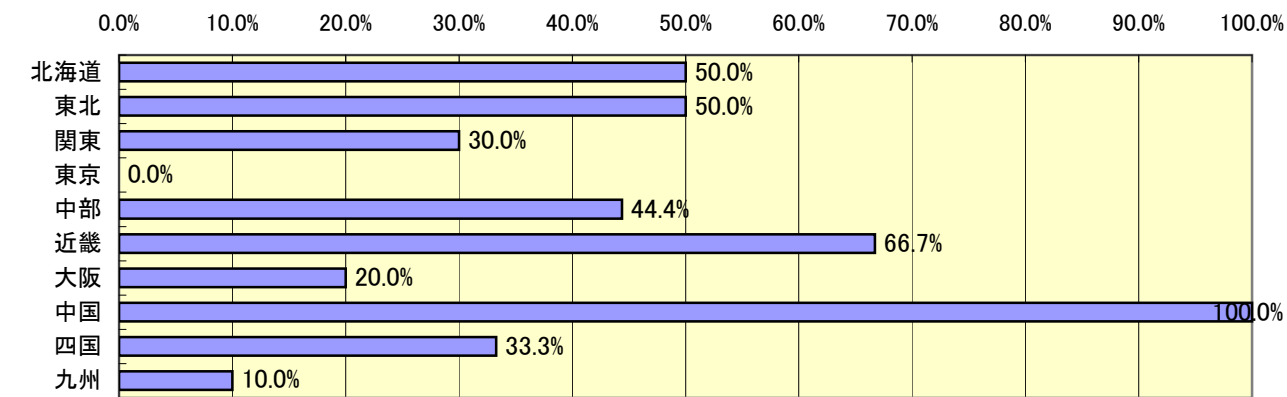
減少



変化なし



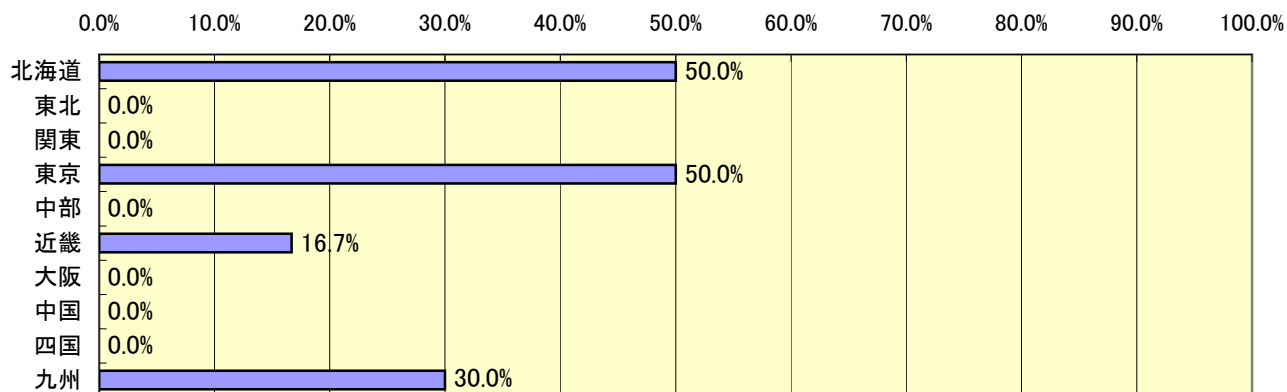
増加



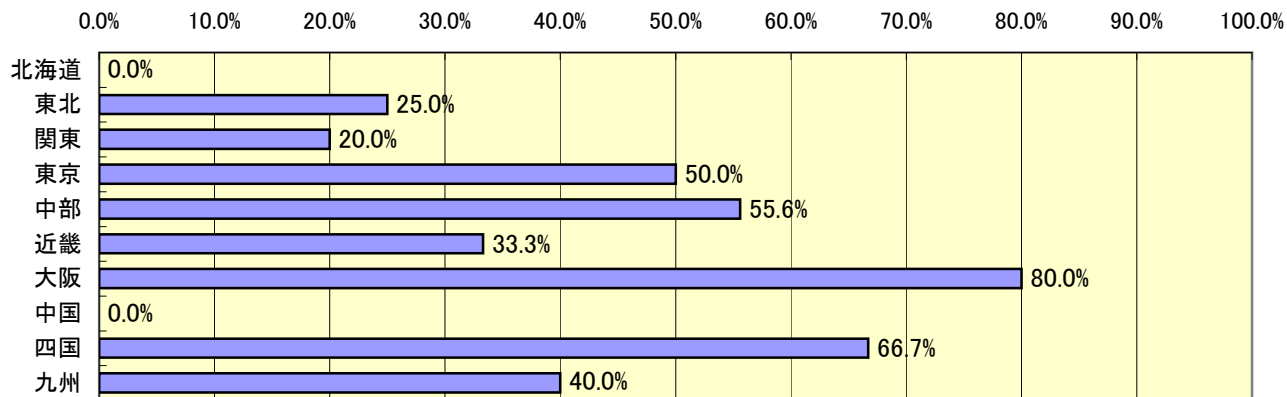
【介護福祉士】／ 正規雇用求人件数

	減少	変化なし	増加	無回答	件数計
北海道	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	2
東北	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	4
関東	0.0%	20.0%	20.0%	60.0%	10
東京	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	2
中部	0.0%	55.6%	44.4%	0.0%	9
近畿	16.7%	33.3%	50.0%	0.0%	6
大阪	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	5
中国	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	2
四国	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	3
九州	30.0%	40.0%	10.0%	20.0%	10
全国	11.3%	39.6%	34.0%	15.1%	53

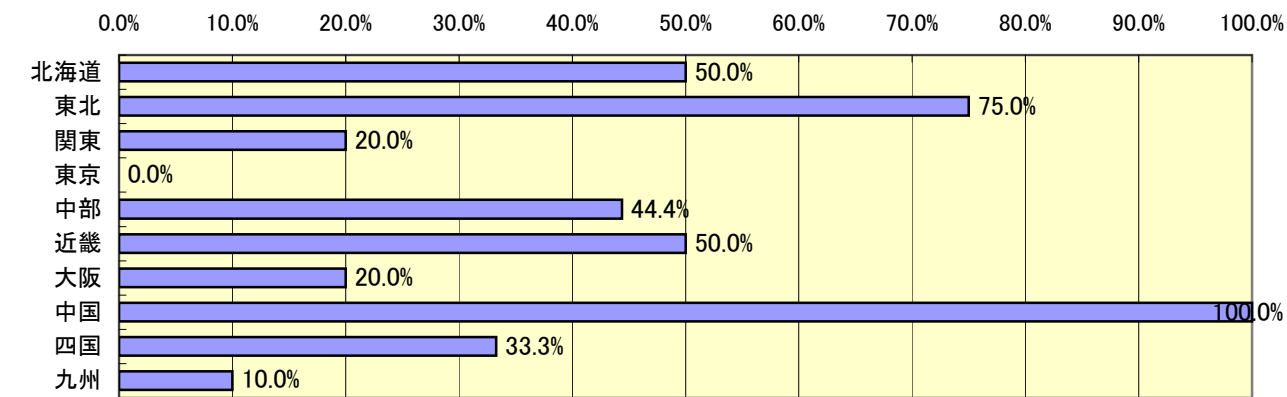
減少



変化なし



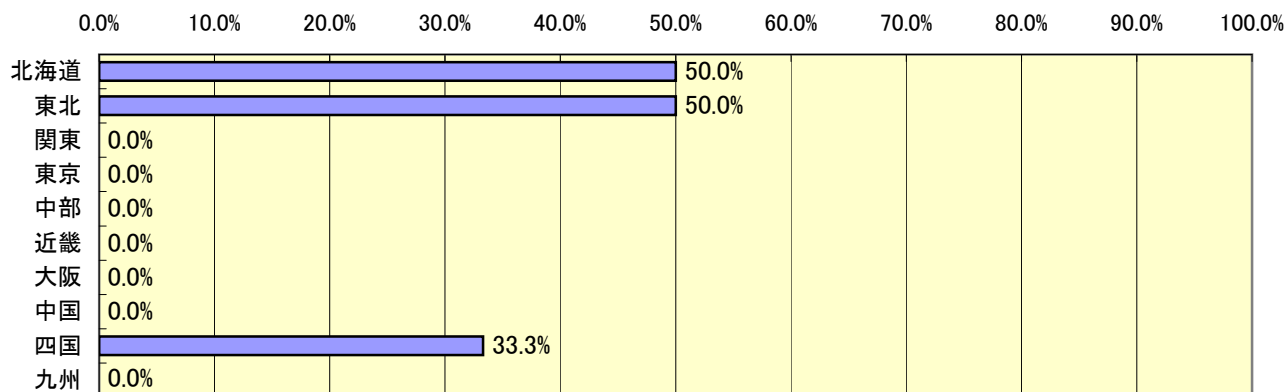
増加



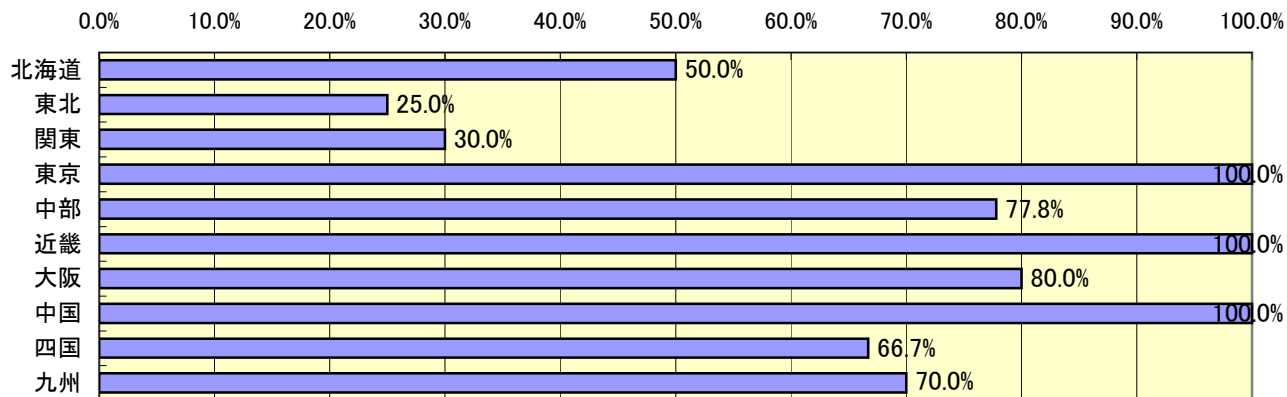
【介護福祉士】／ 非正規雇用求人件数

	減少	変化なし	増加	無回答	件数計
北海道	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	2
東北	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	4
関東	0.0%	30.0%	0.0%	70.0%	10
東京	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	2
中部	0.0%	77.8%	0.0%	22.2%	9
近畿	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	6
大阪	0.0%	80.0%	0.0%	20.0%	5
中国	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	2
四国	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	3
九州	0.0%	70.0%	10.0%	20.0%	10
全国	7.5%	66.0%	1.9%	24.5%	53

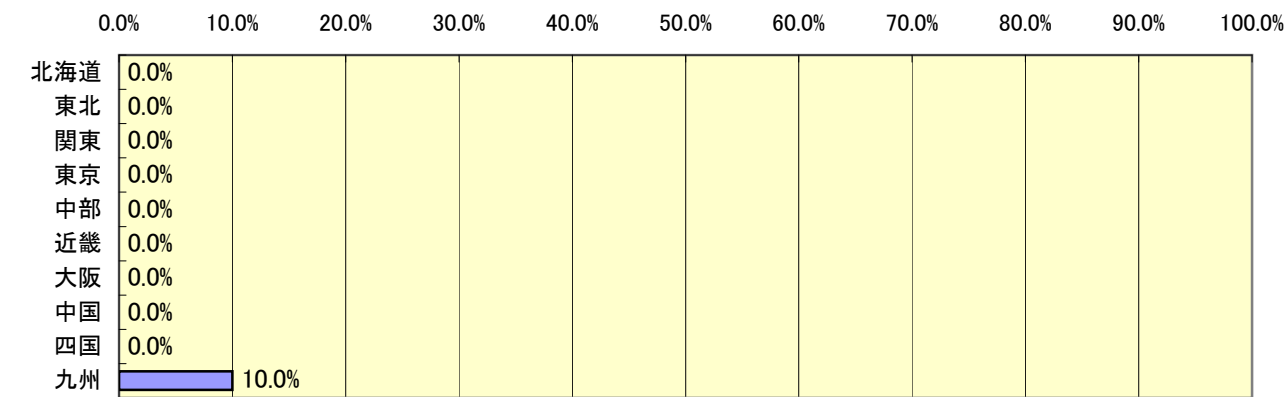
減少



変化なし



増加



介護福祉士の平成22年度の就職・採用活動について、
前年度と比較して顕著な変化のあった項目およびその内容

意見の概要

① 具体的な変化の内容

○処遇・雇用形態

正規雇用の求人は、変わらず多い。数年前と比較して処遇改善への取り組みが明確となってきたが、格差が大きい。

○就労意識

置かれている状況が異なっているためか、学校ごとに学生の就労意識に大きな差があり、二極化している。

○求人

地元以外からの求人が増加している。

○特記事項

学生に施設選択基準を明示し、求人のため来学した施設にはその内容を提示し、理解を求めている。その結果、処遇改善等が認められる施設が増加した。

② 雇用者側の対応に苦慮した事例

求人時期の早期化に伴い、採用試験と実習の時期とが重なってきており、学生指導上の課題となっている。

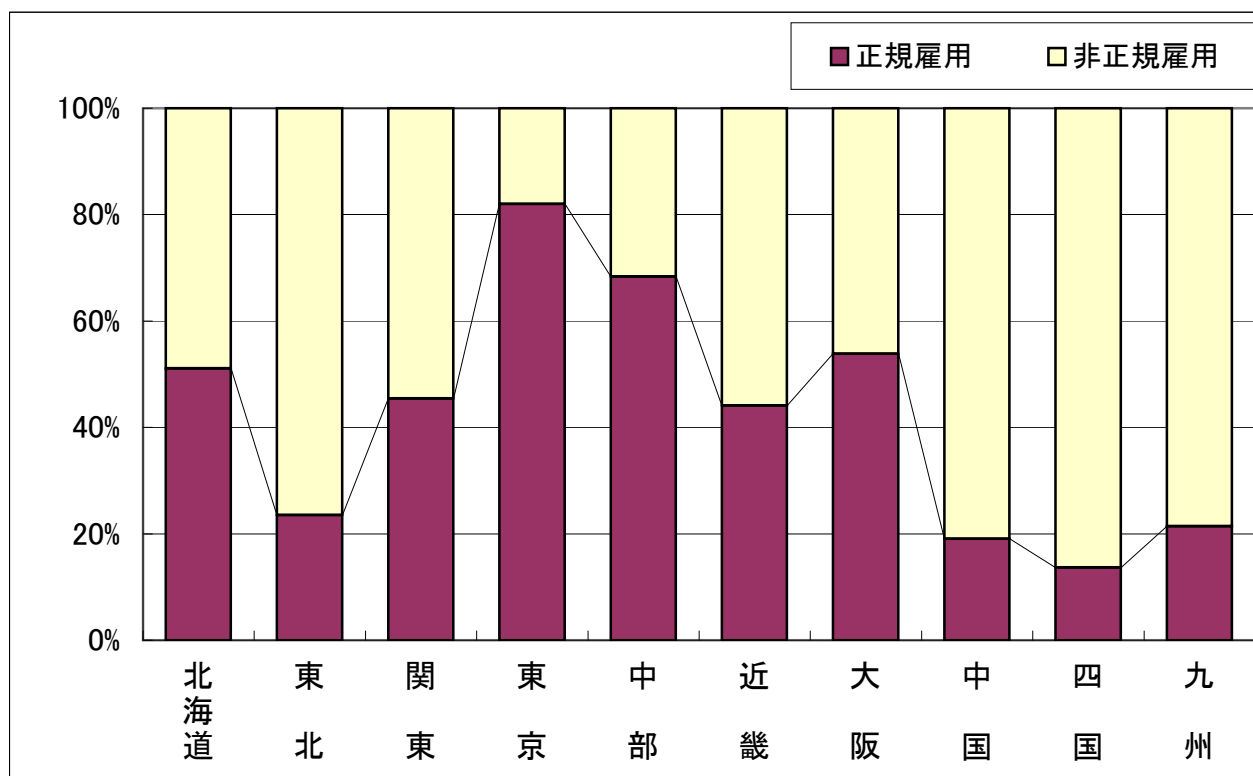
その他の国家資格を必要とする専門職の雇用形態の状況

専 門 職 名	就職 決定者数	正規 雇用者数	非正規 雇用者数	正規 雇用率
小 学 校 教 諭	110	14	96	12.7%
中 学 校 教 諭	26	2	24	7.7%
養 護 教 諭	69	6	63	8.7%
栄 養 教 諭	2	0	2	0.0%
特別支援学校教諭	4	0	4	0.0%
高等専門学校助手	1	0	1	0.0%
図書館司書・司書補	44	2	42	4.5%
看護師・准看護師	955	953	2	99.8%
臨床検査技師	131	95	36	72.5%
理学療法士	23	23	0	100.0%
診療放射線技師	33	29	4	87.9%
作業療法士	1	1	0	100.0%
歯科衛生士	646	644	2	99.7%
歯科技工士	44	44	0	100.0%
調 理 師	97	82	15	84.5%
製菓衛生師	99	98	1	99.0%
美 容 師	70	70	0	100.0%
自動車整備士	510	510	0	100.0%
柔道整復師	13	11	2	84.6%
合 計	2,878	2,584	294	89.8%

公務員の地域別雇用形態の状況

	就職 決定者数	正規 雇用者数	非正規 雇用者数	正規 雇用率
北海道	45	23	22	51.1%
東北	34	8	26	23.5%
関東	44	20	24	45.5%
東京	50	41	9	82.0%
中部	60	41	19	68.3%
近畿	34	15	19	44.1%
大阪	13	7	6	53.8%
中国	21	4	17	19.0%
四国	22	3	19	13.6%
九州	56	12	44	21.4%
計	379	174	205	45.9%

注) 本公務員は、一般行政職、学校事務職、自衛官、消防士等に就いた者を指します。



就職支援の取り組みで成果をあげているもの等(まとめ)

標記項目について、回収調査票327件のうち「就職支援の取り組みで成果をあげているもの等」についての回答件数は、記入あり回答208件(63.6%)、記入なし回答119件(36.4%)であった。

下記に記載の通り、地域や専攻によっても就職支援の取り組み方に多少の違いはあるものの、一番多かった意見は「教職員によるきめ細やかな個別対応」であった。多くの短大が少人数制を取り入れ、就職支援においても「担任制」や「キャリアセンター(就職課)」による個別指導を積極的に行っている。一人ひとりにあった支援を行っていく中で「キャリアカウンセラーの配置」「ハローワーク・ジョブサポーターの活用」は、通常の教職員では対応しきれない現状を改善するため、国の支援などを活用することで学生支援体制を整えてきている。現在行っている支援については、「大学教育・学生支援推進事業」をはじめとした補助金で行うことが出来た短大も多かったようだ。また、入学前及び1年前期から取り組んでいる短大も多く「就職支援・キャリア教育の早期実施」「内定した先輩の体験談」においては、学生の就職に対する不安を取り除き、意識の変化・働くことへの意識向上につながっている。「その他」の内容については、「合宿研修会の実施」「インターンシップ・ボランティアへの参加」「未内定者、卒業生への支援の充実」「保護者会(就職セミナー)の実施」などがあげられる。

今後の就職支援において、2年間という短い学生生活の中で「どのように就職意識を向上させるか」が課題である。

回答のあった主な内容	※複数回答あり
教職員による徹底した個別指導	71件
授業、就職講座・ガイダンスの充実	43件
キャリアカウンセラー配置	26件
ハローワーク・ジョブサポーターの活用	17件
企業説明会(学内説明会含む)	14件
企業訪問	12件
大学教育・学生支援推進事業	12件
メール・就職システムの活用	12件
就職支援・キャリア教育の早期実施	11件
資格・公務員・教員対策講座	8件
内定者した先輩の体験談	6件
その他	13件

特別設問／内定取消、採用取消、採用延期、自宅待機、採用条件の変更等の状況

	内定取消者数		再決定者数		採用取消者数		採用延期者数		自宅待機者数		採用条件の変更	
	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東北	18	5	6	8	0	0	4	2	9	3	1	0
関東	6	0	2	0	0	0	8	0	2	0	1	1
東京	4	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0
中部	3	0	2	0	0	0	0	0	5	0	0	0
近畿	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
大阪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中国	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
九州	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1
計	35	6	11	8	0	0	16	2	16	3	3	2

その具体的内容

〔東北〕

- 東日本大震災で内定先が被災した為内定取消が起こった。
- 東日本大震災の津波により工場が倒壊したため今後の予定がたたず取り消しとなった。
- 地震による建物崩壊と福島原発による警戒区域になっているため。

〔関東〕

- 内定先の宿泊施設が東日本大震災の津波の被害を受け、営業の見通しが立たない。
- 震災の影響により、取引先、客足が遠のいている等の理由により、採用延期の連絡あり。
- 入職時期4/1を6/1に変更。
- 2011年5月1日に入社日延期。
- 国家試験不合格のため。

〔東京〕

- 震災の影響による。
- 勤務地が関東から関西へ変更となった。

〔中部〕

- 国家試験不合格による内定取消。

〔九州〕

- 内定後のアルバイト中に出勤日の増加を要求され、その要求に応えられないことと、仕事が合っていないという会社側の勝手な理由による取消し。

東日本大震災による採用状況等の変化について(まとめ)

地域別の特徴

〔北海道〕

- ・地元ではあまり影響が感じられない。
- ・東北からの求人の減少によりUターン希望の学生の就職先がない

〔東北〕

- ・地元の求人の減少。
- ・被害の大きかった3県（特に沿岸部）の採用が見込めない。

〔関東・東京〕

- ・採用人数・求人件数の減少。
- ・採用活動の延期（1～2ヶ月の遅れ）による学生のモチベーション低下、授業との両立に苦勞している学生が多く感じる。
- ・サービス業界の求人減少及び採用中止。
- ・東北のみならず、関東の求人も減少している。
- ・被災地から来ている学生の、Uターン就職が見込めない。

〔中部〕

- ・製造業の採用人数の減少及び選考の延期。
- ・東京及び首都圏に本社がある企業の採用活動に遅れを感じる。

〔近畿・大阪〕

- ・大きな影響はないが、全体的に求人の減少・採用活動に遅れを感じている。また、不安を感じている学生も少なくない。

〔中国・四国・九州〕

- ・現時点では影響はないが、今後の雇用には不安を感じている。

地域別集計結果

地域	集計回答数	変化を感じた (今後の懸念を含む)	特に変化は感じられない (回答なし含む)
北海道	16	6 (37.5%)	10 (62.5%)
東北	18	12 (66.7%)	6 (33.3%)
関東	62	31 (50.0%)	31 (50.0%)
東京	40	23 (57.5%)	17 (42.5%)
中部	53	19 (35.8%)	34 (64.2%)
近畿	35	10 (28.6%)	25 (71.4%)
大阪	29	7 (24.1%)	22 (75.9%)
中国	19	2 (10.5%)	17 (89.5%)
四国	9	0 (0.0%)	9 (100.0%)
九州	37	6 (16.2%)	31 (83.8%)
沖縄	2	0 (0.0%)	2 (100.0%)
合計	320	116 (36.3%)	204 (63.7%)

【全体を通してのまとめ】

- ・アンケート回答の5月現在、東北・関東・東京を除いては震災の影響を感じていないという結果だった。
- ・幼稚園教諭、保育士、介護福祉士、栄養士等の専門職の採用については、どの地域においても影響は感じられないという回答が多かった。(東北地域を除く)
- ・全国的に共通した影響としては、大手企業の採用時期が遅くなったと感じている。また、平成23年度の採用については不透明感があり今後の求人減少や採用停止が懸念されるといった意見が多かった。

日本私立短期大学協会
就職問題委員会
(提出締切期日 平成23年5月27日)

短大名	記入者名				就職関係部署直通		TEL	FAX		
	電話番号(代表)		TEL		FAX		就職関係部署署名			
短大所在都道府県名									1 職員のみで構成 2 職員・教員で構成 ※該当する番号を○で囲んでください。	

* 記入上の注意をご一読のうえ、貴学の平成22年度卒業生の分野別就職希望者数・決定者数・就職以外の進路者数・卒業生数をご記入ください。 ※本調査対象は、本科第1部(昼間)学科のみで、第2部(夜間)、第3部(昼間2交替制)、専攻科は対象外です。

分野別学科名	1.人文	2.社会	3.教養	4.工業	5.農業	6.保健	7.家政	8.教育	9.芸術	10.その他
当該設置学科名 (出身学科名)										
就職希望者数	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

就職決定者数 (a)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

雇用形態	正規雇用	非正規雇用	正規雇用	非正規雇用	正規雇用	非正規雇用	正規雇用	非正規雇用	正規雇用	非正規雇用	正規雇用	非正規雇用	正規雇用	非正規雇用	正規雇用	非正規雇用	正規雇用	非正規雇用	正規雇用	非正規雇用
	企業・団体																			
公務員(行政職)																				
専門職	幼稚園教諭	公立																		
		私立・民間																		
	保育士	公立																		
		私立・民間																		
	栄養士	公立																		
		私立・民間																		
介護福祉士	公立																			
	私立・民間																			
その他の国家資格を有する専門職	()																			
	()																			
	()																			

↑ 別紙(記入上の注意)の「5」14)をご参照ください。

就職以外の進路者数	四年制大学への編入学者																			
	短大専攻科への進学者																			
	専修・各種学校等への入学者																			
	一時的な仕事に就いた者																			
その他(上記以外の者)																				
計 (b)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

卒業生数 a+b	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

特別設問	内定取消し者数	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規	
	再決定者数																			
	採用取消し者数																			
	採用延期者数																			
	自宅待機者数																			
	採用条件の変更 その具体的内容																			

別紙(記入上の注意)の「10.特別設問」をご参照ください。

設問1 平成22年度の求人件数の増減傾向について、前年度(21年度)と比較しての変化 及びその内訳となる正規・非正規雇用の状況についてお知らせください。(それぞれ該当するものを○で囲んでください。)

◎企業・団体

- * 求人件数 (減少 変化なし 増加)
その内訳として、
 - ・ 正規雇用求人件数 (減少 変化なし 増加)
 - ・ 非正規雇用求人件数 (減少 変化なし 増加)

◎専門職(国家資格を必要とする職業)

●幼稚園教諭

- * 求人件数 (減少 変化なし 増加)
その内訳として、
 - ・ 正規雇用求人件数 (減少 変化なし 増加)
 - ・ 非正規雇用求人件数 (減少 変化なし 増加)

●保育士

- * 求人件数 (減少 変化なし 増加)
その内訳として、
 - ・ 正規雇用求人件数 (減少 変化なし 増加)
 - ・ 非正規雇用求人件数 (減少 変化なし 増加)

●栄養士

- * 求人件数 (減少 変化なし 増加)
その内訳として、
 - ・ 正規雇用求人件数 (減少 変化なし 増加)
 - ・ 非正規雇用求人件数 (減少 変化なし 増加)

●介護福祉士

- * 求人件数 (減少 変化なし 増加)
その内訳として、
 - ・ 正規雇用求人件数 (減少 変化なし 増加)
 - ・ 非正規雇用求人件数 (減少 変化なし 増加)

設問2 平成22年度の就職・採用活動について、前年度(21年度)と比較して顕著な変化のあったものを選択肢の中から選び、その具体的内容をお知らせください。 また、雇用者側の対応に苦慮した事例などありましたらお聞かせください。

企業・団体	①	選択肢: 雇用形態 処遇 学生の就労意識 その他() ※左記の中から該当する項目を○で囲んでください。 具体的な変化の内容:
	②	雇用者側の対応に苦慮した事例:
専門職		
幼稚園教諭	①	選択肢: 雇用形態 処遇 学生の就労意識 その他() ※左記の中から該当する項目を○で囲んでください。 具体的な変化の内容:
	②	雇用者側の対応に苦慮した事例:
保育士	①	選択肢: 雇用形態 処遇 学生の就労意識 その他() ※左記の中から該当する項目を○で囲んでください。 具体的な変化の内容:
	②	雇用者側の対応に苦慮した事例:
栄養士	①	選択肢: 雇用形態 処遇 学生の就労意識 その他() ※左記の中から該当する項目を○で囲んでください。 具体的な変化の内容:
	②	雇用者側の対応に苦慮した事例:
介護福祉士	①	選択肢: 雇用形態 処遇 学生の就労意識 その他() ※左記の中から該当する項目を○で囲んでください。 具体的な変化の内容:
	②	雇用者側の対応に苦慮した事例:

設問3 貴学の就職支援の取組みで成果をあげているものがあればお聞かせください。

設問4 去る3月に発生した東日本大震災の影響による採用状況等の変化について、具体的に感じられるものがあればお知らせください。

***ご回答ありがとうございました。お手数ですが、調査票の1と2を重ねて(留めずに)、来る5月27日までに郵送にてご返送ください。

⑦ 家政関係	⑧ 教育関係	⑨ 芸術関係	⑩ その他
栄養(学)科	医療保育科	アート・デザイン学科	キャリア開発学科
栄養健康学科	健康・スポーツ学科	音楽(学)科	キャリア開発総合学科
家政(学)科	健康スポーツコミュニケーション学科	音楽総合科	キャリアコミュニケーション学科
家政経済科	現代幼児学科	芸術(学)科	キャリアデザイン学科
環境文化学科	子(こ)ども学科	芸術教養学科	キャリアプランニング科
くらし環境学科	子ども教育学科	造形学科	キャリア創造学科
健康栄養学科	こども保育学科	造形芸術(学)科	経営総合学科
健康生活学科	初等教育(学)科	造形美術科	現代総合学科
健康文化学科	児童教育(学)科	デザイン(学)科	コミュニティ子ども学科
現代生活学科	児童総合学科	デザインアート学科	コミュニティ生活学科
食生活学科	総合保育学科	デザイン美術(学)科	コミュニティ総合学科
食物(学)科	体育(学)科	表現芸術学科	コミュニティ文化学科
食物栄養(学)科	地域保育学科	美術(学)科	生活デザイン総合学科
食物科学科	乳幼児保育学科	美術(・)デザイン(学)科	総合文化学科
住居学科	保育(学)科	美容芸術学科	地域総合科学科
製菓学科	保育創造学科	美容ファッションビジネス学科	地域総合文化学科
生活(学)科	保健体育学科		人間総合学科
調理製菓学科	養護教育(学)科		ライフデザイン総合学科
生活科学(学)科	幼児教育(学)科		ライフプランニング総合学科
生活環境学科	幼児教育(・)保育(学)科		
生活芸術科	幼児・児童教育学科		
生活創造(デザイン)学科	幼児保育(学)科		
生活造形学科			
生活デザイン(学)科			
生活福祉(学)科			
生活福祉情報科			
生活文化(学)科			
生活プロデュース学科			
生活未来学科			
総合生活学科			
総合生活デザイン学科			
人間環境学科			
人間生活学科			
被服(学)科			
美容生活文化学科			
ファッション総合学科			
ファッションデザイン学科			
ファッション表現学科			
服飾(学)科			
服飾芸術科			
服飾造形学科			
服飾デザイン学科			
服飾美術(学)科			
服装学科			
ヘルスケア栄養学科			
ライフデザイン学科			

